

# 三重県立総合医療センター カルテ庫改修工事

## 実施設計図

2022年 11月

**田中建築事務所**

建 築		電気設備		機械設備			
A - 01	図面リスト	E - 01	特記仕様書 1	M - 01	特記仕様書 ( 1 )		
A - 02	建築工事特記仕様書 (1)	E - 02	特記仕様書 2	M - 02	特記仕様書 ( 2 )		
A - 03	建築工事特記仕様書 (2)	E - 03	特記仕様書 3	M - 03	空調換気設備 1階ダクト平面図		
A - 04	建築工事特記仕様書 (3)	E - 04	分電盤結線図	M - 04	空調換気設備 1階ダクト平面図 (撤去)		
A - 05	建築工事特記仕様書 (4)	E - 05	動力・コンセント設備 平面図	M - 05	空調換気設備 1階配管平面図		
A - 06	建築工事特記仕様書 (5)	E - 06	電灯設備 平面図 (改修前・改修後)	M - 06	空調換気設備 1階配管平面図 (撤去)		
A - 07	建築工事特記仕様書 (6)	E - 07	非常用照明・誘導灯設備 平面図 (改修前・改修後)	M - 07	給排水設備 1階平面図		
A - 08	建築工事特記仕様書 (7)	E - 08	弱電設備 平面図 (改修前)	M - 08	給排水設備 1階平面図 (撤去)		
A - 09	建築工事特記仕様書 (8)	E - 09	弱電設備 平面図 (改修後)	M - 09	消火設備 系統図 (スプリンクラー)		
A - 10	案内図・配置図	E - 10	非常放送設備 平面図 (改修前・改修後)	M - 10	消火設備 系統図 (ハロン消火)		
A - 11	1階全体平面図 (改修前)	E - 11	自動火災報知設備 凡例・系統図 既設中継器接続点数リスト	M - 11	消火設備 1階平面図 (改修前後)		
A - 12	1階全体平面図 (改修後)	E - 12	自動火災報知設備 平面図 (改修前・改修後)	M - 12	自動制御設備 計装図 (撤去・改修)、工事概要		
A - 13	仕上表・平面図 (改修前後)			M - 13	自動制御設備 1階平面図		
A - 14	天井伏図 1 (改修前後)						
A - 15	天井伏図 2 (改修前後)						
A - 16	建具キープラン・建具表						
A - 17	部分詳細図						
A - 18	シングルピッカー・オートラック撤去図						



4 地業工事 （続き）	3 鋼杭地業	寸法、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セッ ト数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)          ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で<math>\alpha=250</math>を採用できる工法          ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうち<math>\alpha</math>、<math>\beta</math>、<math>\gamma</math>が以下の値を採用できる工法  <math>\alpha = ( )</math>、<math>\beta = ( )</math>、<math>\gamma = ( )</math></p> <p>工法          ・中掘り拡大掘削工法          ・</p> <p>試験杭          試験杭の位置          ・図示による ( )</p> <p>杭の精度          水平方向の位置ずれ          ※評定等の内容による          杭の傾斜          ※評定等の内容による</p> <p>杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)          ・溶接継手          形状          ・JIS A 5525による          溶接材料          ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による          ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）          工法          ※評定等を受けた工法          検査          ※評定等により定められた項目          施工          ※評定等をされた施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理 (4.3.8)(4.4.6)          ・処理しない          ・処理する          処理方法（切断をともなう補強方法含む）          ・図示による ( )</p> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.8)          ・基礎のコンクリートと同調のもの</p>	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セッ ト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭							本杭	上杭 中杭 下杭							鉄筋かごの補強 (4.5.4) ・図示による ( ) ・杭径1.5m以下の場合鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)          ※重ね継手 重ね継手の長さ ・図示による ( )</p> <p>主筋の基礎底壁への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)          ・図示による ( )</p> <p>セメントの種類 (4.5.4)          ※高炉セメントB種 [G]</p> <p>コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)          ・図示による ( )</p> <p>コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)          ・A種 ・B種          ・評定等の内容による</p> <p>スランプ (4.5.4)          ※18cm</p> <p>構造体強度補正值 (S) (4.5.4)          ・3N/mm<sup>2</sup>          ・図示による ( )          ・評定等の内容による</p>	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5) ・標準仕様書 表5.3.6による ・図示による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・あり 使用箇所 ( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm <p>5 各部配筋 (5.3.7)          各部配筋          ※図示による</p> <p>6 圧接完了後の試験 (5.4.10)(5.4.11)          外観試験          ※行う（全ての圧接部）          採取試験          ※超音波探傷試験          試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。          試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。          ・引張試験          試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200か所を超えるときは200か所ごととする。          試験の箇所数：1ロットに対して（ ・3本 ・5本 ）とする。</p> <p>7 機械式継手 (5.5.2)          適用箇所          ・図示による ( )          H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)          ・A級          機械式継手の種類 (5.5.2)          ・図示による ( )          鉄筋相互のあき (5.3.5)(5.5.2)          ・図示による ( )          施工完了後の継手部の試験 (5.5.2)          ・図示による ( )          不合格となった継手部への措置 (5.5.2)          ・図示による ( )</p> <p>8 溶接継手 (5.6.3)          適用箇所          ・図示による ( )          H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)          ・A級          溶接継手の工法 (5.6.3)          ・図示による ( )          鉄筋相互のあき (5.6.3)          ・図示による ( )          溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)          ・図示による ( )          不合格となった継手部への措置 (5.6.3)          ・図示による ( )</p>	4 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による ( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ( ) 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による ( ) ひび割れ誘発目地の位置、形状 (6.8.1) ・図示による ( ) 6 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上げの平坦さ (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.5)  <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </table> </p> <p>7 打増し厚さ（打放し仕上げ部） (6.8.1)          打増し厚さ          ・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）          ・20mm ・図示による ( )          ・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）          ・10mm ・20mm          ・外装タイル後張り面の打増し処理          ・20mm          打増し範囲          ・図示による ( )</p> <p>8 型枠 (6.8.2)          せき板の材料及び厚さ          ・合板（※12mm） [G]          ・断熱材の兼用した型枠          使用箇所          ・図示による ( )          ・MCR工法用シート          適用箇所          ・図示による ( )          打増し厚さ          ・20mm          打増し範囲          ・図示による ( )          スリーブの材質・規格等          ・図示による ( )</p> <p>9 軽量コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)          種類          ・1種 ・2種          適用箇所          ・図示による ( )          スラブ          ※21cm</p> <p>10 寒中コンクリート (6.11.1)          適用期間          ・図示による ( )          ・積算温度を基に定める場合          ・図示による ( )</p> <p>11 暑中コンクリート (6.12.2)          構造体強度補正值 (S)          ※6N/mm<sup>2</sup></p> <p>12 マスコンクリート (6.13.1)          適用箇所          ・図示による ( ) ・リニアック室          セメントの種類 (6.13.2)          ・普通ポルトランドセメント          ・中熱ポルトランドセメント          ・低熱ポルトランドセメント          ・高炉セメントB種 [G]          ・フライアッシュセメントB種          ・シリカセメント          混和材料 (6.13.2)          ・混和剤          混和剤の種類          ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤          ・スランプ (6.13.2)          ※15cm ・18          構造体強度補正值 (s) (6.13.2)          ※表6.13.11による</p>	種 別	適用 箇所	・A種	※図示による ( )	・B種	※図示による ( )	・C種	※図示による ( )	種 別	適用 箇所	・a種	※図示による ( )	・b種	※図示による ( )	・c種	※図示による ( )																	
		種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セッ ト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																					
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																													
本杭	上杭 中杭 下杭																																																													
種 別	適用 箇所																																																													
・A種	※図示による ( )																																																													
・B種	※図示による ( )																																																													
・C種	※図示による ( )																																																													
種 別	適用 箇所																																																													
・a種	※図示による ( )																																																													
・b種	※図示による ( )																																																													
・c種	※図示による ( )																																																													
4 場所打ちコンクリート杭地業	5 鉄筋工事 1 鉄筋 (5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 2 溶接金網 (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋椅子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 3 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3) <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱及び梁主筋</td> <td>・ガス圧接 ・溶接継手 ・重ね継手</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・重ね継手 ・ガス圧接</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>上記以外 ( )</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>継手位置 (5.3.4)          ・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）1.1、2.1、3.1、3.4、3.5、4.2）          基礎梁主筋の継手位置          ・図1.2 ・図1.3 ・図1.4          ・図示による ( )</p> <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4)          ・図示による ( )</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)          ・標準仕様書表5.3.2による          ・標準仕様書 5.3.4(3)(7)による          ・図示による ( )</p> <p>鉄筋の定着長さ (5.3.4)          ※標準仕様書表5.3.4による</p>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・SD295A	※ D16以下		・SD345	※ D19以上		・			・			種 別	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網		・図示による		・鉄筋椅子				部 位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	・ガス圧接 ・溶接継手 ・重ね継手	※ D19以上	耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接	・	上記以外 ( )	・重ね継手	・	6 コンクリート工事 ①コンクリートの類別等 (6.2.1) コンクリートの種別 (6.2.1) ※I類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・II類（JIS A 5308に適合したコンクリート） ※普通コンクリート (6.2.1~4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>・15又は18 ・18</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・21</td> <td>・18</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>・15</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值          ※標準仕様書表6.3.2による          ・</p> <p>2 セメント (6.3.1)          種類          ※普通ポルトランドセメント、中熱ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種          適用箇所（※下記以外全て）          普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする          ・高炉セメントB種 [G]          適用箇所 ( )          ・フライアッシュセメントB種 [G]          適用箇所 ( )</p> <p>3 骨材 (6.3.1)          アルカリシリカ反応性による区分          ※A ・B（コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m<sup>3</sup>以下）</p>	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	適用箇所	・24	・15又は18 ・18	図示による	・21	・18	図示による	・18	・15	図示による	・	・		・	・	
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																												
・SD295A	※ D16以下																																																													
・SD345	※ D19以上																																																													
・																																																														
・																																																														
種 別	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																											
・溶接金網		・図示による																																																												
・鉄筋椅子																																																														
部 位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																												
柱及び梁主筋	・ガス圧接 ・溶接継手 ・重ね継手	※ D19以上																																																												
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・																																																												
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接	・																																																												
上記以外 ( )	・重ね継手	・																																																												
設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	適用箇所																																																												
・24	・15又は18 ・18	図示による																																																												
・21	・18	図示による																																																												
・18	・15	図示による																																																												
・	・																																																													
・	・																																																													



9 防水工事
1 アスファルト防水 (9.2.2~5) (表9.2.3~9)
屋根保護防水
防水層の種類
種類 施工箇所 断熱材[G] 絶縁用シート 立上り部の保護
・A-1
・A-2
・A-3
・B-1
・B-2
・B-3
・AI-1
・AI-2
・AI-3
・BI-1
・BI-2
・BI-3
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm 以上
床タイル張り ※水下 60mm 以上
立上り部の保護
・乾式保護材
高寒系バネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
保護れんが
※TIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが)
屋上排水溝 ※図示
屋根露出防水
防水層の種類
種類 施工箇所 断熱材[G] 仕上塗料 高日射反率防水の適用[G]
・D-1
・D-2
・D-3
・D-4
・DI-1
・DI-2
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示
断熱材の種類
保護層 ・設ける (※図示) ・設けない
防水層の下地 立上りコンクリート打直し仕上げ
※標準仕様書表6.2.4[打直し仕上げ種別]のB種
押え金物の材質及び形状寸法
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する (施工範囲) ・図示
・適用しない
2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2.3) (表9.3.1~3)
防水層の種類
種類 施工箇所 断熱材[G] 防湿層 仕上塗料 高日射反率防水の適用[G]
・AS-T1
・AS-T2
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・AS1-T1
・AS1-J1
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
断熱材の種類
押え金物
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
・改質アスファルトシートの製造所の指定の種類及び設置数量
・種類 ( ) 設置数量 ( 個)

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4) (表9.4.1~3)
防水層の種類
種類 施工箇所 絶縁用シートの材質 断熱材[G] 仕上塗料 高日射反率防水の適用
・S-F1
・S-F2
・S-M1
・S-M2
・S-M3
・SI-F1
・SI-F2
・SI-M1
・SI-M2
屋内防水層の種類
種類 施工箇所 保護層 立上り部の保護
平場のモルタル塗り 塗り厚さ 工法
・床塗り
・下地モルタル塗り
※7mm以下
ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
立上り面のシートの厚さ (S-M2及びSI-M2で接着工法の場合)
※1.5mm
固定金具の材質及び形状
材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
厚さ(mm) ※0.4以上
断熱材の種類
断熱工法の場合の防湿用フィルム
・設置する
・設置しない
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
・ルーフィングシートの製造所の仕様による
・種類 ( ) 設置数量 ( 個)
防水下地・PCコンクリート部材下地の場合の処理
目地処理 ※図示
入隅部の増張り (S-F1, SI-F1の場合)
※図示
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない
4 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)
防水層の種類
種類 施工箇所 仕上塗料 保護層 高日射反率防水の適用
種類 使用量
・製造所の指定による
・製造所の仕様による
・製造所の指定による
・製造所の仕様による
・適用する
・適用しない
ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量
・主材料の製造所の仕様による
・種類 ( ) 設置数量 ( 個)
ゴムアスファルト系塗膜防水 Y-1, Y-2
工程数及び各工程の使用量
・主材料の製造所の仕様による
5 ケイ酸系塗布膜防水 (9.6.1.3) (表9.6.1.2)
防水層の種類
種類 施工箇所 種類 施工箇所
※C-U1
・C-UP
防水層の下地 (壁及び天井) ・コンクリート打放 (B種)
下地処理 (コンクリートの打継ぎ処理) ・標準仕様書9.6.4(2) (7)
6 シーリング (9.7.2) (表9.7.1)
下表以外は、標準仕様書表9.7.1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による
種類 施工箇所 シーリング材の種類 (記号)
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)による
接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

10 石工事
1 施工 (10.1.3) (10.1.5)
石材の割付け ※標準仕様書10.1.3(1) (7), (4)による
・図示
粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ
・図示
屋内の床を本磨きとする場合のワックス掛け
・行う (適用箇所) ・全て
・行わない
2 石材等 (10.2.1~3) (表10.2.1) (表10.2.2)
天然石
施工箇所 品質 石材の種類 形状 寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面仕上げ 備考
・1等品
・2等品
・3等品
・1等品
・1等品
・1等品
テラズブロック
施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 形状 仕上り面 寸法 (mm) 表面仕上げ 備考
※大理石 ※1.5~12
・花こう岩
・平もの
・役もの
・片面
・両面
テラズタイル
施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 寸法による区分 表面仕上げ 備考
※大理石 ※1.5~12
・花こう岩
・300型
・400型
取り付用モルタル、既設の目地モルタル、石表面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材
※石材施工業者の指定する製品
3 外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)
受金物 材質 ※SUS304
形状及び寸法
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm
石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※流し筋工法
・あと施工アンカー工法
・あと施工アンカー・横筋流し工法
ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ
アンカーの材質及び径 ※S400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法 (材質: ) 寸法: ( )
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示
シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上
・図示
4 内壁空積工法 (10.2.2) (10.4.2) (10.4.3)
受金物 材質 ※SUS304
形状及び寸法
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm
石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
アンカーの材質及び径 ※S400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法 (材質: ) 寸法: ( )
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※6mmごと ・図示
シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上
・図示
5 乾式工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3) (表10.2.4)
取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
だぼ用穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(2) (7)による ・図示
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
アンカーの材質及び径 ※ステンレス (SUS 304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 (材質: ) 寸法: ( )
目地 一般目地 目地幅(mm) ※8以上
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による) ・図示
・適用しない
6 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)
床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合60㎡程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示

7 アーチ、上げ表等の石張り (10.2.2) (10.7.1) (10.7.2)
取付け工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法
外壁湿式工法又は内壁空積工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による ・図示
乾式工法の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける 吊金物 ※ステンレス (SUS 304) 径6mm長さ80mm (加工物)
・設ける 吊りボルト ※ステンレス (SUS 304) M10化粧ナット付き
石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ※ステンレス (SUS 304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 (材質: ) 寸法: ( )
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
伸縮調整目地 位置 ※他の部位との取合い部 ・図示
8 笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1) (10.7.3)
取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
外壁湿式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による ・図示
乾式工法の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
石表面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ・ステンレス (SUS 304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 (材質: ) 寸法: ( )
11 タイル工事 (11.1.3) (表11.1.1) (11.2.2) (11.2.3) (11.2.7)
1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) (表11.1.1)
位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示
2 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2) (11.2.3) (11.2.7)
タイルの形状、寸法等
施工箇所 形状寸法 (mm) 再生材の適用 [G] 吸水率による区分 I類 II類 III類 浮き ぬり 有 無 標準 特注 有 無 耐凍害性 耐凍り性 備考
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
・MCR工法
・目尻し工法 (高圧洗浄)
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り
・改良圧着張り ・ユニットタイル ・接着剤張り
外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
既設モルタルの使用
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
3 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~4) (11.3.7)
タイルの形状、寸法等
施工箇所 形状寸法 (mm) 再生材の適用 [G] 吸水率による区分 I類 II類 III類 浮き ぬり 有 無 標準 特注 有 無 耐凍害性 耐凍り性 備考
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)
目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法
・目尻し工法 (高圧洗浄)

12 木工事	1 表面仕上げ (12.1.4)	表面仕上げの種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種	適用箇所
	2 製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (表12.2.1)(表12.2.2)	施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理
	3 造作用集成材 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)	「集材材の日本農林規格」による造作用集成材
	4 造作用単板積層材 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
13 屋根及びびと工	4 造作用単板積層材 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
	5 床張り用合板等 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)	「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)
	6 接着剤 (12.2.2)(12.2.3)	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)	「接着剤の日本農林規格」による接着剤
	7 防蟻・防蟻処理 (12.3.1)(12.3.2)	防蟻・防蟻処理が必要な樹種による製材及び集材材 適用部位：( ) ・薬剤の加工注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部位 処理の方法 ※標準仕様書12.3.1(4)(b)①～④による ・ ・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位：( )	8 間仕切軸組に用いる木材 (12.4.1) 9 床組に用いる木材 (12.4.1) 10 窓、出入口、その他に用いる木材 (12.5.1) 11 絶甲板及び上がまちに用いる木材 (12.6.1) 12 壁及び天井に用いる木材 (12.7.1)
14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	種類 施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	※表面処理は標準仕様書表14.2.1による (14.2.2)(表14.2.1)
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)	種類 施工箇所(成型板、笠木、建具以外)	※表面処理は標準仕様書表14.2.1による (14.2.2)(表14.2.1)
	3 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)	表面処理方法 種類 施工箇所(手すり、タラップ以外)	垂鉛めっき 種類 ・A種 ・B種 ・C種 電気めっき 種類 ・D種 ・E種 ・F種
	4 軽量鉄骨天井地 (14.4.2~4)(表14.4.1)	野縁等の種類 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 周辺部の種からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示 ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ○天井のふところがある場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)(7)、(4)による ・図示 ・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井下地における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 ・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示	
15 その他	1 長尺金属板 (13.2.2)(13.2.3)	施工箇所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ(mm) 屋根葺き形式 備考	材料 板及びコイルの種類(塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号) 屋根用コイル ※JIS G 3322 ・ ・心木なし瓦葺葺 ・平葺 ・立平葺 ・横葺葺 ・横葺 下葺材料 ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ・複層葺材タイプ・粘着層付タイプ) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 雪止め ・設置する 図示( )
	2 折板葺 (13.2.2)(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)	施工箇所 形式 山高、山びつによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ(mm) 軒先面戸板	材料 板及びコイルの種類(塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号) 屋根用コイル ※JIS G 3302 以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理(標準仕様書表14.2.2による・E種・F種) 断熱材 ・有り(種類) 厚さ(mm) 防火性能(時間) ・無し 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法
	3 粘土瓦葺 (13.4.2.3)	施工箇所 種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物瓦の種類 止め瓦	凍害試験 ・行う ・行わない 瓦葺材 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 棟補強用心材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上
	4 とい (13.5.2.3)	といの種類 ・配管用銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 とい受金物 とい受金物の材質、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 足金物の材質、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 多雪地域の場合の軒といの取付け間隔 ※0.5m以下 ロックウル保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による) 銅管製といの防露巻き ・適用する(工法) ※標準仕様書 表13.5.4による ( ) ・適用しない	
16 その他	1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	種類 施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	※表面処理は標準仕様書表14.2.1による (14.2.2)(表14.2.1)
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)	種類 施工箇所(成型板、笠木、建具以外)	※表面処理は標準仕様書表14.2.1による (14.2.2)(表14.2.1)
	3 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)	表面処理方法 種類 施工箇所(手すり、タラップ以外)	垂鉛めっき 種類 ・A種 ・B種 ・C種 電気めっき 種類 ・D種 ・E種 ・F種
	4 軽量鉄骨天井地 (14.4.2~4)(表14.4.1)	野縁等の種類 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 周辺部の種からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示 ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ○天井のふところがある場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)(7)、(4)による ・図示 ・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井下地における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 ・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示	
17 その他	1 スタッド、ランナーの種類 (14.5.3)(表14.5.1)	スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4(5)(7)～(9)による ・図示	スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4(5)(7)～(9)による ・図示
	2 アルミニウム製笠木 (14.7.2)(14.7.3)(表14.2.1)(表14.7.1)	種類 ・250形 ・300形 ・350形 表面処理 種類( ) 種 色合等 ・標準色( ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ) ・特注色 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない	種類 ・250形 ・300形 ・350形 表面処理 種類( ) 種 色合等 ・標準色( ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ) ・特注色 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない
	3 手すり及びタラップ (14.8.2)(14.8.3)	手すりの種類 ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ・HL程度 ) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 ) タラップの種類 ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ・研磨なし ) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 )	手すりの種類 ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ・HL程度 ) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 ) タラップの種類 ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ・研磨なし ) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 )
	4 とい (13.5.2.3)	といの種類 ・配管用銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 とい受金物 とい受金物の材質、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 足金物の材質、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 多雪地域の場合の軒といの取付け間隔 ※0.5m以下 ロックウル保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による) 銅管製といの防露巻き ・適用する(工法) ※標準仕様書 表13.5.4による ( ) ・適用しない	といの種類 ・配管用銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 とい受金物 とい受金物の材質、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 足金物の材質、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による 多雪地域の場合の軒といの取付け間隔 ※0.5m以下 ロックウル保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による) 銅管製といの防露巻き ・適用する(工法) ※標準仕様書 表13.5.4による ( ) ・適用しない

15 左官工事	<p>1 ラス下地 (15. 2. 4)</p> <p>2 せっこうボード、その他ボード下地 (15. 2. 5)</p> <p>3 こまい下地 (15. 2. 6)</p> <p>4 木ずり下地 (15. 2. 7)</p> <p>5 モルタル塗 (15. 3. 2) (15. 3. 5)</p> <p>6 セルフレブリング材塗 (15. 5. 2) (表15. 5. 1)</p> <p>7 仕上げ塗材仕上げ (15. 6. 2) (表15. 6. 1)</p>	<p>12 こまい壁塗り (15. 11. 7)</p> <p>13 ロックウール吹付け (15. 12. 2) (15. 12. 3)</p>	<p>10 木製建具 (16. 7. 2~4)</p> <p>11 建具用金物 (16. 8. 2. 3)</p> <p>12 鍵 (16. 8. 4)</p> <p>13 自動ドア開閉装置 (16. 9. 2~5)</p> <p>14 自閉式上吊り引戸装置 (16. 10. 3)</p> <p>15 重量シャッター (16. 11. 2) (16. 11. 3)</p>	<p>16 軽量シャッター (16. 12. 2~4) (表16. 12. 1)</p> <p>17 オーバーヘッドドア (16. 13. 2) (16. 13. 3)</p> <p>18 ガラス (16. 14. 1)</p> <p>19 ガラスブロック (16. 14. 5)</p>																																																																																																																																																																																																																													
	<p>16 建具工事</p> <p>② 見本の製作等</p> <p>3 防犯建物部品 (16. 1. 6)</p> <p>4 アルミニウム製建具 (16. 2. 2) (16. 2. 4) (16. 2. 5)</p> <p>5 網戸等 (16. 2. 3)</p> <p>6 樹脂製建具 (16. 2. 5) (16. 3. 2~5) (表16. 3. 1) (表16. 3. 2)</p> <p>7 鋼製建具 (16. 2. 2) (16. 4. 2~4) (表16. 4. 2)</p> <p>8 鋼製軽量建具 (16. 2. 2) (16. 5. 2~4)</p> <p>9 ステンレス製建具 (16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2~5)</p>	<p>16. 1. 3 ※建具による</p> <p>16. 1. 4 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) ○行わない 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの ・行う (建具符号: ) ・行わない</p> <p>16. 1. 6 ・適用する (※適用箇所は建具表による) ・適用しない</p> <p>16. 2. 2 性能値等 (建具符号、特の見込み寸法は建具表による) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 (※建具表による) ・図示 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ( ) ・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( )</p> <p>16. 2. 3</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>種 類</td><td>材 種</td><td>線 径</td><td>網 目</td></tr> <tr><td>・防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS 316) 製</td><td>※0. 25mm以上</td><td>※16~18メッシュ ・18メッシュ</td></tr> <tr><td>・防鳥網</td><td>ステンレス (SUS 304) 線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr> </table> <p>16. 2. 5 性能値等 (建具符号、特の見込み寸法は建具表による) ・建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・木下地 (・D種 ・E種) ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ・T-A種 ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種</p> <p>16. 4. 2 表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス</p> <p>16. 5. 2 性能値等 (建具符号は建具表による) 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号は建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ( ) ・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( )</p> <p>16. 6. 2 大型建具 ※適用しない (表16. 4. 2による) ・適用する (建具符号、特の見込み寸法は建具表による)</p> <p>16. 5. 2 性能値等 (建具符号は建具表による) 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号は建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ( ) ・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( )</p> <p>16. 6. 2 鋼板 ※SUS304, SUS430J1L 又はSUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p>	種 類	材 種	線 径	網 目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS 316) 製	※0. 25mm以上	※16~18メッシュ ・18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS 304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm	<p>16. 7. 2 表面板の厚さ ※表16. 7. 6による</p> <p>16. 8. 2 金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16. 8. 1及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16. 8. 2による 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16. 8. 3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ○建具表による 錠前類 ○建具表による クローザ類 ○建具表による</p> <p>16. 8. 4 マスターキー ・製作する (※製作しない (既存マスターキーに合わせる)) その他の錠 ※各室3本1組 錠箱 ※有り ・無し</p> <p>16. 9. 2 自動ドア開閉装置の性能値 自動ドアの種類 性能 引き戸用検査装置の種類 凍結防止 防錆</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>種類</th><td>SSLD-1</td><td>※耐電圧、温度上昇、耐久性 (サイクル) は</td><td>光線 (反射) センサー</td><td>・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない</td><td>・防錆</td></tr> <tr><th>種類</th><td>SSLD-2</td><td>標準仕様書表16. 9. 11による</td><td>音波センサー</td><td></td><td>・適用しない</td></tr> <tr><th>種類</th><td>DSL-1</td><td></td><td>電光センサー</td><td></td><td></td></tr> <tr><th>種類</th><td>DSL-2</td><td></td><td>電波センサー</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 (表16. 9. 2) 開閉方法 ※片開き 耐電圧、温度上昇、耐久性 (サイクル)、防錆、電源 ※標準仕様書表16. 9. 2による 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) 引き戸用検査装置 (表16. 9. 3) 放射線周波数電磁界耐性、耐電圧、防錆、防汚、電源 ※標準仕様書表16. 9. 3による 放射線周波数電磁界耐性 ( ) 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防汚 ( ) 電源 ( )</p> <p>戸の開閉方式 ※図示</p> <p>16. 10. 3 性能 ※標準仕様書表16. 10. 11による</p> <p>16. 11. 2 シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup> ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup> ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部電動式 (表16. 11. 1) 保護装置の設置箇所 ※建具表による 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12</p>	種類	SSLD-1	※耐電圧、温度上昇、耐久性 (サイクル) は	光線 (反射) センサー	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	・防錆	種類	SSLD-2	標準仕様書表16. 9. 11による	音波センサー		・適用しない	種類	DSL-1		電光センサー			種類	DSL-2		電波センサー			<p>16. 12. 2 閉開形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup> 電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 ・インターロック型形 ・オーパーラッピング形</p> <p>16. 13. 2 セクション材料 による区分 耐風圧 区分 (Pa) 閉開方式 による区分 収納形式 による区分 ガイドレールの材質</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>※スチールタイプ</td><td>・125</td><td>※バランス式</td><td>・スタンダード形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td></tr> <tr><td>・アルミニウムタイプ</td><td>・100</td><td>・チェーン式</td><td>・ローヘッド形</td><td>・ステンレス鋼板</td></tr> <tr><td>・ファイバーグラスタイプ</td><td>・75</td><td>・電動式</td><td>・ハイルフト形</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・50</td><td></td><td>・パーチャル形</td><td></td></tr> </table> <p>電動式の場合の保護装置の設置箇所 ※建具表による</p> <p>16. 14. 1 ○適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。(9. 7) (16. 14. 2~4) (表16. 14. 1)</p> <p>16. 14. 2</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="3">・合わせガラス</th></tr> <tr><th>品種</th><th>構成種類</th><th>特性による種別</th></tr> <tr><td>※フロート合わせガラス</td><td>※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス</td><td>・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類</td></tr> <tr><td>・網入磨き合わせガラス</td><td>・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス</td><td>・Ⅲ類</td></tr> </table> <p>16. 14. 3</p> <p>16. 14. 4</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="3">・強化ガラス</th></tr> <tr><th>材料ガラスの種類による名称</th><th>種類</th><th>特性による種別</th></tr> <tr><td>※フロート強化ガラス</td><td>※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス</td><td>・Ⅰ類 ・Ⅲ類</td></tr> <tr><td>・型板強化ガラス</td><td>※型板強化ガラス</td><td></td></tr> </table> <p>16. 14. 5</p> <p>16. 14. 6</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="3">・熱線吸収ガラス</th></tr> <tr><th>品種</th><th>性能による種別</th><th>色調</th></tr> <tr><td>※熱線吸収フロート板ガラス</td><td>・1種 ・2種</td><td>・</td></tr> <tr><td>・熱線吸収網入磨きガラス</td><td></td><td>・</td></tr> </table> <p>16. 14. 7</p> <p>16. 14. 8</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="4">・複層ガラス</th></tr> <tr><th>断熱性</th><th>日射取得性</th><th>日射遮蔽性</th><th>乾燥気体の種類</th></tr> <tr><td>・T1 ・T2 ・T3</td><td>・G</td><td></td><td>・空気</td></tr> <tr><td>・T4 ・T5 ・T6</td><td>・S</td><td></td><td>・アルゴン</td></tr> </table> <p>16. 14. 9</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="4">・熱線反射ガラス</th></tr> <tr><th>品種 (色調)</th><th>日射熱遮へい性</th><th>耐久性</th><th>材料ガラスの種類</th></tr> <tr><td>※熱線反射ガラス ( )</td><td>・1種 ・2種</td><td>A種 ・B種</td><td>・フロート板ガラス</td></tr> <tr><td>・高性能熱線反射ガラス ( )</td><td>・3種</td><td>B種</td><td>・網入磨き板ガラス ・網入磨き板ガラス</td></tr> </table> <p>16. 14. 10</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>反射皮膚面 ※内面</td><td>・外面</td></tr> <tr><td>映像調整</td><td>・行わない ・行う</td></tr> </table> <p>16. 14. 11</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">・倍強度ガラス</th></tr> <tr><th>種類</th><th>色調</th></tr> <tr><td>※フロート倍強度ガラス</td><td></td></tr> <tr><td>・熱線吸収倍強度ガラス</td><td></td></tr> </table> <p>16. 14. 12</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="3">ガラスの留め材及び溝の大きさ</th></tr> <tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ (mm)</th></tr> <tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td><td>※建具の製造所の仕様による</td></tr> <tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による</td></tr> <tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による</td></tr> </table> <p>16. 14. 13</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>表面形状</th><th>呼び寸法</th><th>厚さ</th><th colspan="2">色 調</th><th colspan="2">目地幅 (mm)</th><th colspan="2">伸縮調整</th><th rowspan="2">防火性能</th></tr> <tr><th></th><th></th><th></th><th>クリア</th><th>乳白</th><th>平積み</th><th>曲面積み</th><th>目地 (mm)</th><th></th></tr> <tr><td rowspan="2">・正方形</td><td>・125×125</td><td>80</td><td>・</td><td>・</td><td>※8~15</td><td>外側</td><td>※15以下</td><td>※6m以下</td><td rowspan="3">※無し ・有り</td></tr> <tr><td>・160×160</td><td>95</td><td>・</td><td>・</td><td>・15~25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・長方形</td><td>・200×200</td><td>95</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td>内側</td><td>※6以上</td><td>・図示</td></tr> <tr><td>・320×320</td><td>95</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・長方形</td><td>・250×125</td><td>80</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・320×160</td><td>95</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>16. 14. 14</p> <p>曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示) ・設けない 骨 質 ※ステンレス鋼 (SUS 304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状横筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ( ) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示</p> <p>16. 14. 15</p> <p>16. 14. 16</p> <p>16. 14. 17</p> <p>16. 14. 18</p> <p>16. 14. 19</p> <p>16. 14. 20</p> <p>16. 14. 21</p> <p>16. 14. 22</p>	※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイルフト形			・50		・パーチャル形		・合わせガラス			品種	構成種類	特性による種別	※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅲ類	・強化ガラス			材料ガラスの種類による名称	種類	特性による種別	※フロート強化ガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類	・型板強化ガラス	※型板強化ガラス		・熱線吸収ガラス			品種	性能による種別	色調	※熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・	・熱線吸収網入磨きガラス		・	・複層ガラス				断熱性	日射取得性	日射遮蔽性	乾燥気体の種類	・T1 ・T2 ・T3	・G		・空気	・T4 ・T5 ・T6	・S		・アルゴン	・熱線反射ガラス				品種 (色調)	日射熱遮へい性	耐久性	材料ガラスの種類	※熱線反射ガラス ( )	・1種 ・2種	A種 ・B種	・フロート板ガラス	・高性能熱線反射ガラス ( )	・3種	B種	・網入磨き板ガラス ・網入磨き板ガラス	反射皮膚面 ※内面	・外面	映像調整	・行わない ・行う	・倍強度ガラス		種類	色調	※フロート倍強度ガラス		・熱線吸収倍強度ガラス		ガラスの留め材及び溝の大きさ			建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による	表面形状	呼び寸法	厚さ	色 調		目地幅 (mm)		伸縮調整		防火性能				クリア	乳白	平積み	曲面積み	目地 (mm)		・正方形	・125×125	80	・	・	※8~15	外側	※15以下	※6m以下	※無し ・有り	・160×160	95	・	・	・15~25				・長方形	・200×200	95	・	・		内側	※6以上	・図示	・320×320	95	・	・					・長方形	・250×125	80	・	・					・320×160	95	・	・			
種 類	材 種	線 径	網 目																																																																																																																																																																																																																														
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS 316) 製	※0. 25mm以上	※16~18メッシュ ・18メッシュ																																																																																																																																																																																																																														
・防鳥網	ステンレス (SUS 304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																														
種類	SSLD-1	※耐電圧、温度上昇、耐久性 (サイクル) は	光線 (反射) センサー	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	・防錆																																																																																																																																																																																																																												
種類	SSLD-2	標準仕様書表16. 9. 11による	音波センサー		・適用しない																																																																																																																																																																																																																												
種類	DSL-1		電光センサー																																																																																																																																																																																																																														
種類	DSL-2		電波センサー																																																																																																																																																																																																																														
※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																													
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																													
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイルフト形																																																																																																																																																																																																																														
	・50		・パーチャル形																																																																																																																																																																																																																														
・合わせガラス																																																																																																																																																																																																																																	
品種	構成種類	特性による種別																																																																																																																																																																																																																															
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類																																																																																																																																																																																																																															
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅲ類																																																																																																																																																																																																																															
・強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																	
材料ガラスの種類による名称	種類	特性による種別																																																																																																																																																																																																																															
※フロート強化ガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類																																																																																																																																																																																																																															
・型板強化ガラス	※型板強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																
・熱線吸収ガラス																																																																																																																																																																																																																																	
品種	性能による種別	色調																																																																																																																																																																																																																															
※熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・																																																																																																																																																																																																																															
・熱線吸収網入磨きガラス		・																																																																																																																																																																																																																															
・複層ガラス																																																																																																																																																																																																																																	
断熱性	日射取得性	日射遮蔽性	乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																														
・T1 ・T2 ・T3	・G		・空気																																																																																																																																																																																																																														
・T4 ・T5 ・T6	・S		・アルゴン																																																																																																																																																																																																																														
・熱線反射ガラス																																																																																																																																																																																																																																	
品種 (色調)	日射熱遮へい性	耐久性	材料ガラスの種類																																																																																																																																																																																																																														
※熱線反射ガラス ( )	・1種 ・2種	A種 ・B種	・フロート板ガラス																																																																																																																																																																																																																														
・高性能熱線反射ガラス ( )	・3種	B種	・網入磨き板ガラス ・網入磨き板ガラス																																																																																																																																																																																																																														
反射皮膚面 ※内面	・外面																																																																																																																																																																																																																																
映像調整	・行わない ・行う																																																																																																																																																																																																																																
・倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																	
種類	色調																																																																																																																																																																																																																																
※フロート倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																	
・熱線吸収倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																	
ガラスの留め材及び溝の大きさ																																																																																																																																																																																																																																	
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																																																																																															
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																															
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																															
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																															
表面形状	呼び寸法	厚さ	色 調		目地幅 (mm)		伸縮調整		防火性能																																																																																																																																																																																																																								
			クリア	乳白	平積み	曲面積み	目地 (mm)																																																																																																																																																																																																																										
・正方形	・125×125	80	・	・	※8~15	外側	※15以下	※6m以下	※無し ・有り																																																																																																																																																																																																																								
	・160×160	95	・	・	・15~25																																																																																																																																																																																																																												
・長方形	・200×200	95	・	・		内側	※6以上	・図示																																																																																																																																																																																																																									
	・320×320	95	・	・																																																																																																																																																																																																																													
・長方形	・250×125	80	・	・																																																																																																																																																																																																																													
	・320×160	95	・	・																																																																																																																																																																																																																													



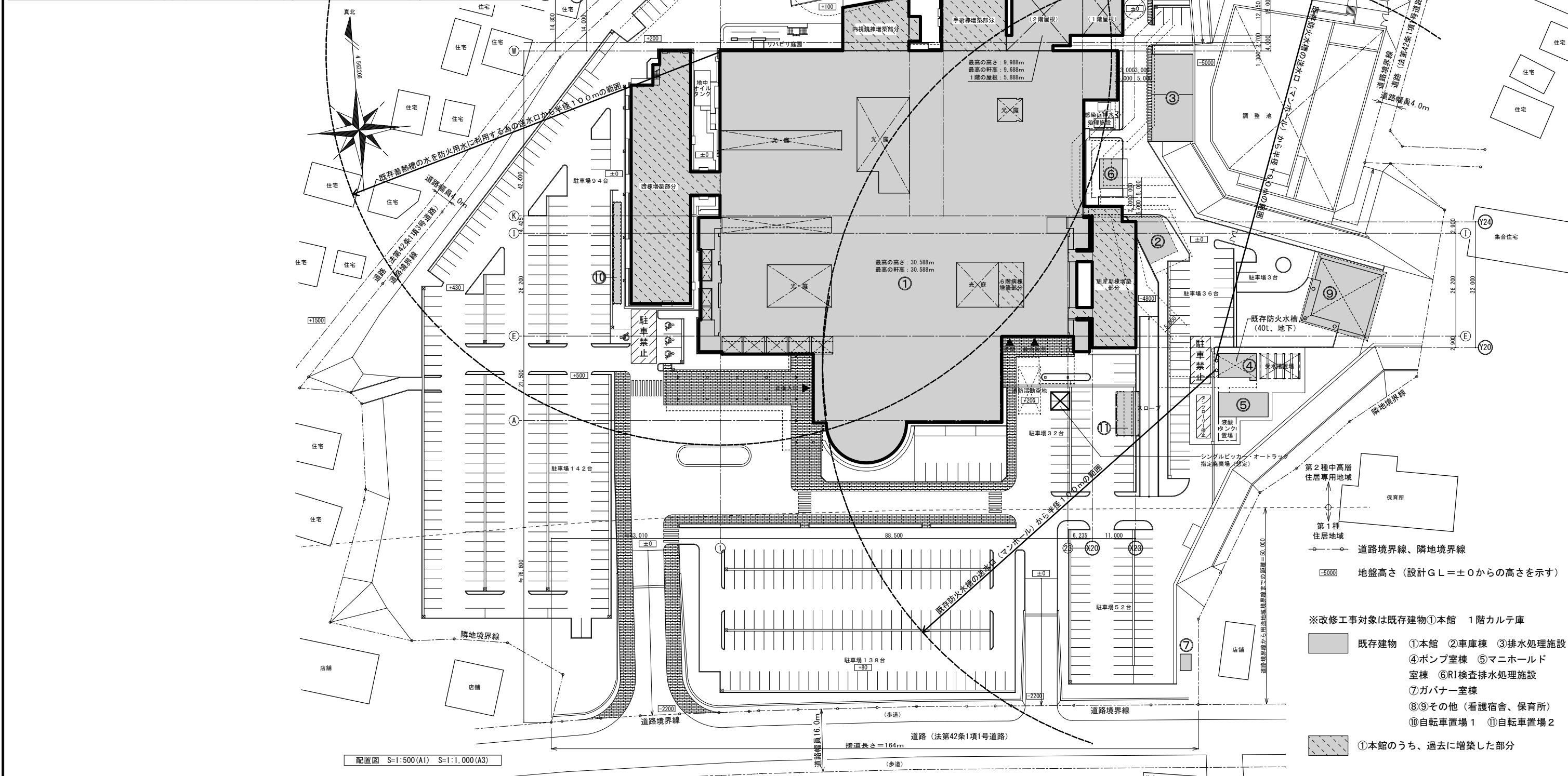
17 カーテンウォール 工事	1 取付方法、性能等	(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)																											
	取付方法 ・層間方式 ・柱、梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式																												
	性能 <table border="1"> <tr> <th colspan="7">耐震性能</th> </tr> <tr> <td>水平方向 (H)</td> <td>垂直方向 (V)</td> <td>水密性</td> <td>気密性</td> <td>遮音性</td> <td>断熱性</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>・1.0</td> <td>・0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・30分 ・70 ・60</td> </tr> <tr> <td colspan="7">耐温度差性能 (°C)</td> </tr> </table>	耐震性能							水平方向 (H)	垂直方向 (V)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	・1.0	・0.5					・30分 ・70 ・60	耐温度差性能 (°C)						
耐震性能																													
水平方向 (H)	垂直方向 (V)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能																							
・1.0	・0.5					・30分 ・70 ・60																							
耐温度差性能 (°C)																													
2 メタルカーテンウォール	耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない																												
	主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h)	耐風圧性能																											
	4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること																											
3 PCカーテンウォール	層間変位過渡性 建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	変位後の状態																										
	鉄骨造	・±(1/200)×h以上																											
	鉄筋コンクリート造	・±(1/300)×h以上																											
18 塗装工事	シーリング材 下表以外は標準仕様書9.7.1による	シーリング材の種類																											
	接着体の組合せ	記号	主成分による区分																										
	ガラスの取付け 構造ガセット ・適用する (施工箇所 ・ 図示 ・ ) 材質 ・ クロプロレン系 ・ EPDM系 ・ シリコン系 形状 ・ H型 ・ Y型 ・ C型 寸法 (mm) ガラス板厚 ( ) ・ 支持枠の厚さ ( ) ・ ウェブの寸法 ( ) ・適用しない																												
19 内装工事	耐熱材 種類 ( ) 厚さ (mm) ( ) 施工箇所 ・ 図示 ・																												
	耐火材料 施工部位	種 別	規格帯																										
	ファスナー部 取付けブラケット パネル目地部 層間ふさぎ																												
20 断熱材	性能の確認方法及び判定方法 ・行う ・行わない (資料による承諾)																												
	適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属系材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 映像調整 ・行う ・行わない	(17.2.2)(17.2.3)(17.2.5)																											
	形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書17.2.1による 見え掛り部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 垂直方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3mm 目地の芯の通り ※+2mm 目地両側の段差 ※+2mm 各階の基準墨から各部材までの距離 ※±3mm	(17.3.2)~(17.3.5)																											

18 塗装工事	①材料	(18.1.3)
	②素地ごしらえ	(18.2.2)~(表18.2.1~7)
	③錆止め塗料塗り	(18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1~4)
19 内装工事	④塗装	(18.4.1~13.2)(表18.4.1~13.1)
	⑤ビニル床シート	(19.2.2)(19.2.3)
	⑥ビニル床タイル	(19.2.2)
20 断熱材	⑦断熱材	(19.2.2)
	⑧断熱材	(19.2.2)
	⑨断熱材	(19.2.2)

7 カーペット敷き	織じゅうたん 種類 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考	(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)(表19.3.2)
	タフテッドカーペット バイル形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考	
	ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) ( ) 帯電性 ・適用する ・適用しない 備考 ( )	
7 合成樹脂床材	タイルカーペット 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備考	
	タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・	
	見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示 ・ ) ・適用しない	
8 フローリング張り	合成樹脂床材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) ・	(19.4.2)
	単層フローリング 種類 工法 樹種 厚さ及び大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用	(19.5.2)~(表19.5.1)~(5)
	複合フローリング 種類 工法 樹種 種別 防湿処理 仕上塗装 間伐材等の適用	
9 畳敷き	フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) ・ 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上 ・行う (施工箇所 ) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	(19.6.2)(表19.6.1)
	種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)	
	畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びヒステリンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとす。	

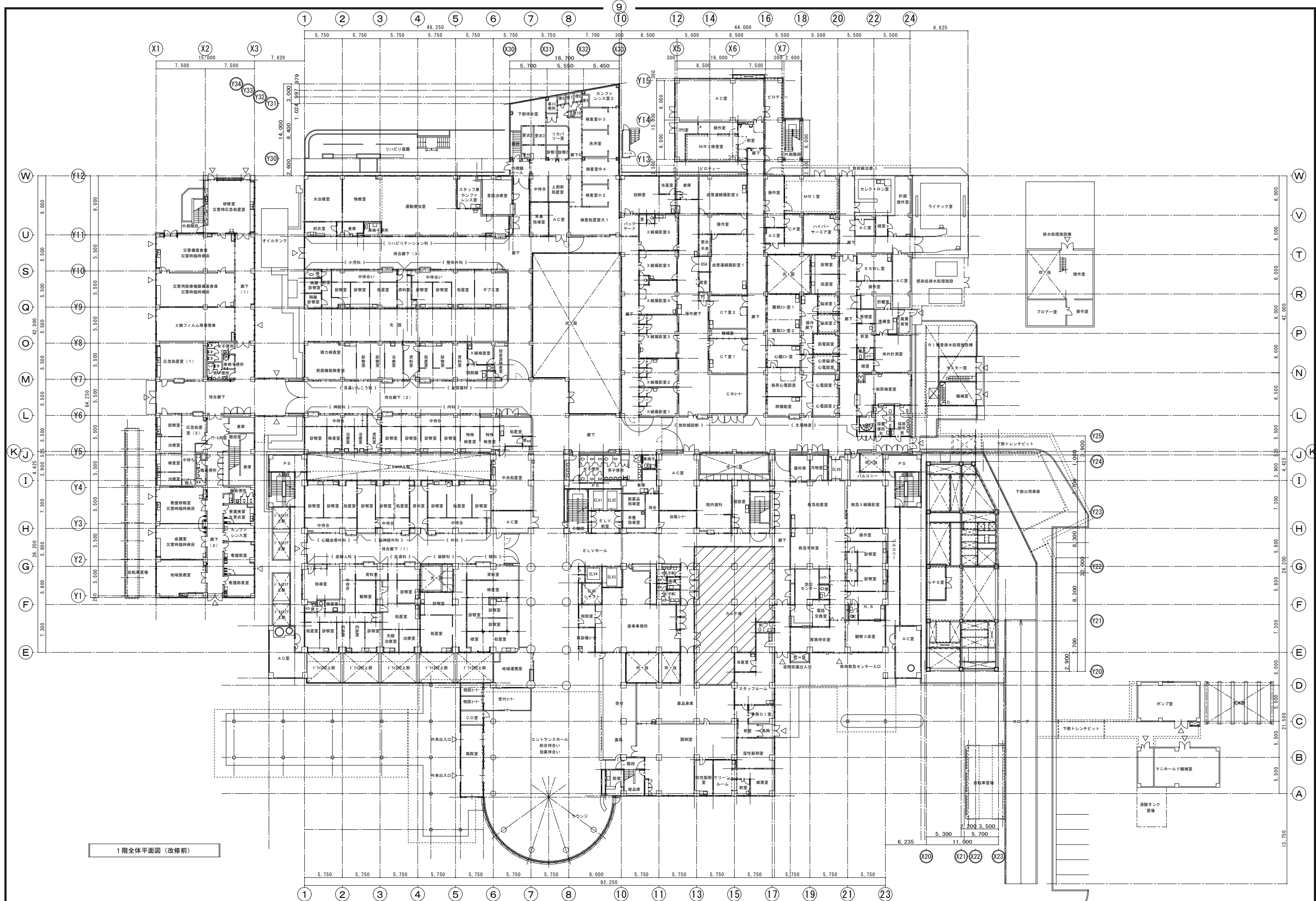
11 壁紙張り	せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)
	種 類 JIS記号 厚さ (mm) 規格等	
	・硬質木毛セメント板 ・中質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板 ・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板 ・けい酸セメント板	HW MW NW HF NF ・15 ・20 ・25 ・15 ・20 ・25 ・15 ・20 ・25 ・12 ・15 ・18 ・21 ・30 0.8FK 1.0FK ・17(2 (無石綿) ・6 ・8
⑩せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	種 類 JIS記号 厚さ (mm) 規格等	
12 断熱材	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による) ・	(19.9.2)(19.9.3)
	種 類 厚さ (mm) 施工箇所	
	・ピーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材	・ ・ ・ ・

ユニット及びその他の工事	20	1 フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td>・</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000N ・5,000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> <td></td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2) (イ)による</p> <p>帯電防止性能 ・U値 (クラス1) ・U値 (クラス2) 漏えい抵抗 ・R≧1×10<sup>8</sup>Ω</p> <p>表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製(仕上げ: ) スロープ及びびりボーダー ・製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20~30パーセント</p> <p>配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・図示</p> <p>空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・なし ・あり(形式、施工箇所:図示)</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット		8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色</th> <th>形式</th> </tr> <tr> <td>・黒板 ※焼付け</td> <td></td> <td>・黒</td> <td>・平面 ・スクリーン付き引分け</td> </tr> <tr> <td>・ホワイトボード</td> <td></td> <td>・</td> <td>・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	色	形式	・黒板 ※焼付け		・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け	・ホワイトボード		・	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面	19 耐震スリット	<table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直方向 ・水平方向</td> <td>・完全(全貫通型) ・</td> <td>・耐火型 ・非耐火型</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ) ・</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法(mm)</td> <td>・幅20×深さ10 ・</td> <td>・幅20×深さ10 ・</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による</p> <p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)	目地寸法(mm)	・幅20×深さ10 ・	・幅20×深さ10 ・	33 防煙垂れ壁	<p>・固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・※納入り磨き板ガラス ・納入り磨き板ガラス</td> <td>・※6.8 ・</td> <td>・※500 ・</td> <td>・アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>・※不燃布(不燃認定品)</td> <td>・※500 ・800</td> <td>・ガイドレール ・※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>・鋼板製又はアルミ製</td> <td>・※500 ・800</td> <td>・表面仕上げ ・※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込み型)</p>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	・※納入り磨き板ガラス ・納入り磨き板ガラス	・※6.8 ・	・※500 ・	・アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	・※不燃布(不燃認定品)	・※500 ・800	・ガイドレール ・※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	・鋼板製又はアルミ製	・※500 ・800	・表面仕上げ ・※天井材張り
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考																																																																				
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																																																					
	種類	寸法(mm)	色	形式																																																																								
	・黒板 ※焼付け		・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け																																																																								
	・ホワイトボード		・	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面																																																																								
	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																							
	・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																								
	目地	内壁	外壁																																																																									
	目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)																																																																									
目地寸法(mm)	・幅20×深さ10 ・	・幅20×深さ10 ・																																																																										
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																									
・※納入り磨き板ガラス ・納入り磨き板ガラス	・※6.8 ・	・※500 ・	・アルミ製枠付き																																																																									
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																									
・垂直降下式(巻取り型)	・※不燃布(不燃認定品)	・※500 ・800	・ガイドレール ・※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)																																																																									
・回転降下式	・鋼板製又はアルミ製	・※500 ・800	・表面仕上げ ・※天井材張り																																																																									
	2	2 可動間仕切 (20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成基材の種類</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>遮音性能(dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>スタッド パネル</td> <td>・鋼板 ・</td> <td>・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)</p>	構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・鋼板 ・	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	9 鏡 (20.2.9)	<p>取付箇所 ( ) 寸法(mm) ・図示 厚さ(mm) ※5</p>	20 止水板	形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示	34 収納家具 (12.2.2)(19.7.2)	材質形状・寸法 ※図示 合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)																																																							
構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)	防火性能																																																																							
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・鋼板 ・	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																							
	3	3 移動間仕切 (20.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法</th> <th>圧縮装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>遮音性(dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 ・移動式 ・二方向移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>・鋼板 ・</td> <td>・メラミン樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ・標準仕様書20.2.4(3)(イ)による ・図示 ハンガーレール ・標準仕様書20.2.4(3)(イ)による ・図示 ランナー ・標準仕様書20.2.4(3)(イ)による ・</p>	走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	・平行方向 ・移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・鋼板 ・	・メラミン樹脂焼付 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	10 表示 (20.2.10)	<p>・衝突防止表示 形状、寸法(・30φ) ・ 材質 (・ステンレス製) ・</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 色、書体、印刷等の種別、取付け形状等は図示による。 その他の表示 ※図示</p>	21 エキスパンションジョイント金物	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>クリアランス</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・熱可塑性エラストマー</td> <td>・50 ・150</td> <td>・100 ・250</td> <td>・有り( ) ・無し</td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p>	材質	クリアランス	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・熱可塑性エラストマー	・50 ・150	・100 ・250	・有り( ) ・無し	35 屋外掲示板	照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し																																															
走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)																																																																							
・平行方向 ・移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・鋼板 ・	・メラミン樹脂焼付 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																							
材質	クリアランス	耐火性能	備考																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・熱可塑性エラストマー	・50 ・150	・100 ・250	・有り( ) ・無し																																																																									
	4	4 トイレブース (20.2.5)	<table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ ・</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の仕様</td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外(1-8 環境への配慮(2)による)</p>	表面材の材質	脚部	ドアエッジ	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の仕様	11 煙突ライニング (20.2.11)	22 くつふきマット	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS 304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS 304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材質	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS 304)製	・ステンレス鋼(SUS 304) ・硬質アルミニウム合金		36 敷地境界石標 (17) パーテーション	種類 ※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう石類(文字記号等入り) 図示による																																																								
表面材の材質	脚部	ドアエッジ																																																																										
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の仕様																																																																										
材質	受け枠	備考																																																																										
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS 304)製	・ステンレス鋼(SUS 304) ・硬質アルミニウム合金																																																																											
	5	5 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>・300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類)</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外</td> <td>・ステンレス点字紙 ・ノンスリップ樹脂入り</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類) ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ブロックパターンは JIS T 9251 による</p>	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類)	・300×300	・	屋外	・ステンレス点字紙 ・ノンスリップ樹脂入り	・300×300	・	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類) ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・	12 ブラインド (20.2.12)	23 流し台ユニット (20.2.13)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>寸法・取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横型 ・縦型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所	・横型 ・縦型	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示	・手動 ・電動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・	※アルミニウム合金製	・図示	24 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー型 ・同一断面型</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式		25 旗竿受金物	材質 ・ステンレス製(SUS 304)															
施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)																																																																									
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0																																																																									
	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類)	・300×300	・																																																																									
屋外	・ステンレス点字紙 ・ノンスリップ樹脂入り	・300×300	・																																																																									
	・磁器質タイル(I類) ・せっ器質タイル(II類) ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・																																																																									
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所																																																																						
・横型 ・縦型	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示																																																																						
・手動 ・電動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・	※アルミニウム合金製	・図示																																																																						
材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																							
・アルミニウム合金製	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式																																																																								
	6	6 階段滑り止め (20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> <tr> <td>・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り</td> <td>・約35 ・</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> <td>・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし</td> </tr> </table>	材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし	13 ロールスクリーン (20.2.13)	26 車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵型 ・</td> <td>・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td>・ ・</td> </tr> </table>	形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製	・ ・	27 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示																																																				
材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド																																																																									
・ステンレス製(SUS 304) ・ビニルタイヤ入り	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ビニル製 ・ステンレス製 ・なし																																																																									
形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																									
・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製	・ ・																																																																									
	7	7 手すり (20.2.7)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※集成材</td> <td>・クリヤラッカー ・</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレスパイプ</td> <td>・HL ・</td> <td>・34</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼製パイプ</td> <td>・EP-G ・SOP ・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td>・34</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	※集成材	・クリヤラッカー ・	・35 ・45			・ステンレスパイプ	・HL ・	・34			・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP ・				・ビニル製ハンドレール		・34			14 カーテン (20.2.14)	28 ブレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)	<p>コンクリートの設計基準強度 ※セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m<sup>3</sup>を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td></td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮目地 材質 ・図示 厚さ ・図示</p>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・		・コンクリート間知ブロック		・A ・B		29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2)(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷重による種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	耐荷重による種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																									
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																								
※集成材	・クリヤラッカー ・	・35 ・45																																																																										
・ステンレスパイプ	・HL ・	・34																																																																										
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP ・																																																																											
・ビニル製ハンドレール		・34																																																																										
材質	種類	質量区分	備考																																																																									
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・																																																																										
・コンクリート間知ブロック		・A ・B																																																																										
種類	規格等	耐荷重による種類																																																																										
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																										
	8	8 床点検口 (20.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・結露防止形</td> <td>・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用	15 カーテンレール (20.2.14)	30 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・結露防止形</td> <td>・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用	31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り																																																				
材質	寸法	形式	備考																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用																																																																									
材質	寸法	形式	備考																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用																																																																									
	9	9 天井点検口 (20.2.9)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・結露防止形</td> <td>・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用	16 ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14)	32 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) 奥行(mm) ・約450 ・約600																																																														
材質	寸法	形式	備考																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・鍵付き ・屋内用																																																																									

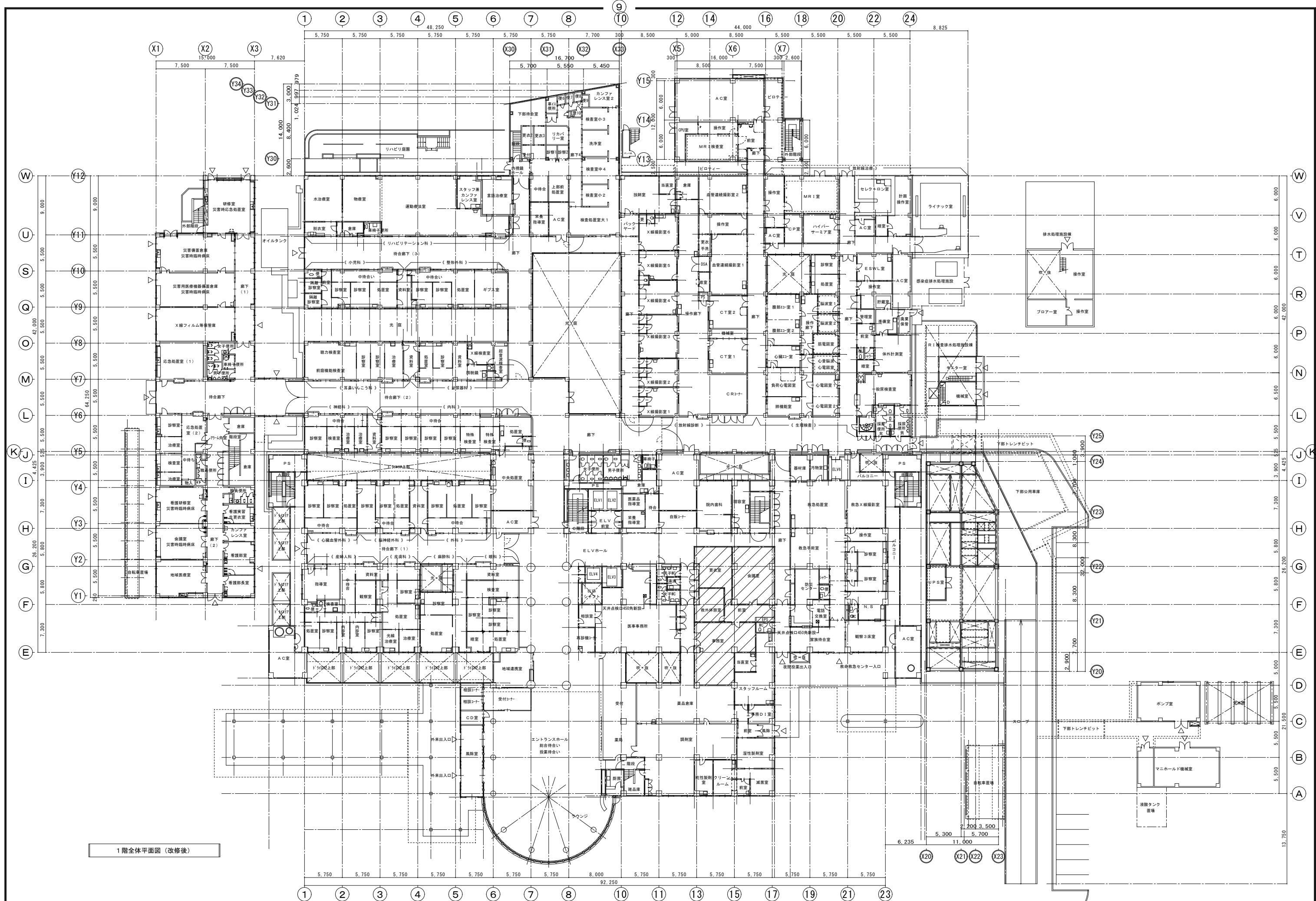


配置図 S=1:500(A1) S=1:1,000(A3)

- ※設計GL±0  
As舗装面上マンホールを基点
- ※改修工事対象は既存建物①本館 1階カルテ庫
- 既存建物 ①本館 ②車庫棟 ③排水処理施設
  - ④ポンプ室棟 ⑤マンホール室棟 ⑥RI検査排水処理施設
  - ⑦ガバナー室棟
  - ⑧⑨その他(看護宿舎、保育所)
  - ⑩自転車置場1 ⑪自転車置場2
  - ▨ ①本館のうち、過去に増築した部分
- 第2種中高層住居専用地域  
 保育所  
 第1種住居地域  
 道路境界線、隣地境界線  
 □5000 地盤高さ(設計GL±0からの高さを示す)



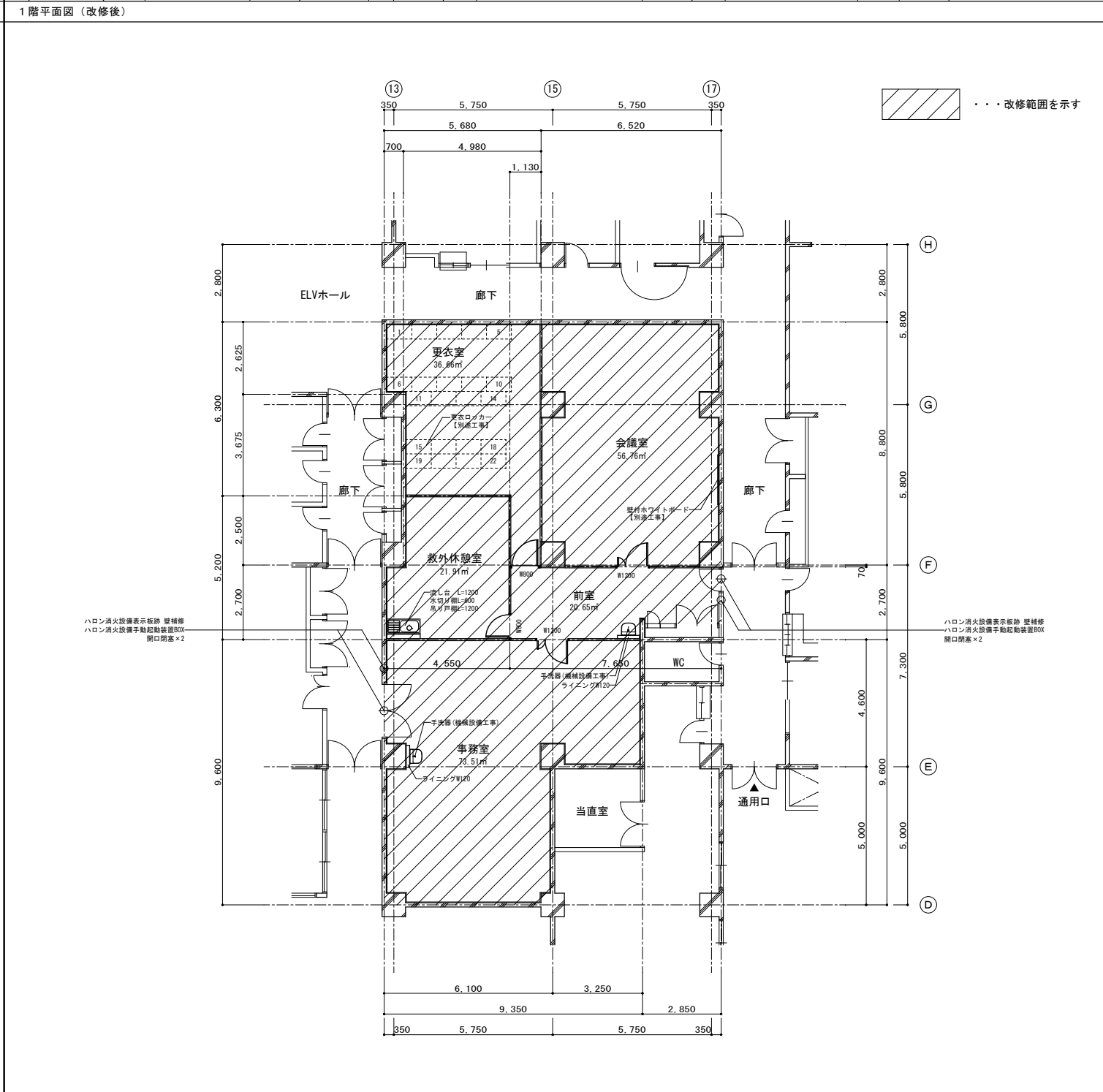
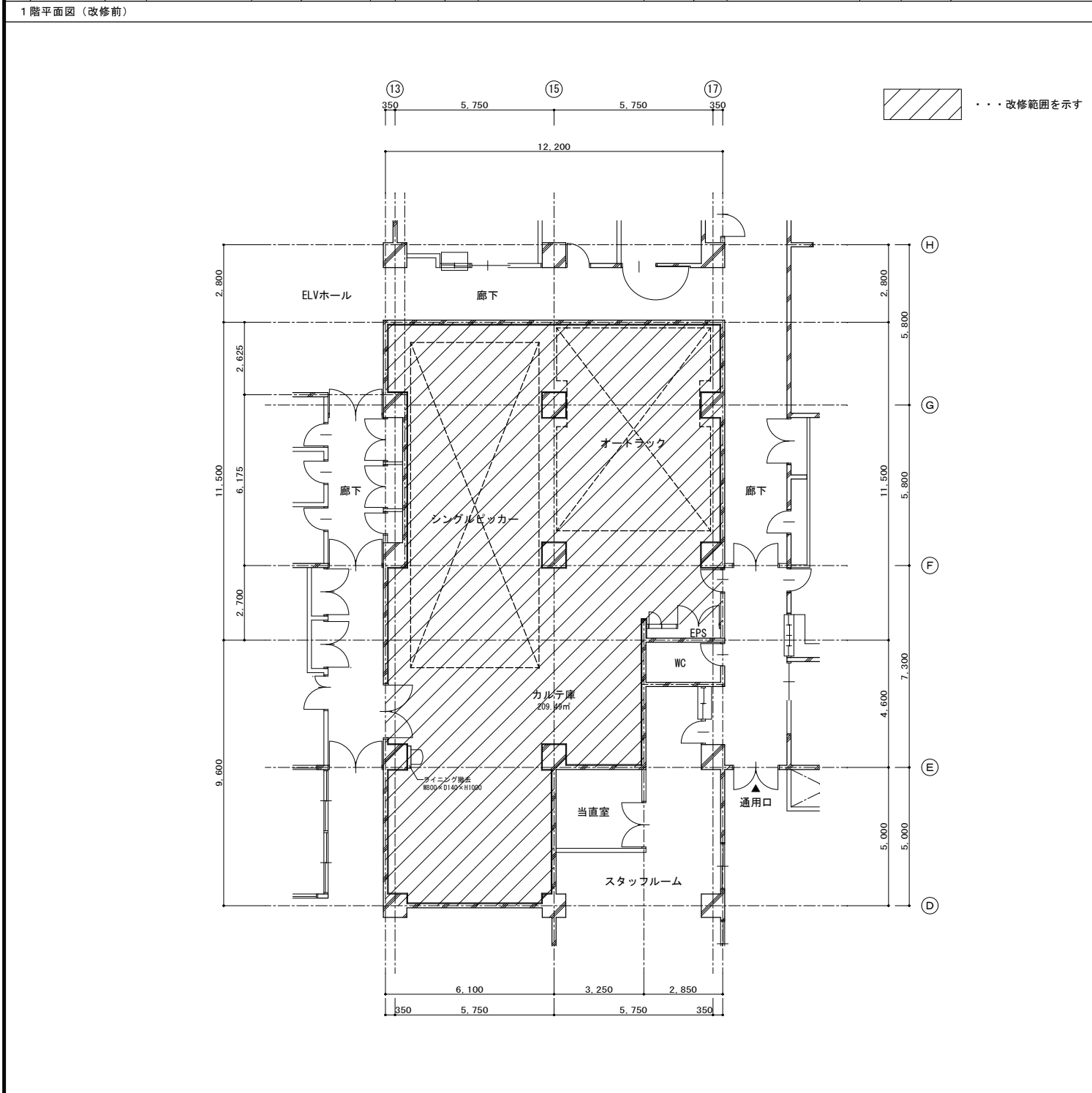
1階全体平面図 (改修前)



1階全体平面図 (改修後)


仕上表 (改修前)													
階	室名	床	区分	巾木	H	区分	下地	壁	区分	天井	天井高さ	備考	
1階	カルテ庫	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【仕上撤去】	ビニル巾木	60	【撤去】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【塗膜除去】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	3.200	【撤去】 (LGS下地共)
		オートラック設置範囲 ビニル床シートt2.0 六ニヤ敷t15+15 (モルタル金ゴテ下地)	【仕上撤去】										オートラック【撤去】 シングルピッカー【撤去】 ライニング【撤去】
	廊下	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS	岩綿吸音板t12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)	2.700	【部分撤去】
81階	厨房	RC ±0 -300 エポキシ樹脂床材 (軽量RC H300下地)	【既存のまま】	サニタリタイル		【既存のまま】	RC	磁器質タイル100角貼り	【既存のまま】	LGS	ケイ酸カルシウム板t6 VP	2.700	【部分撤去】
		RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	2.700	【部分撤去】

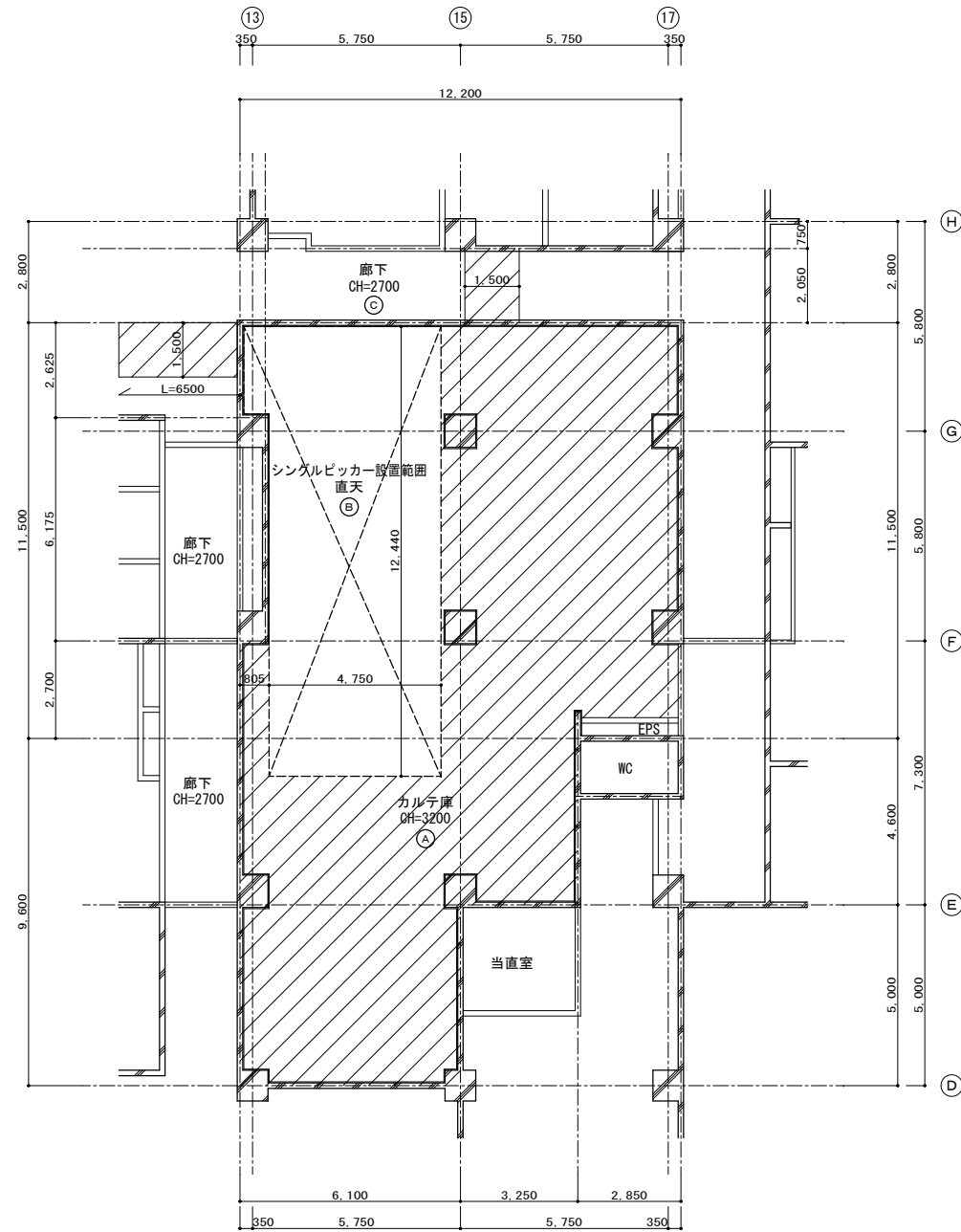
仕上表 (改修後)													
階	室名	床	区分	巾木	H	区分	下地	壁	区分	天井	天井高さ	備考	
1階	事務室	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	教外休憩室	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	更衣室	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	会議室	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	前室	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0	【新設】	ビニル巾木	60	【新設】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) EP-G パーテーション (通音仕様)	【塗装塗替】 【新設】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	2.700	【新設】 (LGS下地共)
	廊下	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS	岩綿吸音板t12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)	2.700	【部分復旧】
81階	厨房	RC ±0 -300 エポキシ樹脂床材 (軽量RC H300下地)	【既存のまま】	サニタリタイル		【既存のまま】	RC	磁器質タイル100角貼り	【既存のまま】	LGS	ケイ酸カルシウム板t6 EP	2.700	【部分復旧】
	厨房事務室	RC ±0 -15 ビニル床シートt2.0 (モルタル金ゴテ下地)	【既存のまま】	ビニル巾木	60	【既存のまま】	RC	石膏ボード t9+12 (GL工法) VP	【既存のまま】	LGS	化粧石膏ボードt9.5	2.700	【部分復旧】



1階天井伏図（改修前）


天井伏図符号凡例	
Ⓐ	化粧石膏ボード
Ⓑ	RC直天井
Ⓒ	岩綿吸音板T12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)

 ... 改修範囲を示す

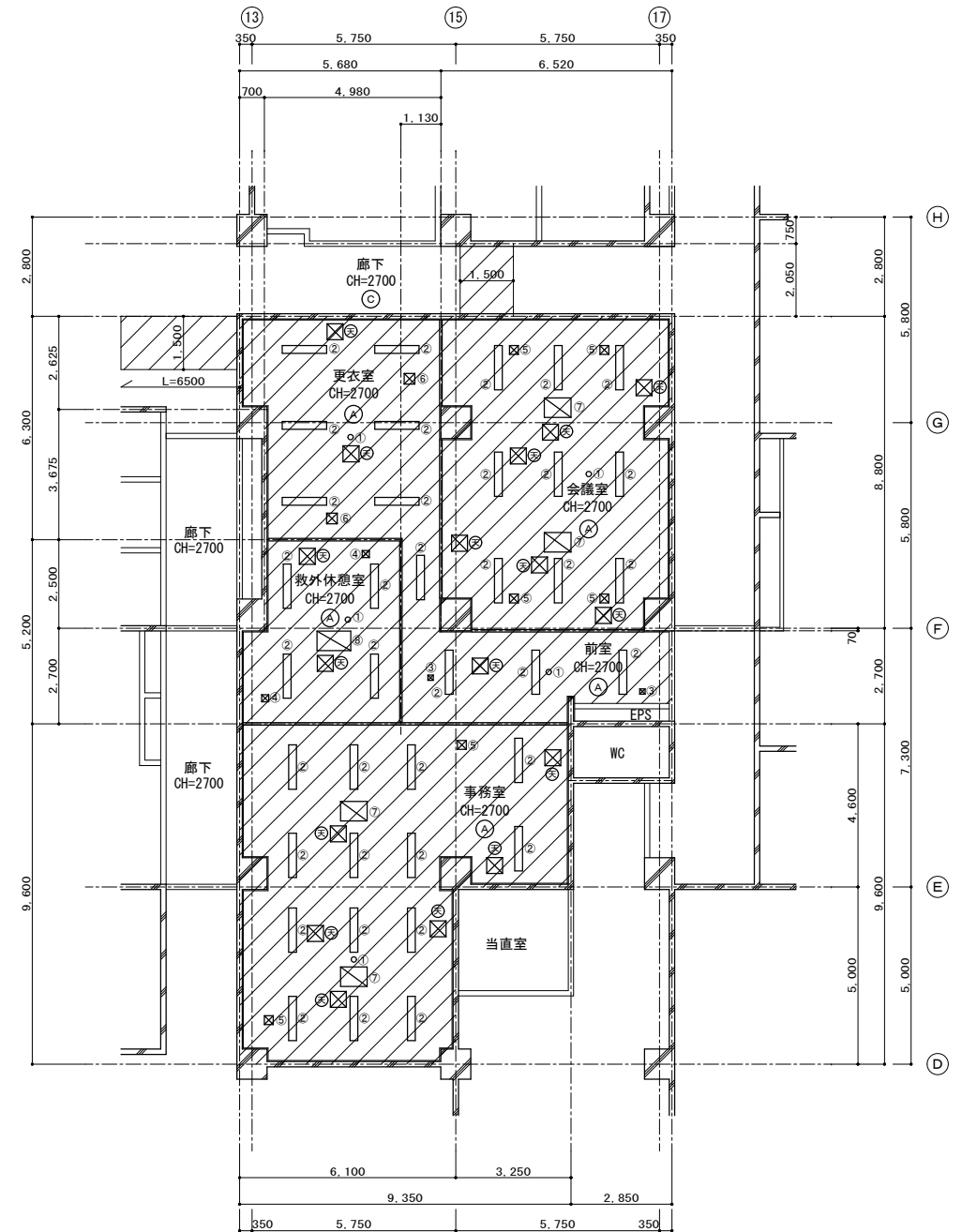


1階天井伏図（改修後）

天井伏図符号凡例	
Ⓐ	化粧石膏ボードt9.5
Ⓑ	RC直天井
Ⓒ	岩綿吸音板T12 (不燃積層石膏ボードt9.5 捨貼)

 ... 改修範囲を示す

注記  
1. 特記なき限り、壁との取合部には、塩ビ製継縁（突付）を設ける。




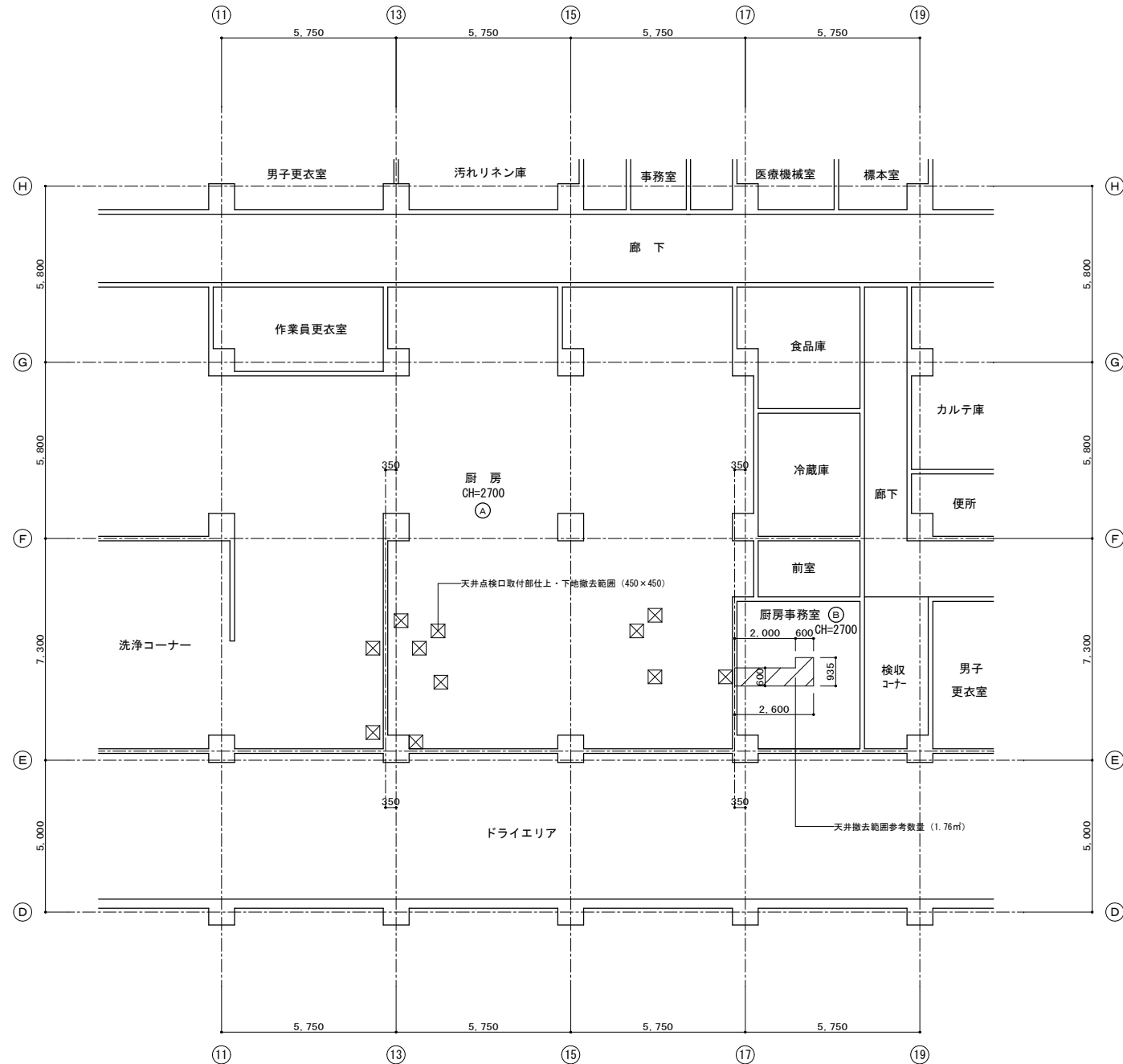
※天井点検口は1階医事事務所及び電話交換機室へ各1か所合計2か所を設置する  
設置位置についてはA-12図を参照して下さい。

天井点検口リスト				天井開口補強リスト		
記号	形状・寸法	数量	備考	記号	形状・寸法	数量
Ⓒ	450 × 450	19	アルミ継縁タイプ	①	φ150	5
				②	1,250 × 220	37
				③	150 × 150	2
				④	200 × 200	2
				⑤	250 × 250	6
				⑥	300 × 300	2
				⑦	790 × 550	4
				⑧	950 × 550	1

地下1階天井伏図（改修前）


天井伏図符号凡例	
(A)	ケイ酸カルシウム板16 VP塗装
(B)	化粧石膏ボード

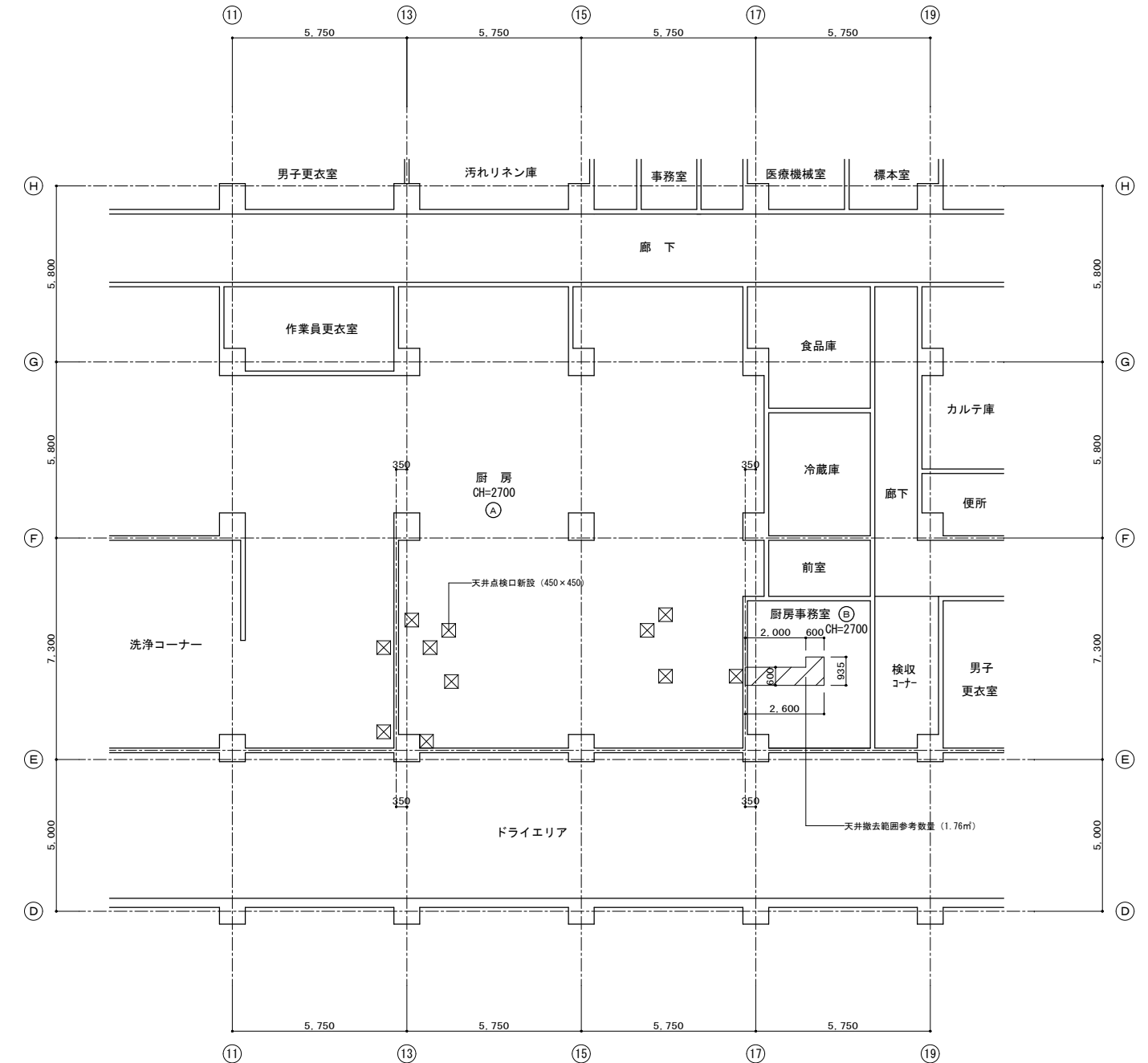
 ... 改修範囲を示す




地下1階天井伏図（改修後）

天井伏図符号凡例	
(A)	ケイ酸カルシウム板16 VP塗装
(B)	化粧石膏ボード t:9.5

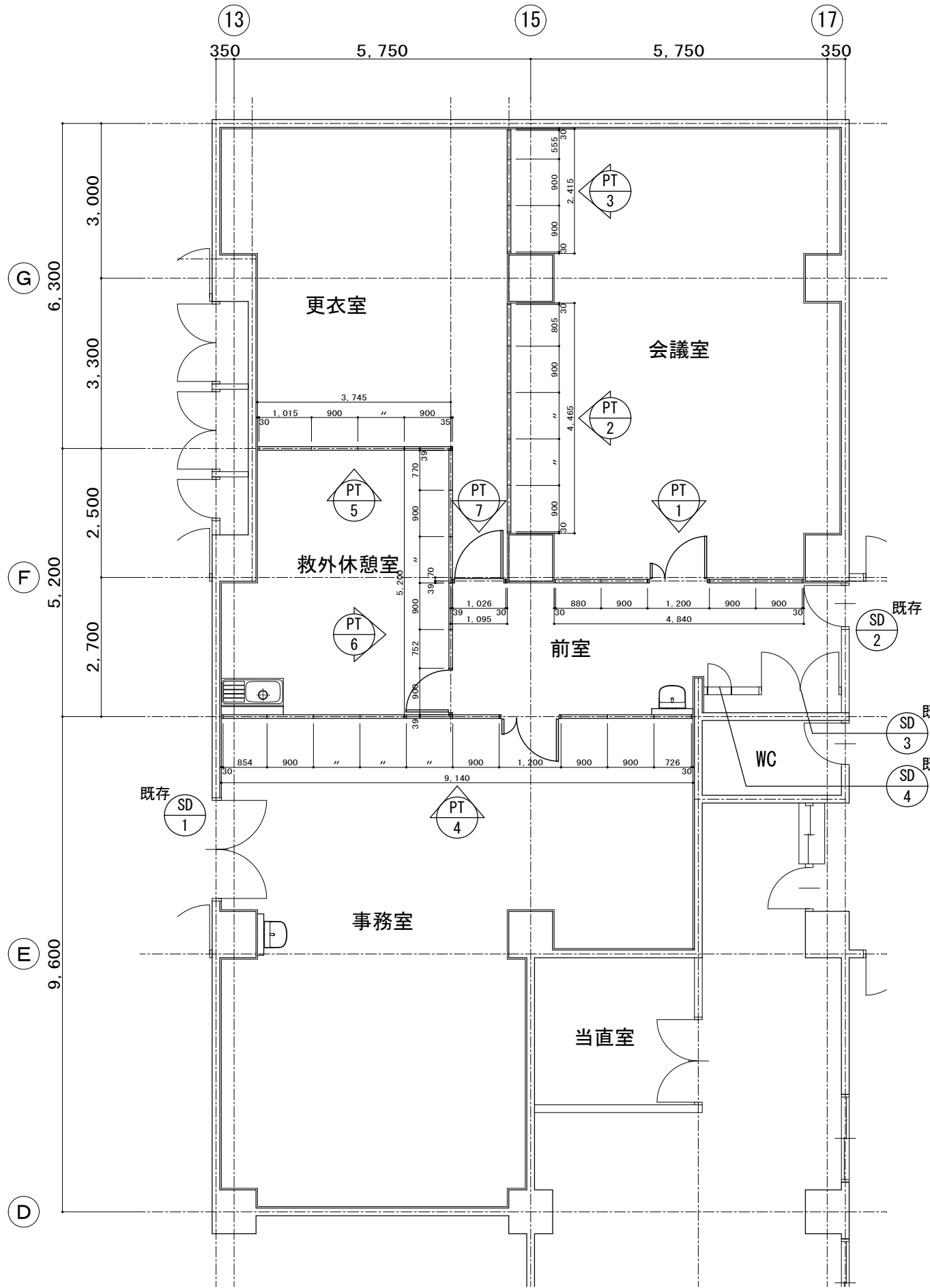
 ... 改修範囲を示す



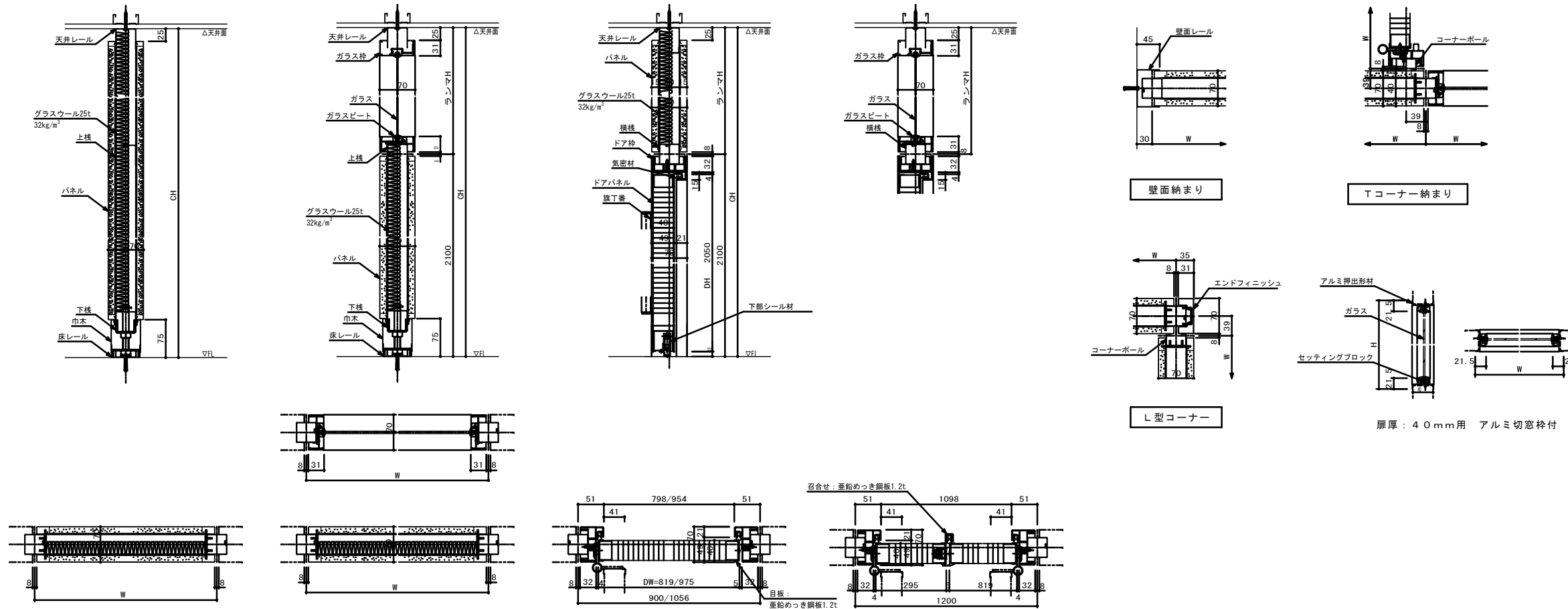
注記  
1. 特記なき限り、壁との取合部には、塩ビ製廻縁（突付）を設ける。

天井点検口リスト			
形状・寸法	数量	備考	
 450 × 450	11	アルミ額縁タイプ	





建具符号	形式	数量	PT 1	PT 2		
窓	PT 1	1	会議室	会議室		
使用場所	ガラス	見込 (枠 / 扉)	※部分詳細図参照	70 / 40		
材料 / 仕上	※部分詳細図参照					
建具金物	※部分詳細図参照					
備考	※部分詳細図参照					
建具符号 <th>形式</th> <th>数量</th> <th>PT 3</th> <th>PT 4</th>	形式	数量	PT 3	PT 4		
窓	PT 3	1	会議室	会議室		
使用場所	ガラス	見込 (枠 / 扉)	※部分詳細図参照	70 / 40		
材料 / 仕上	※部分詳細図参照					
建具金物	※部分詳細図参照					
備考	※部分詳細図参照					
建具符号 <th>形式</th> <th>数量</th> <th>PT 5</th> <th>PT 6</th> <th>PT 7</th>	形式	数量	PT 5	PT 6	PT 7	
窓	PT 5	1	救外休憩室	救外休憩室	更衣室	
使用場所	ガラス	見込 (枠 / 扉)	※部分詳細図参照	70 / 40	※部分詳細図参照	
材料 / 仕上	※部分詳細図参照					
建具金物	※部分詳細図参照					
備考	※部分詳細図参照					
建具符号 <th>形式</th> <th>数量</th> <th>SD 1</th> <th>SD 2</th> <th>SD 3</th> <th>SD 4</th>	形式	数量	SD 1	SD 2	SD 3	SD 4
扉	SD 1	1	片開き戸 (特定防火設備: 常閉)	片開き戸 (特定防火設備: 常閉)	片開き戸	片開き点検扉
使用場所	ガラス	見込 (枠 / 扉)	※部分詳細図参照	70 / 40	※部分詳細図参照	※部分詳細図参照
材料 / 仕上	※部分詳細図参照					
建具金物	※部分詳細図参照					
備考	※部分詳細図参照					
建具符号 <th>形式</th> <th>数量</th> <th>SD 5</th> <th>SD 6</th> <th>SD 7</th> <th>SD 8</th>	形式	数量	SD 5	SD 6	SD 7	SD 8
窓	SD 5	1	事務室	前室	前室	前室
使用場所	ガラス	見込 (枠 / 扉)	※部分詳細図参照	70 / 40	※部分詳細図参照	※部分詳細図参照
材料 / 仕上	※部分詳細図参照					
建具金物	※部分詳細図参照					
備考	※部分詳細図参照					



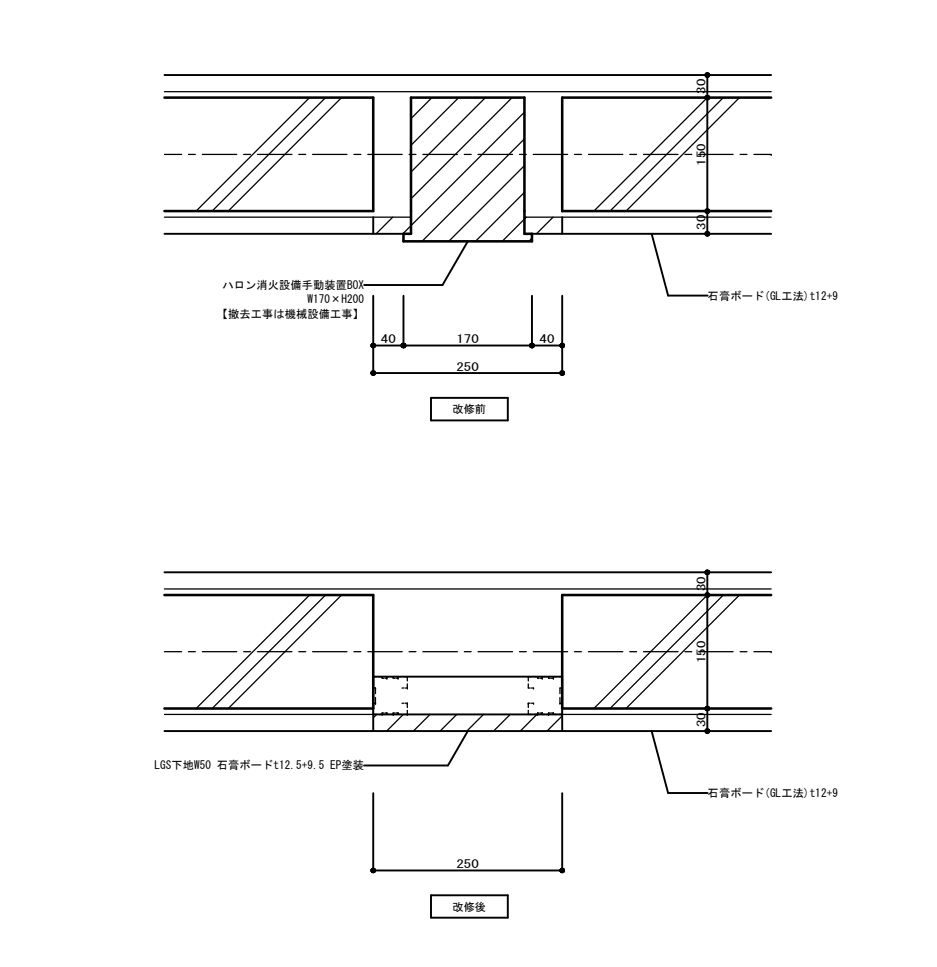
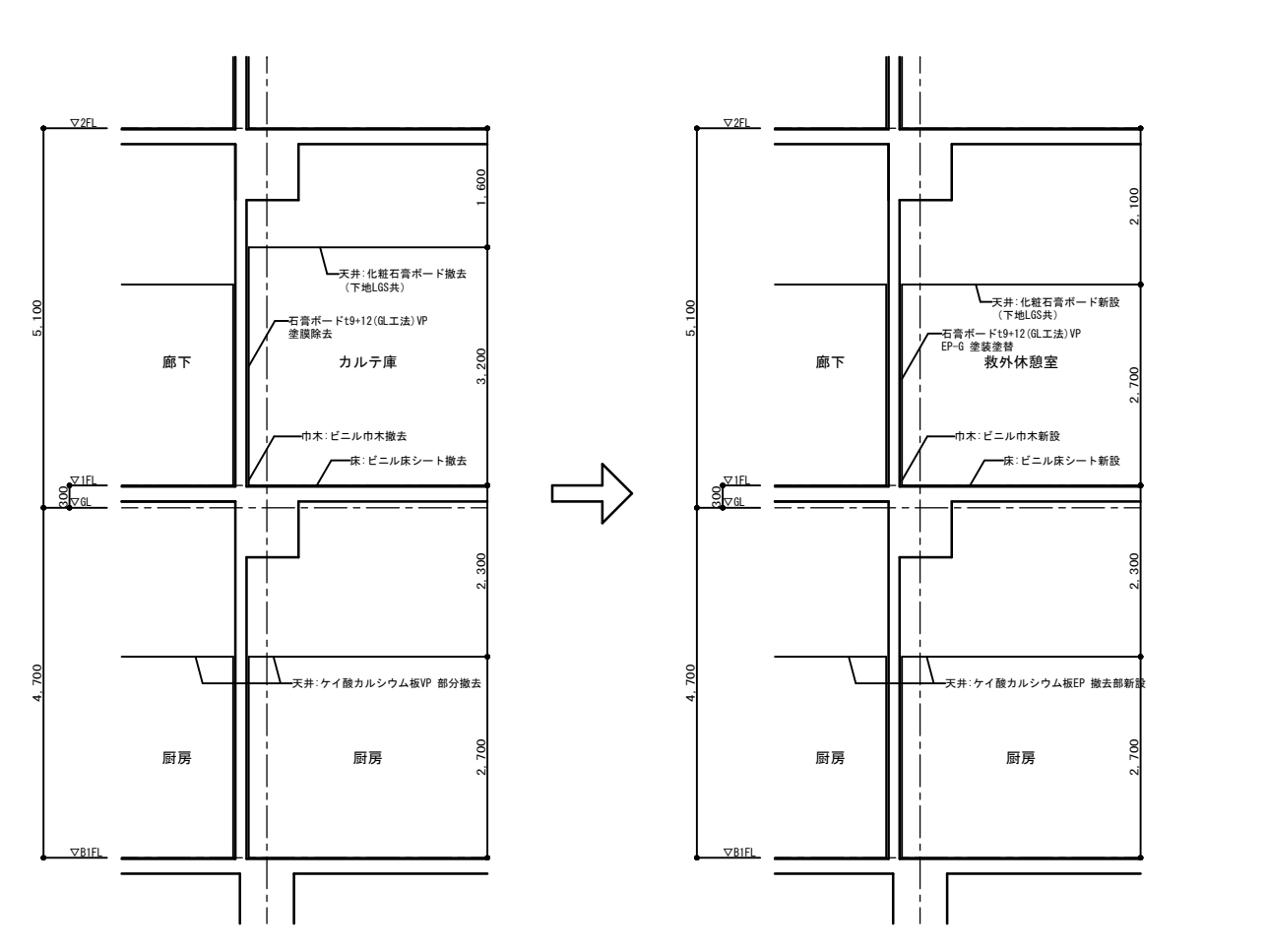
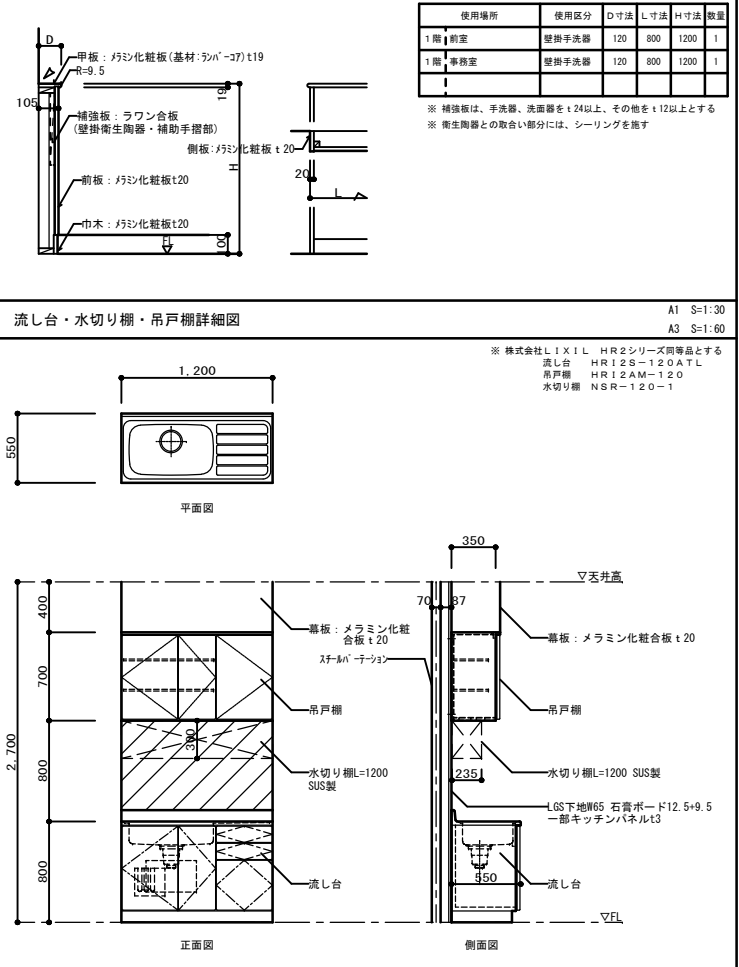
◇仕様表

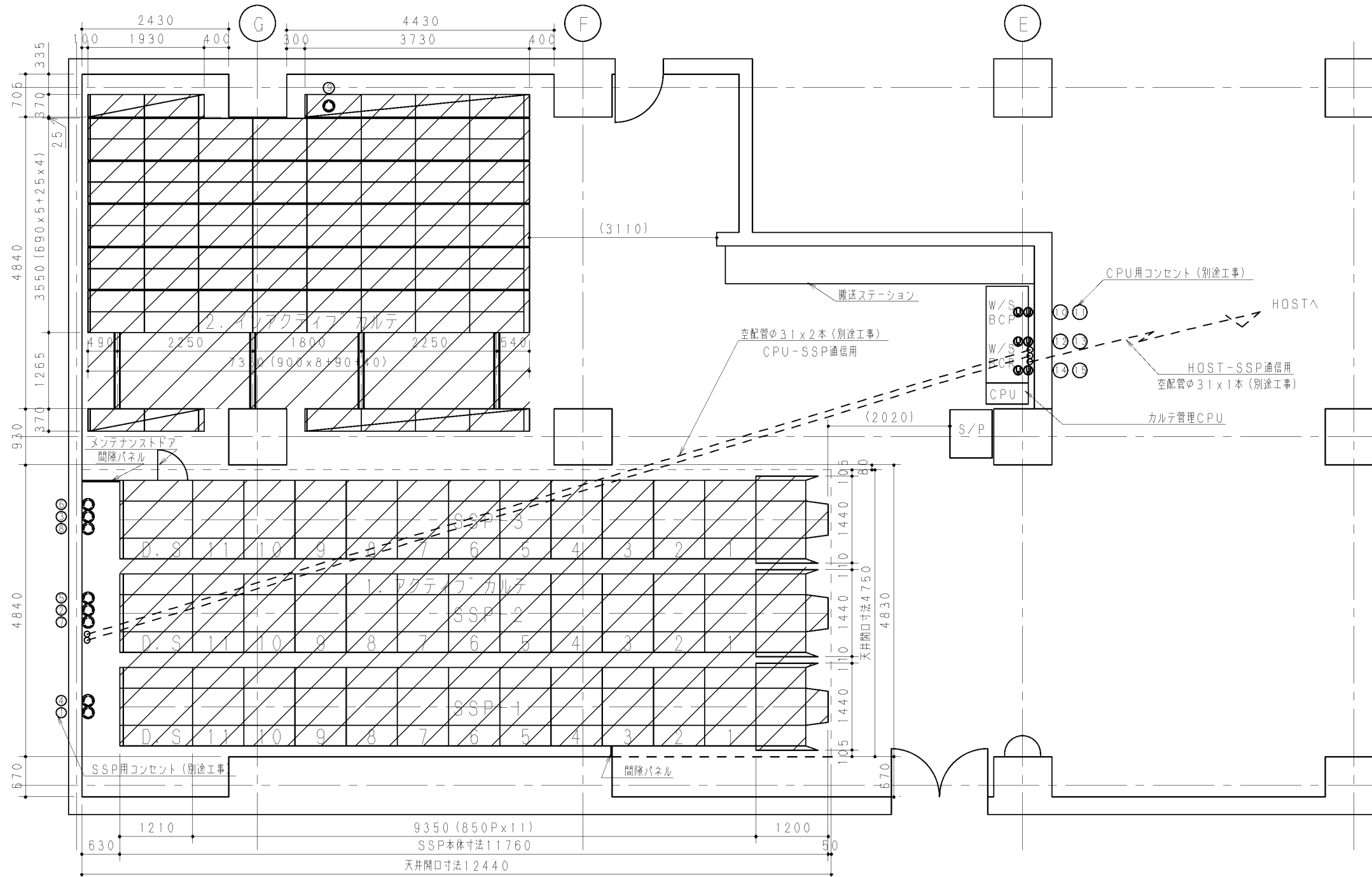
項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	床レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	巾木	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	ポール(支柱)・横棧	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	コーナーポール	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	上線・下線	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
エンドフィニッシュ	エンドフィニッシュ	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm
枠	ドア枠	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス枠	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
ガラス枠ビート	ガラス枠ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6.8mm <グレー色>
	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
芯材	芯材	ペーパーコア
	目板	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
ロック(扉開閉・夏遮り・冬保温)	ロック	キーレックス同等品
	塗装	美和 U-9同等品
ドアクローザ	ドアクローザ	ニュースター PS7002LW/リョービ S22PLW
	丁番	旗丁番(ステンレス)
フランズ落し	フランズ落し	ステンレス
	戸当り	床付け戸当り (PT-6, PT-7)
レバーハンドル	レバーハンドル	ステンレス製
	切窓・ガラリ	切窓・ガラリ
切窓ビート	切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm <グレー色>

ライニング詳細図

断面詳細図

開口閉塞詳細図





1. アクティブカルテ [株式会社イトーキ]

システム・シングルピッカー (SSP) 仕様		
1	規模	9段×11開口×3台
2	外寸	W1440×L11760×H3130
3	総開口	594開口 (8mm用-198開口) (20mm用-396開口)
4	カルテ	A4ヨコ 8mm厚 (64冊/開口) A4ヨコ20mm厚 (32冊/開口)
5	収容量	25344冊 (8mm用-12672冊) (20mm用-12672冊)
CH 3230以上 床耐荷重 800kg/m <sup>2</sup> 以上		

2. インアクティブカルテ [株式会社イトーキ]

システム・オートラック (SAR) 仕様		
1	規模	単式固定 7段×2連×2台 単式固定 7段×4連×2台 複式移動 7段×8連×5台
2	総段数	644段
3	カルテ	A4ヨコ 5mm厚 (170冊/段)
4	収容量	109480冊 (6年8ヶ月分)
CH 2600以上 床耐荷重1200kg/m <sup>2</sup> 以上		

<シングルピッカー・オートラックの撤去工事は下記範囲を見込むこと>

1. シングルピッカー・オートラック本体の解体
  2. 場内指定廃棄場までの運搬・積み込み
- ※廃材処分費は別途とする





● 試験・成績表

下記書類を竣工時に用意し、適切に試験を行うこと。監督員から指示がある場合それに従うこと。

Table with 2 columns: 工種 (Type) and 試験内容 (Test Content). Rows include 電灯・動力設備, 受変電設備, 自家発電設備, 静止形電源設備, 電話・通信設備, テレビ共同受信設備, 拡声設備, インターホン設備, 監視カメラ設備, 自動火災報知設備, 医療関係設備, 医用接地設備, 総合.

○ 放射線防護対策

放射線使用室の壁にボックス、壁等を埋め込む場合は、その裏面に必要な厚さの鉛板を当て、放射線防護の処置を行う。

○ 気密工法

バイオクリーンルーム、手術、バイオハザード及びR1等の各室に設ける電線管、ボックス及び機器等は、他の室との汚染空気の流入を防止するため、シール材充填や防塵パッキンの使用等、気密保持に必要な処理を行う。

● 電線類

配線材は特記なき限り次のとおりとする。
○EEF ○IE ○CET ○FPT
○既存建物のケーブル外皮の色は、既存配線と整合させる。
○EEFケーブルの外皮の色は、一般回路：灰色、保安回路：赤色、UPS回路：青色とする。
○規格等の定めのないものは、ハログゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
・高圧ケーブルは水トリ対策としてCET(EE)3層押出を使用すること。

● コンセントの識別

一般回路は、白色とする。
自家発電回路低圧は赤色、高圧は茶色とする。
UPS回路は、緑色とする。
フラッシュプレートに一次側電源壁名称、回路番号をラベル等により分かりやすく明記すること。
医用コンセントは明工社同等の接地極上向きを使用すること。(G0同様)

○ 発電設備

コージェネについては、機器類に総合効率測定用のセンサー類を設置すること。
保安装置には、蓄電池の充電器や制御電源の配線用遮断器のトリップを警報する機能を設けること。
定格実負荷試験は( ・ 3時間 ・ 10時間 ・ 72時間)以上行う。

○ 管路式中線路及び直埋式中線路

埋設深さは及び施工は特記なき限り、JIS C 3653による。
埋設配管については、直線部分(10mごと)、曲折箇所、分岐箇所に標示板及び標示ピンを敷設すること。

○ 保護協議

保護継電器等の保護協議検討書(地絡、過電流)を監督職員に提出する。

○ 保温・結露防止

結露するおそれのある壁、天井にボックスを埋込場合、結露防止断熱カバー取付等の結露防止処置をおこなう。

○ 医用コンセント設備

医用コンセントは、JIS T 1021に適合し、ボディの色(JIS T 1022に準拠)は次による。
商用電源(医用一般回路) …………… 白色
一般/特別非常電源(医用自家発電回路) …………… 赤色
交流無停電電源装置による瞬時特別非常電源(医用UPS回路) …… 緑色
フラッシュプレートに一次側電源壁名称、回路番号をテプラ等により明記すること。(テプラ等の色は、コンセントの色と同色とすること。)
医用コンセントは明工社同等の接地極上向きを使用すること。(G0同様)

○ 医用接地設備

医用接地センタ及び医用接地端子
JIS C 2808に適合するものとする。
接地線
医用コンセント、医用接地端子、系統外導電性部分及び医用接地センタに接続する接地線のサイズは、次による。
※ 接地幹線IV 14mm2 以上
※ 接地分岐線IV 5.5mm2 以上
・専用接地線 mm2 以上(用途: )

接地抵抗値
JIS T 1022に適合するものとし、その抵抗値は次のとおりとする。
・10Ω以下・100Ω以下
接地極(詳細は、表-2「接地極一覧表」による。)
建築構造体基礎利用
・大地抵抗率をWennerの4種法等により測定し、接地抵抗を求め、計算書及び試験成績書を監督職員に提出する。
※ 接地極を埋設する。
接地抵抗を測定し、試験成績書を監督職員に提出する。

○ 機器の塗装色

Table with 3 columns: 名称 (Name), マンセル記号 (Munsell Code), 備考 (Remarks). Lists various electrical equipment and their required paint colors.

特記なき限り機器の塗装色は下記とする。
注) 建築的色彩調和を必要とするものは、監督職員との協議による。

表-2「接地極一覧表」 接地極が図面に記載がない場合は下表による。

Table with 4 columns: 接地の種類 (Grounding Type), 記号 (Symbol), 接地抵抗 (Grounding Resistance), 接地極の規格・数量 (Grounding Electrode Specifications/Quantity). Lists various grounding types and their requirements.

注) 表中に(※2)と記載のある接地極の新設は、新営工事のみに適用する。

表-1 機器標準取付高さ
壁付、壁掛形の機器等の標準取付高さは、図面に記載がない場合は下表による。

Table with 4 columns: 名称 (Name), 測点 (Measurement Point), 取付高 (mm) (Installation Height). Lists various equipment and their standard installation heights.

表中に(※1)と記載のある壁付き呼び出しボタン(多機能トイレ)の取付け高さ300は床に転倒した時を考慮した高さ

L-L106 (既存分電盤)  
AC 1φ3W100/200V 60Hz

MCCB 15kA 3P225AF/175AT

備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考
	155	100	薬剤+七ヶ出入口誘導灯	MCCB2P50/20	△							
既存負荷	800	200	ナカノ薬局品庫照明	MCCB2P50/20	①							
既存負荷	1496	200	講義室照明	MCCB2P50/20	②							
既存負荷	3120	200	スタッフルーム・救護室他照明	MCCB2P50/20	③							
既存負荷	976	200	医事事務室・再診機照明	MCCB2P50/20	④							
既存負荷	-	100	精算機 1	MCCB2P50/20	⑤							
既存負荷	-	100	精算機 3	MCCB2P50/20	⑥							
負荷名称変更 ( )内は変更前	692	100	事務室・救外休憩室・前室 伊所・医事事務室照明	MCCB1P50/20	⑦							
既存負荷	529	100	便所・調剤・当直他 換気扇	MCCB1P50/20	⑧							
既存負荷	-	100	入金機 1 電源	MCCB1P50/20	⑨							
既存負荷	300	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑩							
既存負荷	180	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑪							
既存負荷	600	100	当直・スタッフ・前室コンセント	MCCB1P50/20	⑫							
既存負荷	400	100	再診機室・相談室コンセント	MCCB1P50/20	⑬							
既存負荷	200	100	医事事務室フロアコンセント	MCCB1P50/20	⑭							
既存負荷	300	100	医事事務室フロアコンセント	MCCB1P50/20	⑮							
既存負荷	200	100	倉庫・廊下コンセント	MCCB1P50/20	⑯							
負荷名称変更 ( )内は変更前	400	100	事務室・前室・会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑰							
負荷名称変更 ( )内は変更前	400	100	事務室・救外休憩室・会議室 ファンコイル	MCCB1P50/20	⑱							
追加	1000	200	会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑲							
既存負荷	500	100	BGM・インターホン電源	MCCB1P50/20	⑳							
既存負荷	-	200	受付案内看板	MCCB2P50/20	㉑							
追加	600	100	事務室コンセント	MCCB2P50/20	㉒							

12,693VA (11,078VA)	負荷容量合計 <不明箇所除く>	27,342VA (25,610VA)	14,649VA (14,532VA)
------------------------	--------------------	------------------------	------------------------

( )内は変更前

※1 増設スペースを使用し、MCCB2P50/20を取付。

注記

- ・太枠  で囲んだ回路を使用回路とする。
- ・盤からの給電先を示すカードホルダー（負荷名称）の変更を反映すること。
- ・（ ）内は変更前を示す。

HG-L106 (既存分電盤)  
AC/GC 1φ3W100/200V 60Hz

MCCB 15kA 3P225AF/125AT

備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考
既存負荷	1496	200	廊下・事務室・前室照明	MCCB2P50/20	①							
既存負荷	1232	200	総合・スタッフ・減菌室照明	MCCB2P50/20	②							
負荷名称・負荷容量変更 ( )内は変更前	450	200	会議室・前室 照明	MCCB2P50/20	③							
既存負荷	-	100	不明	MCCB2P50/20	④							
既存負荷	-	100	スペース	MCCB2P50/20	⑤							
既存負荷	-	100	リモコントランス	MCCB2P50/20	⑥							
既存負荷	1200	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑦							
既存負荷	1200	100	総合カウンターコンセント	MCCB1P50/20	⑧							
負荷名称・負荷容量変更 ( )内は変更前	1200	100	救外休憩室コンセント	MCCB1P50/20	⑨							
負荷名称・負荷容量変更 ( )内は変更前	600	100	会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑩							
負荷名称・負荷容量変更 ( )内は変更前	200	100	会議室コンセント	MCCB1P50/20	⑪							
既存負荷	400	100	医事事務室・DI室コンセント	MCCB1P50/20	⑫							
既存負荷	800	100	医事事務室4ロコンセント	MCCB1P50/20	⑬							
既存負荷	500	100	再診機コンセント	MCCB1P50/20	⑭							
事務室	700	100	モデムプリンターコンセント	MCCB1P50/20	⑮							
事務室	1000	100	パソコンコンセント	MCCB1P50/20	⑯							
既存負荷	-	100	スタッフルーム受付コンセント	MCCB1P50/20	⑰							
追加	800	100	救外休憩室コンセント	MCCB2P50/20	⑱							

※1

※1

11,778VA (13,928VA)	負荷容量合計 <不明箇所除く>	20,910VA (28,334VA)	9,132VA (14,406VA)
------------------------	--------------------	------------------------	-----------------------

( )内は変更前

※1 増設スペースを使用し、MCCB2P50/20を取付。

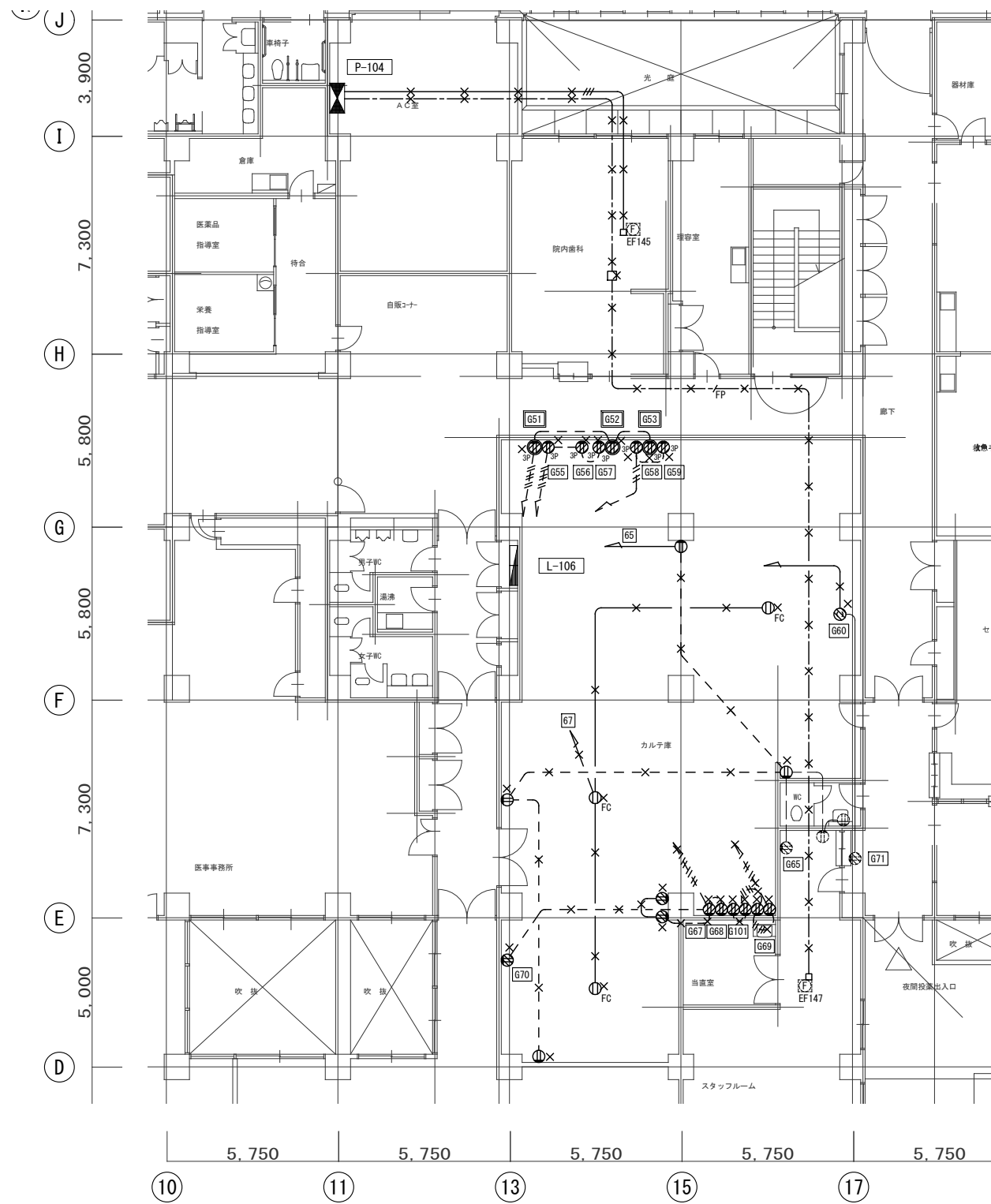
※2 MCCB2P50/20からELCB2P50/20へ改修。

LG-L106 (既存分電盤)  
AC/GC 1φ3W100/200V 60Hz

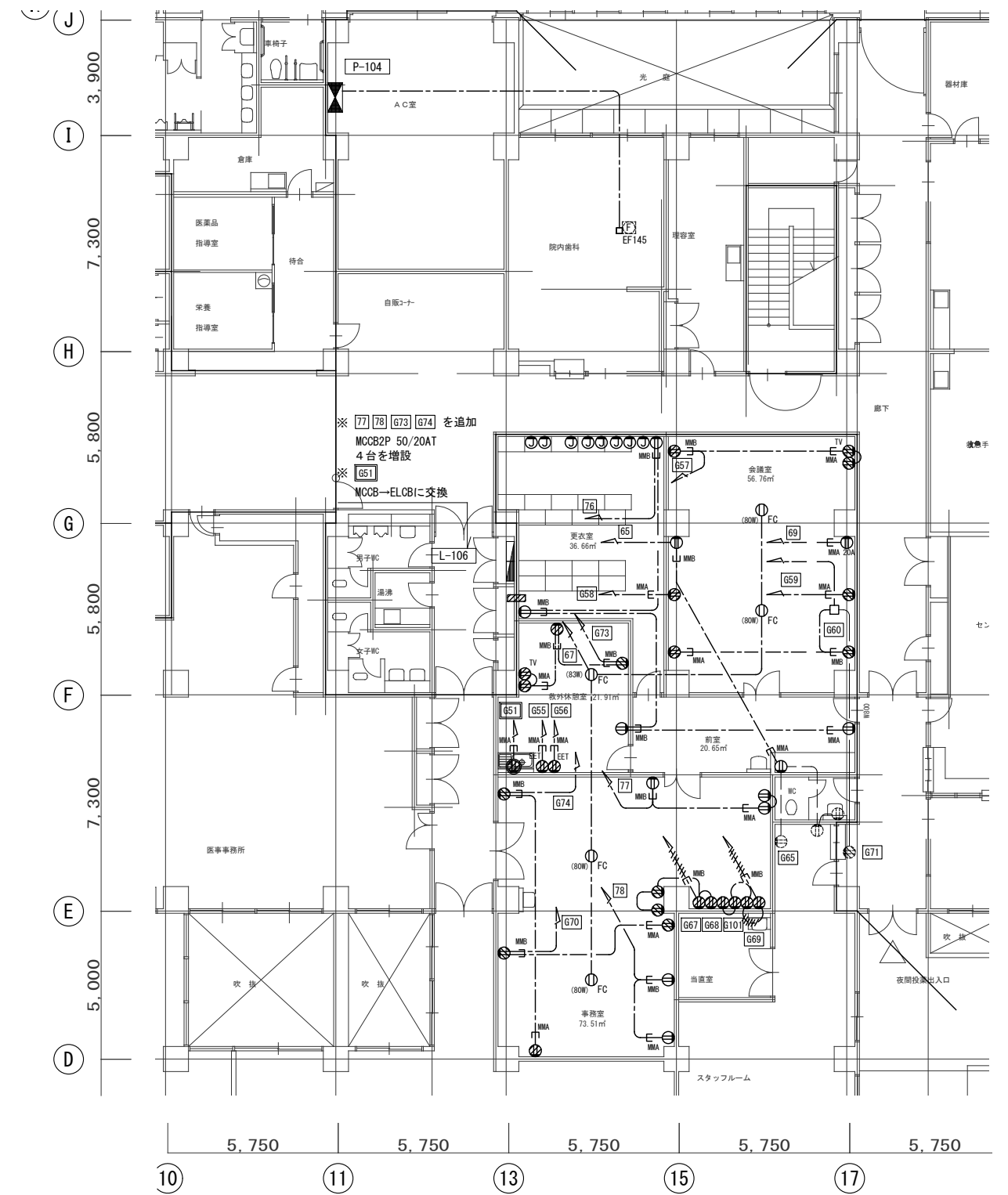
MCCB 5kA 3P50AF/30AT

備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考	容量 (VA)	電圧 (V)	負荷名称	開閉器	番号	備考
既存負荷	9650	100/200	LG-LP101	MCCB3P100/75								
既存負荷	2024	200	講義室他照明	MCCB2P50/20	①							
既存負荷	-	100	スペース	MCCB2P50/20	②							
負荷名称変更 ( )内は変更前	1500	100	事務室コンセント	MCCB2P50/20	③							





1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

注記

1. 特記なき配管配線は下記とする。

<隠蔽配線>

- : 2.0x2 E1.6 (PF16)
- : 2.0x3 E1.6 (PF22)
- : 2.0x4 E1.6 (PF22)

<ケーブル配線>

- : EEF2.0-3C (PF22)
- : EEF2.0-3Cx2 (PF22)
- : FP5.5-3C (PF28)

<床埋込配線>

- : 2.0x2 E1.6 (E19)
- : 2.0x4 E1.6 (E19)
- : 2.0x6 E1.6 (E19)

2. 図中細線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。

3. 機器の傍記×は、既設撤去を示す。

4. 記号

斜線の器具はAC/GC回路とする。

記号	名称	備考
Ⓜ	コンセント	2P15Ax2 接地極
Ⓜ <sub>EET</sub> / Ⓜ <sub>EET</sub>	コンセント	2P15Ax2 接地極、接地端子付
Ⓜ <sub>20A</sub>	コンセント	2P20Ax2 200V 接地極
Ⓜ <sub>FC</sub>	ファンコイル用コンセント	2P15Ax1 接地極付
Ⓜ <sub>3P</sub>	コンセント (既存)	3P20Ax1 引掛形 1極は接地極
Ⓜ <sub>3P</sub>	コンセント (既存)	3P20Ax1 200V 引掛形 1極は接地極

記号	名称	備考
□	アウトレットボックス	
Ⓜ	ブラックプレート	
— <sub>MMA</sub> —	メタルモールA型	
— <sub>MMB</sub> —	メタルモールB型	

5. 二重天井内はケーブルころがしとする。

6. 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理(国土交通省認定工法)を施すこと。

〰〰〰 : 防火区画貫通処理部分を示す。

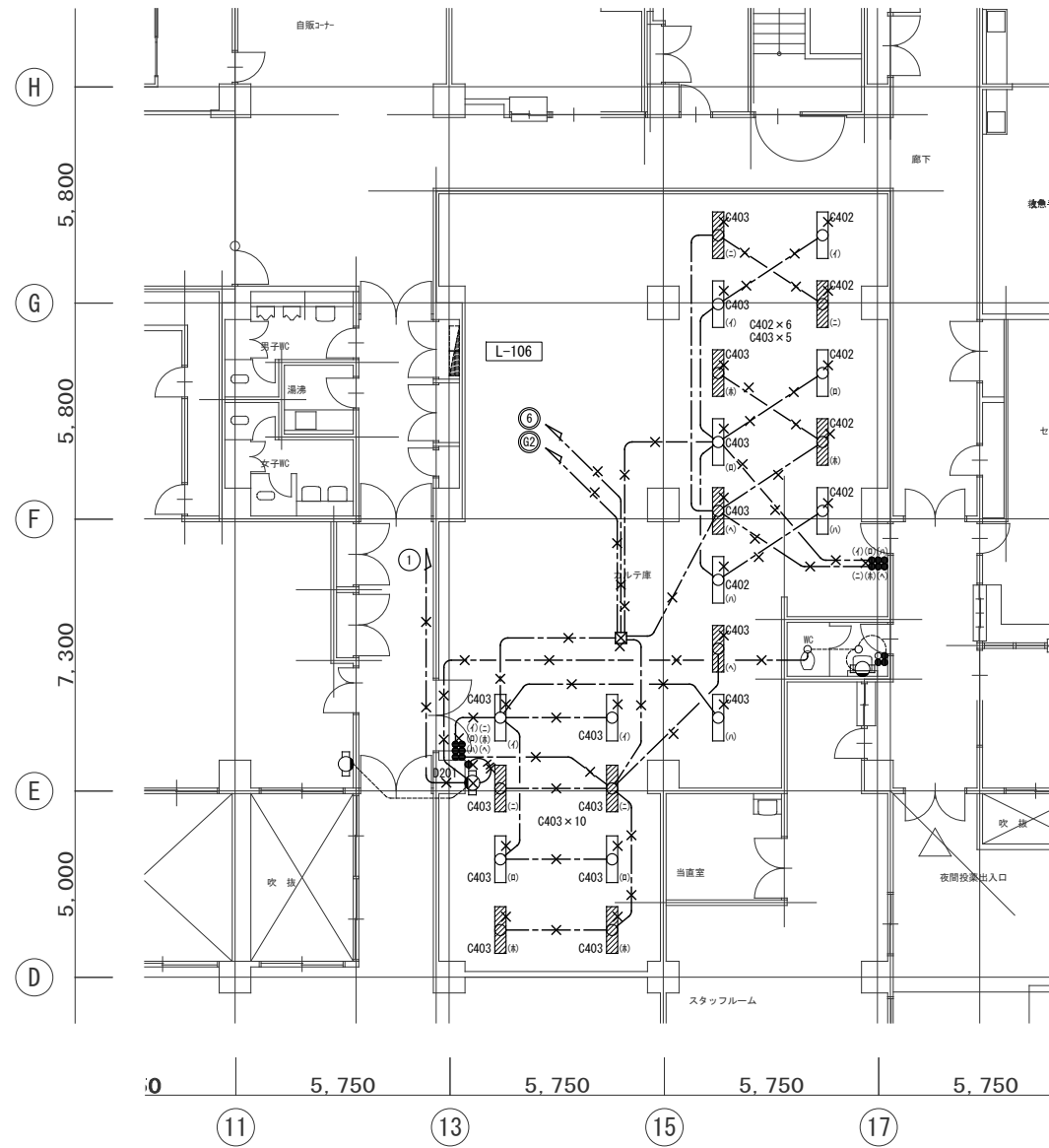
7. 回路番号

- Ⓜ : AC100V
- Ⓜ<sub>00</sub> : AC/GC100V Ⓜ<sub>000</sub> : AC/GC200V

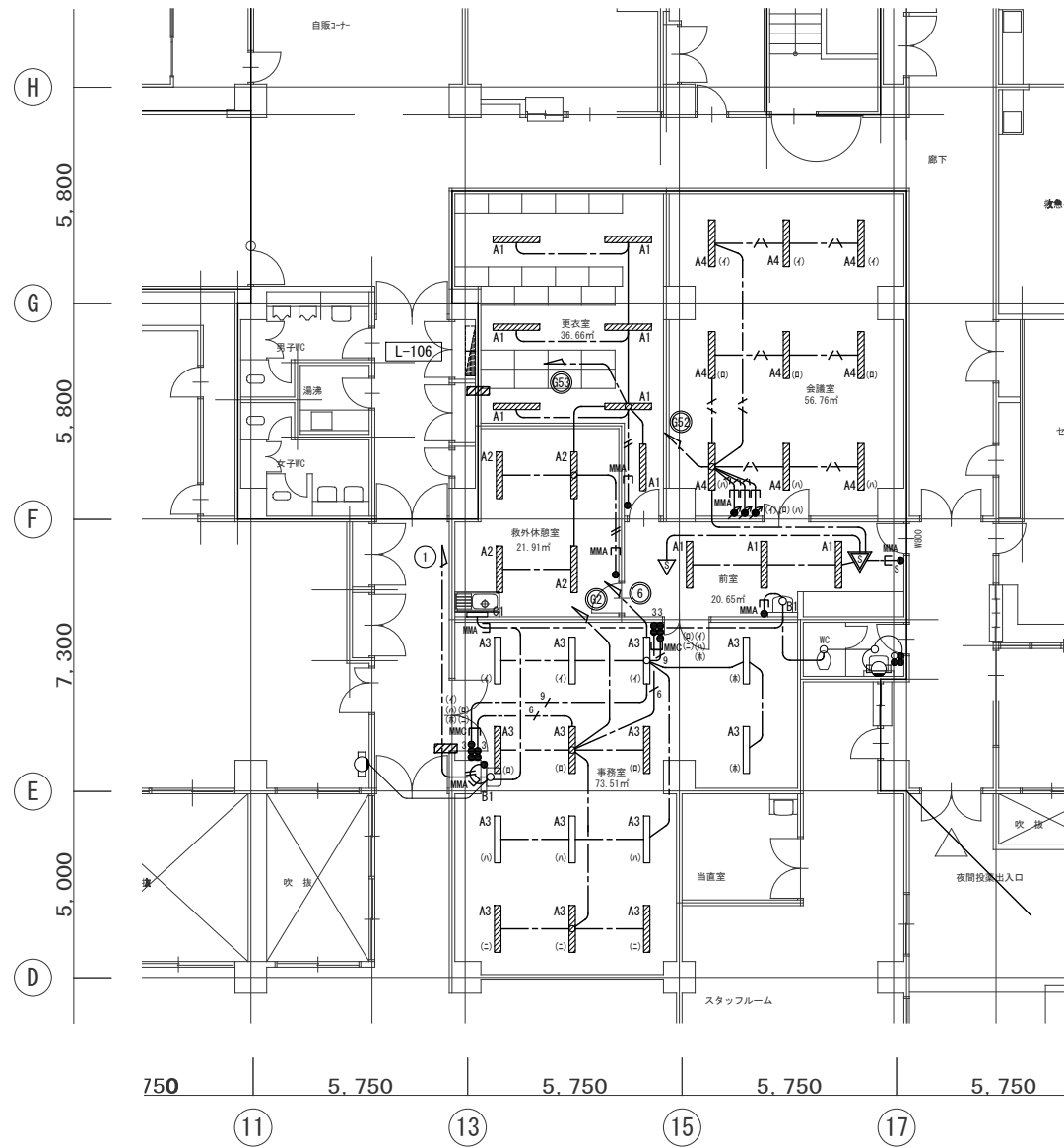
8. 埋込配管は既存のままとする。

9. 事前調査の上、施工すること。





1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

【注記】

- 特記なき配管配線は下記とする。
  - ケーブル配線
    - : EEF2.0-2C 保護管 (PF22) (既存はVVF)
    - : EEF2.0-3C 保護管 (PF22) (既存はVVF)
    - : EEF2.0-3Cx2
    - : EEF2.0-3Cx3
    - : EEF2.0-3C 保護管 (PF22)
    - : CEES1.25-2C 保護管 (PF16)
- 图中細線で示す機器及び配管配線は既設 (工事範囲外) とする。
- 機器の傍記×は、既設撤去を示す。
- 記号
 

記号	名称	備考
●	片切スイッチ 1P15Ax1	
● <sub>3</sub>	3路スイッチ 3W15Ax1	
⚡	調光スイッチ	片切スイッチ付
● <sub>s</sub>	人感センサー切替スイッチ	
▽	人感センサー 親器	DS1-N
▽	人感センサー 子器	
☒	プルボックス 200口x200	
MMA	メタルモールA型	
MMB	メタルモールB型	
MMC	メタルモールC型	
- 二重天井内はケーブルころがしとする。
- 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理 (国土交通省認定工法) を施すこと。  
 [斜線記号] : 防火区画貫通処理部分を示す。
- 回路番号  
 ○ ~ : AC100V    ○<sub>0</sub> ~ : AC200V    ○<sub>00</sub> ~ : AC/GC200V
- 事前調査の上、施工すること。

＜撤去器具表＞

器具	数量
C402	x 6
C403	x 15
D201	x 1

＜既設照明器具＞

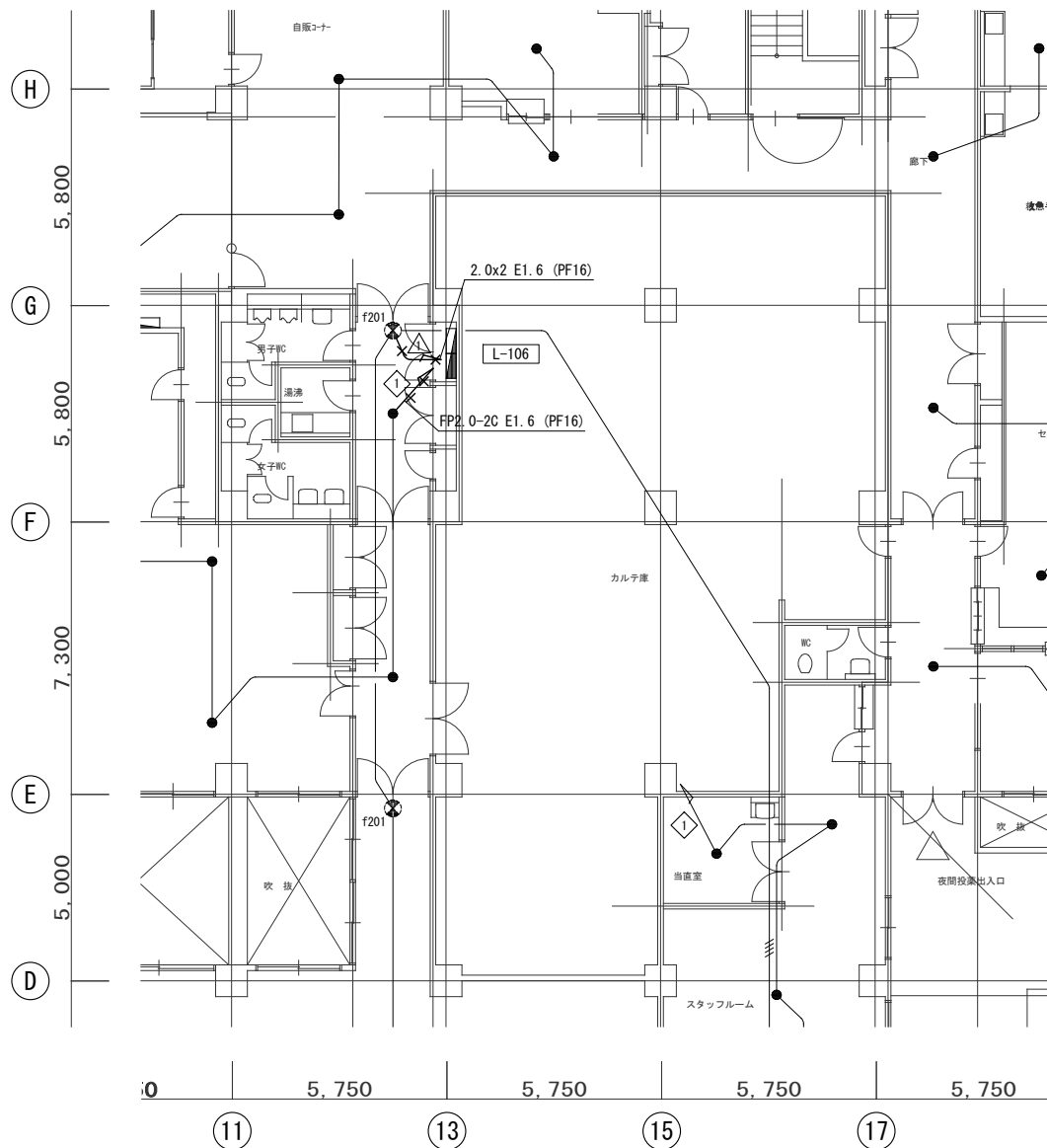
記号	器具	仕様
C402	埋込蛍光灯	FL40W x 2
C403	埋込蛍光灯	FL40W x 3
D201	壁付蛍光灯	FL20W x 1

＜新設器具表＞

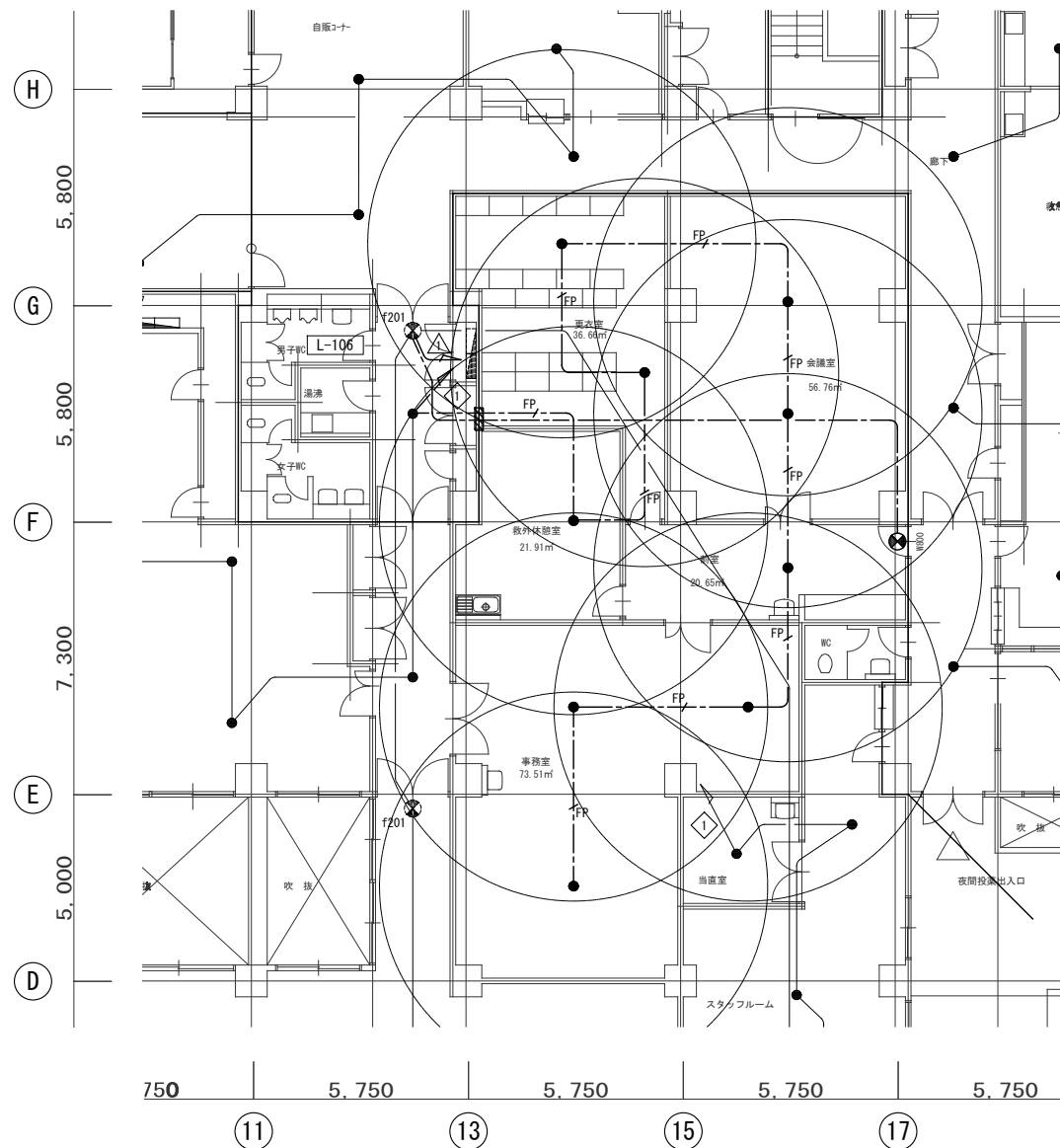
会議室	更衣室	救外休憩室	前室	事務室
A4 x 9	A1 x 7	A2 x 4 C1 x 1	A1 x 3 B1 x 1	A3 x 14 B1 x 1

＜照明器具参考図＞

A1	A2	A3	A4	B1	C1
LED埋込型40形 下面開放型 W150	LED埋込型40形 下面開放型 W150	LED埋込型40形 下面開放型 W150	LED埋込型40形 下面開放型 W150 調光5~10%	LEDダウンライト 150形	LEDキッチンライト 2.0形直管蛍光灯 1灯器具相当
一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力2.0、6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー) : ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、R#83、電源装置はライトバー側に内蔵 A1: XLX450PENTLE9 相当品 公共施設設置用: LRS6-4-30	一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力3.1、9W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー) : ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、R#83、電源装置はライトバー側に内蔵 A2: XLX450PENTLE9 相当品 公共施設設置用: LRS6-4-48	一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、11W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー) : ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、R#83、電源装置はライトバー側に内蔵 A3: XLX460PENTLE9 相当品 A4: XLX460PENTLE9 相当品 公共施設設置用: LRS6-4-65	LED内蔵<ワコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 4000K、R#85、拡散タイプ 光源光束角15度、光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 器具光束: 1695lm、消費電力: 1.1、6W、電圧: 100~242V 反射板 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部): 銅板 (ホワイトつや消し仕上) 枠: 銅板 (ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ15.0 B1: XND1569MEL9 相当品 公共施設設置用: LRS1-13	昼白色 (5000K)、R#83 器具光束980lm、消費電力1.2W、電圧100V 拡散タイプ、天井付型、壁面付型 カバー: プラスチック (乳白) タッチレススイッチ付 C1: LGB5208LE1 相当品	



1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

注記

- 特記なき配管配線は下記とする。  
 ———— : EM-EF2.0-3C 保護管 (PF16)  
 —FP— : EM-FP2.0-3C 保護管 (PF16)
  - 図中破線・細線で示す機器及び配管配線は既設 (工事範囲外) とする。
  - 機器の傍記×は、既設撤去とする。
  - 記号
- | 記号 | 名称        | 備考          |
|----|-----------|-------------|
| ●  | 埋込型 非常用照明 |             |
| ⊗  | 避難口誘導灯    | 壁・天井直付型 片面型 |
- 二重天井内はケーブルころがしとする。
  - 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理 (国土交通省認定工法) を施すこと。  
 ▨ : 防火区画貫通処理部分を示す。

- 回路番号  
 △ ~ : AC100V    ◇ ~ : DC100V
- 電源別置型非常用照明 電気容量検討  
 予備電源の種類: 直流電源装置 非常用照明・受変電共用  
 設置場所: 地階本館電気室  
 蓄電池仕様: MSE型400Ax54セル  
 蓄電池最低温度: 5°C  
 保守率L: 0.8  
 負荷電流及び時間
 

1. 非常用照明	6.6 [VA] x 9 [台] = 59.4 [VA]	59.4 [VA] / 100 [V] = 0.594 [A]
	1a = 322.244 [A] (既存) + 0.594 [A] (新設) = 322.838 [A]	放電時間 10分: Ka = 0.79
2. 表示灯, 操作電源	Ib = 10A (既存)	放電時間 10分: Kb = 0.79
3. VCB投入用	Ic = 36A (既存)	放電時間 0.2分: Kc = 0.57

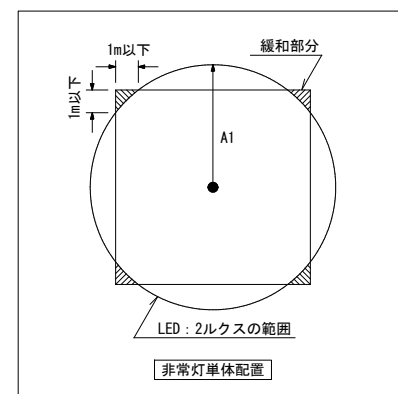
 計算  
 必要蓄電池容量 C = (1/L) (Ka · Ia + Kb · Ib + Kc · Ic)  
 = (1/0.8) (0.79 x 322.838 + 0.79 x 10 + 0.57 x 36)  
 = 354.328 [A] < 400 [A] . . . OK

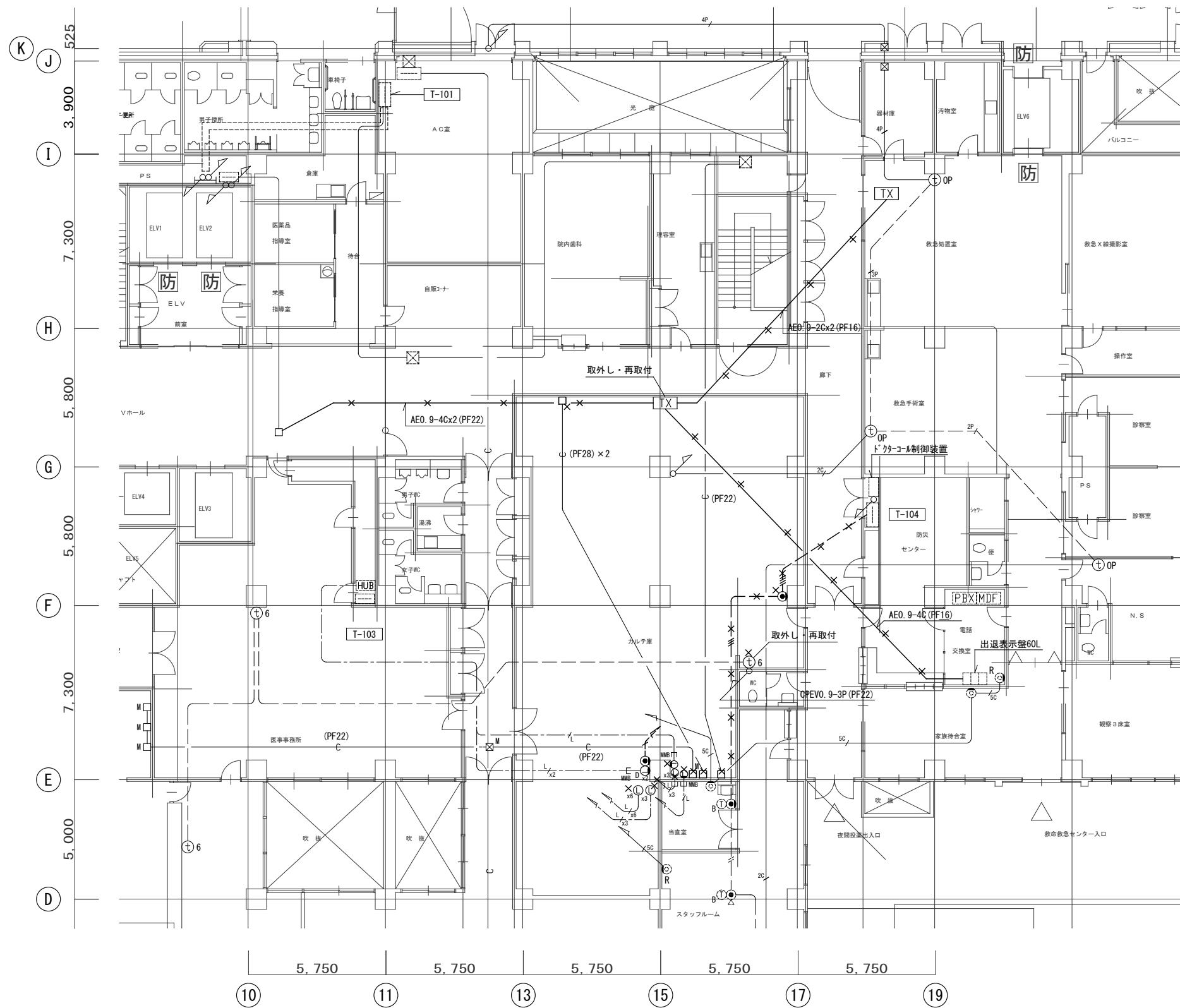
<新設器具表>

会議室	前室	事務室	救外休憩室	更衣室
Xa x 2	Xa x 1 YaC x 1	Xa x 3	Xa x 1	Xa x 2

<照明器具参考図>

Xa	LED非常灯電源別置形	YaC	LED C級 避難口誘導灯片面型																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>器具寸法</th> <th>2.0m</th> <th>2.5m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> <th>5.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具高さ</td> <td>A1</td> <td>5.0</td> <td>5.1</td> <td>5.2</td> <td>5.1</td> <td>4.9</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>器具幅</td> <td>A2</td> <td>12.1</td> <td>12.9</td> <td>13.3</td> <td>13.9</td> <td>14.4</td> <td>14.1</td> </tr> <tr> <td>器具重量</td> <td>A4</td> <td>10.1</td> <td>10.9</td> <td>11.4</td> <td>12.3</td> <td>12.8</td> <td>14.1</td> </tr> </tbody> </table>		器具寸法	2.0m	2.5m	3.0m	4.0m	5.0m	器具高さ	A1	5.0	5.1	5.2	5.1	4.9	4.4	器具幅	A2	12.1	12.9	13.3	13.9	14.4	14.1	器具重量	A4	10.1	10.9	11.4	12.3	12.8	14.1	LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自立無線継電付 型式認定番号: 1A5111-3207	
器具寸法	2.0m	2.5m	3.0m	4.0m	5.0m																												
器具高さ	A1	5.0	5.1	5.2	5.1	4.9	4.4																										
器具幅	A2	12.1	12.9	13.3	13.9	14.4	14.1																										
器具重量	A4	10.1	10.9	11.4	12.3	12.8	14.1																										





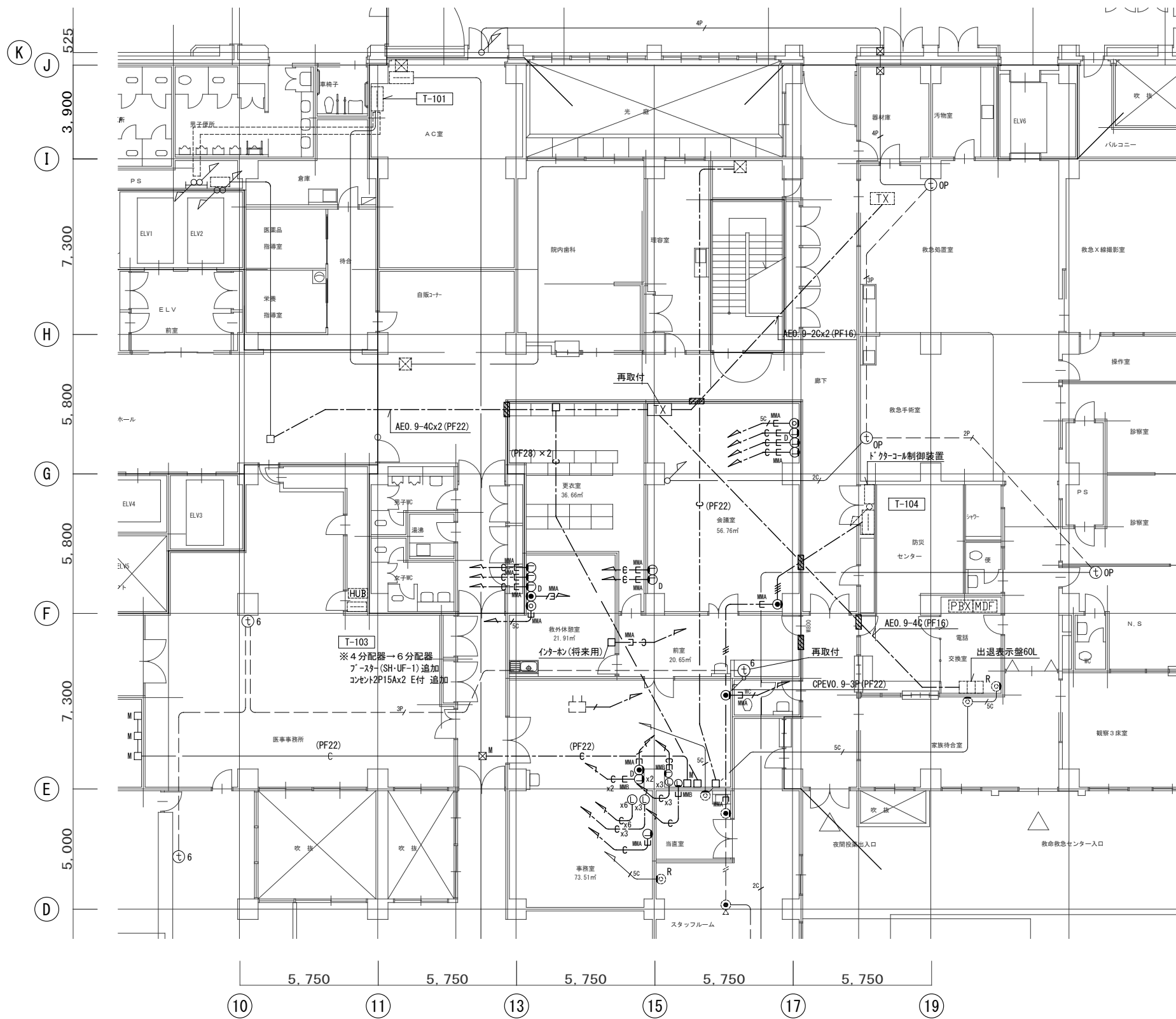
1階平面図 (改修前)

注記

- 特記なき配管配線は下記とする。  
 - - - - - : コロガシ配線  
 - - - - - : 天井隠ぺい配線  
 - - - - - : 床隠ぺい配線  
 <電話>  
 - - - - - : TIVF0. 65-2C (PF16)  
 - - - - - : TIVF0. 65-2Cx2 (PF16)  
 - - - - - : TIVF0. 65-2Cx3 (PF16)  
 - - - - - : TIVF0. 65-2Cx4 (PF22)  
 <情報>  
 - - - - - : UTP0. 5-4P (別途工事)  
 <テレビ>  
 - - - - - : S-5C-FB (PF16)  
 <インターホン> (既存)  
 - - - - - : OPEV0. 9-3P (PF22)
- 図中で破線・細線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。
- 機器の傍記×は、既設撤去を示す。
- 記号

記号	名称	備考
⊙	電話モジュラジャック	
Ⓛ	LANモジュラジャック	
Ⓛ	LANモジュラジャック	天井付き
⊙	直列ユニット BS-7F-7	傍記Rは終端抵抗
Ⓛ6	連絡用インターホン 相互式6局	
TX	ドクターコール送信機	
MA	メタルモールA型	
MB	メタルモールB型	
-C-	空配管	
□	アウトレットボックス	

- 事前調査の上、施工すること。
- 埋込配管は既存のままとする。



1階平面図 (改修後)

注記

1. 特記なき配管配線は下記とする。

- : コロガシ配線
- : 天井隠ぺい配線
- : 床隠ぺい配線
- <電話>
- : ICT 0.65-2P (PF16)
- : ICT 0.65-3P (PF16)
- : ICT 0.65-4P (PF16)

- <情報>
- : 空配管 1.2mm呼び線 (PF22)
- <テレビ>
- : EM-S-5C-FB (PF16)
- <インターホン>
- : 空配管 1.2mm呼び線 (PF22)

2. 図中で細線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。

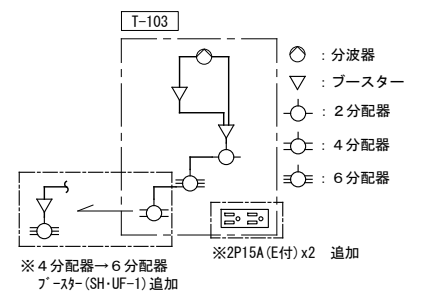
3. 記号

記号	名称	備考
⊙	電話モジュラジャック	
Ⓛ	LANモジュラジャック Cat.6	傍記Dは電子カルテ用
⊙	直列ユニット BS-7F-7	傍記Rは終端抵抗
⊕6	連絡用インターホン 相互式6局	
⊕OP	手術室系インターホン端末機	
TX	ドクターコール送信機	
MMA E	メタルモールA型	
MMA B	メタルモールB型	
PHS	PHS端子 ※別途工事	樹脂OB中浅 引出用丸電話線プレート取付
□	アウトレットボックス	

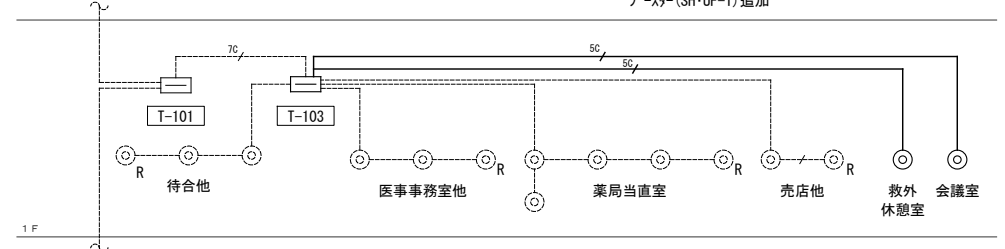
5. 二重天井内はケーブルころがしとする。

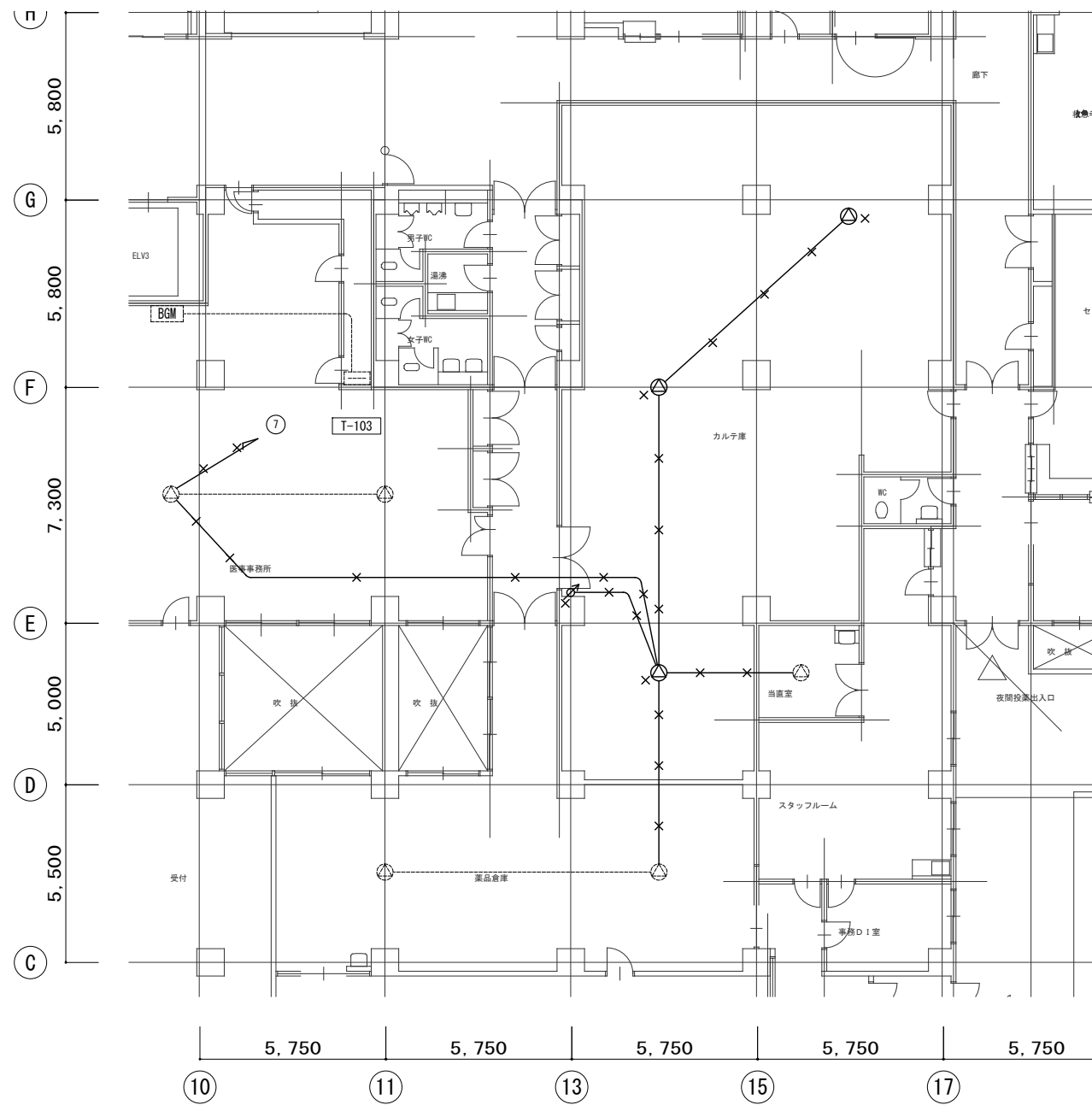
6. 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理(国土交通省認定工法)を施すこと。

//// : 防火区画貫通処理部分を示す。

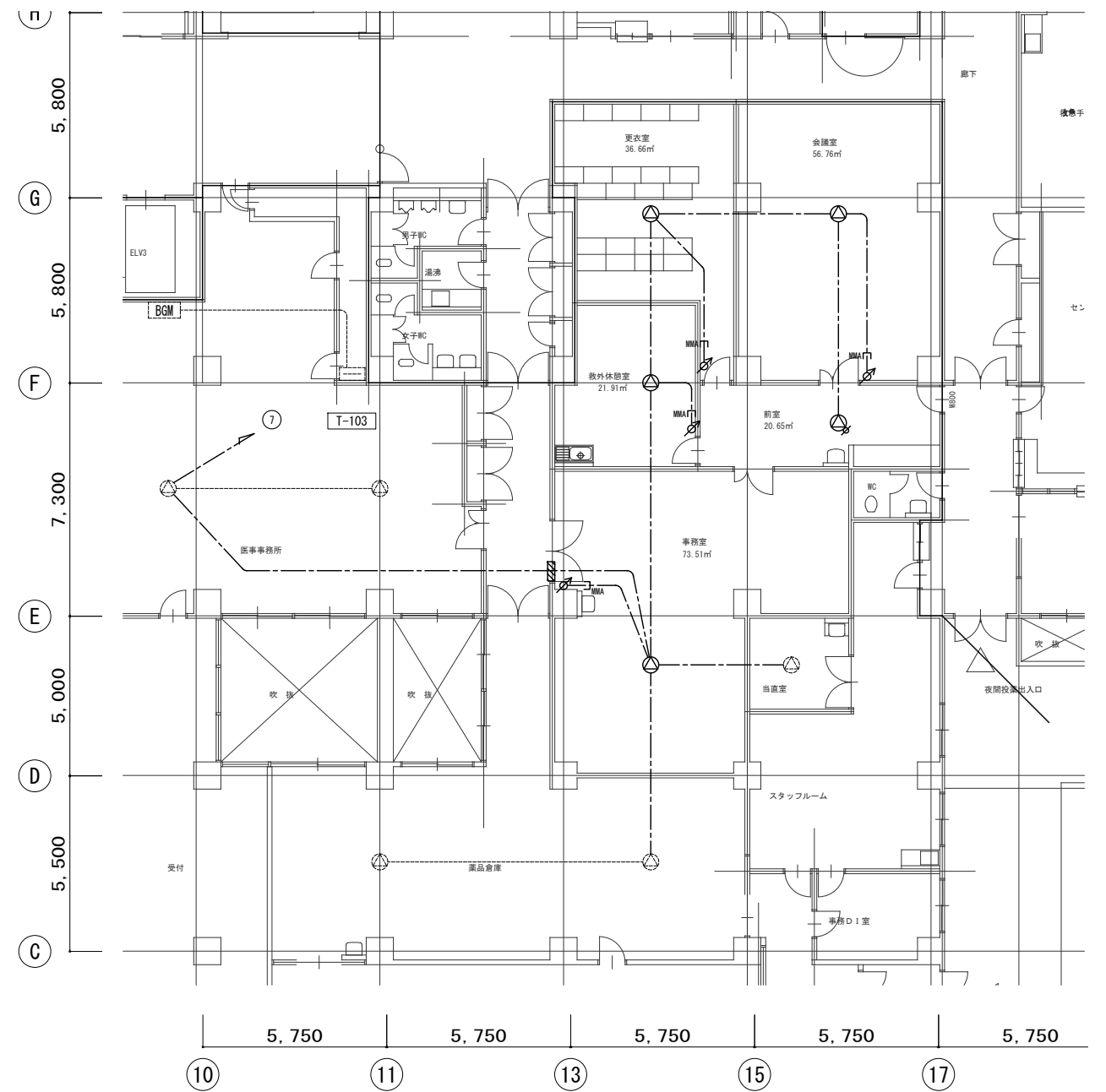


テレビ共同視聴設備系統図





1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

注記

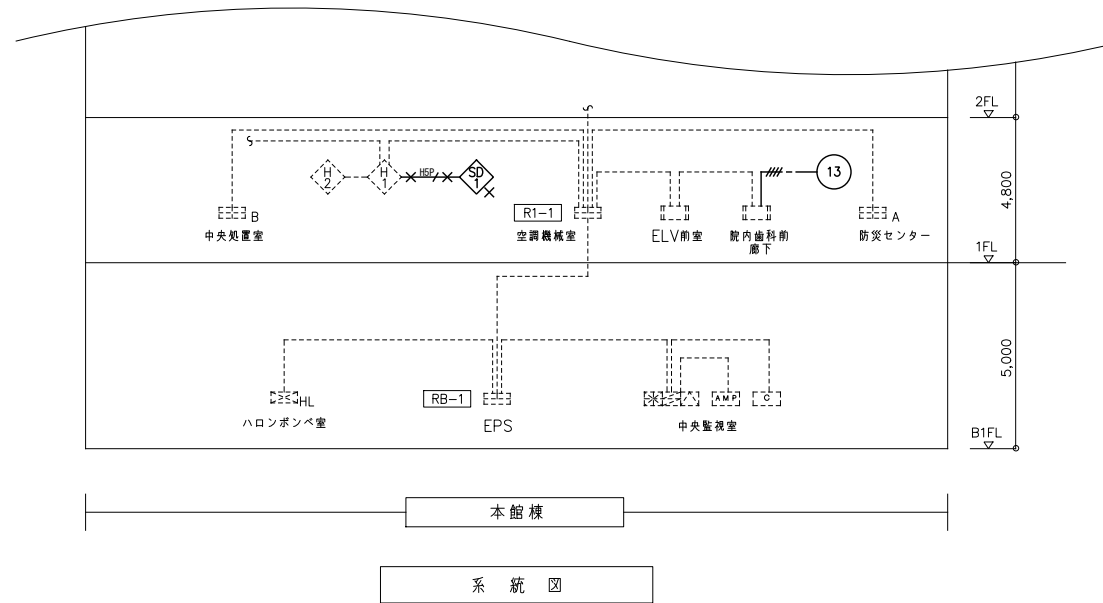
- 特記なき配管配線は下記とする。  
 <配管配線>  
 : HP1.2-3C (PF16)  
 <ケーブル配線>  
 : EM-HP1.2-3C 保護管(PF16)  
 : マルモルA型  
 2. 図中破線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。  
 3. 機器の傍記×は、既設撤去を示す。

4. 記号

記号	名称	備考
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT無)	1W
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT付)	1W
⚡	アッテネーター	

- 二重天井内はケーブルころがしとする。
- 防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理(国土交通省認定工法)を施すこと。
- 埋込配管・配線は既存のままとする。
- 事前調査の上、施工すること。
- スピーカー容量  
 既設スピーカー容量 1355W  
 増設スピーカー容量 2W  
 計 1357W < パワーアンプ容量 1440W・・・OK

凡 例			
記号	名称	備 考	
	既設受合受信機	GR型 (FR50-1018)	既設
	副受信機	CRT表示 金点表示	既設
	副受信機	液晶 金点表示	既設
	中継器盤		既設
	非常放送アンプ		既設
	中央監視盤		既設
	機器収容面		既設
	ハロン制御盤		既設
	差動式スポット型感知器	2種 自己保持型	
	光電式スポット型感知器	2種 自己保持型	
	光電式スポット型感知器	2・3種 アナログ式	既設
	自火報警区域番号	平面区画	
	制御番号	防火ダンパー用	
	制御番号	排煙口用	既設
	自動閉鎖装置	防火ダンパー用	
	自動開放装置	排煙口用	既設
	既設配管配線		
	配管配線	天井いんべい又はスラブ打込み	
	天井内こころがし配線		

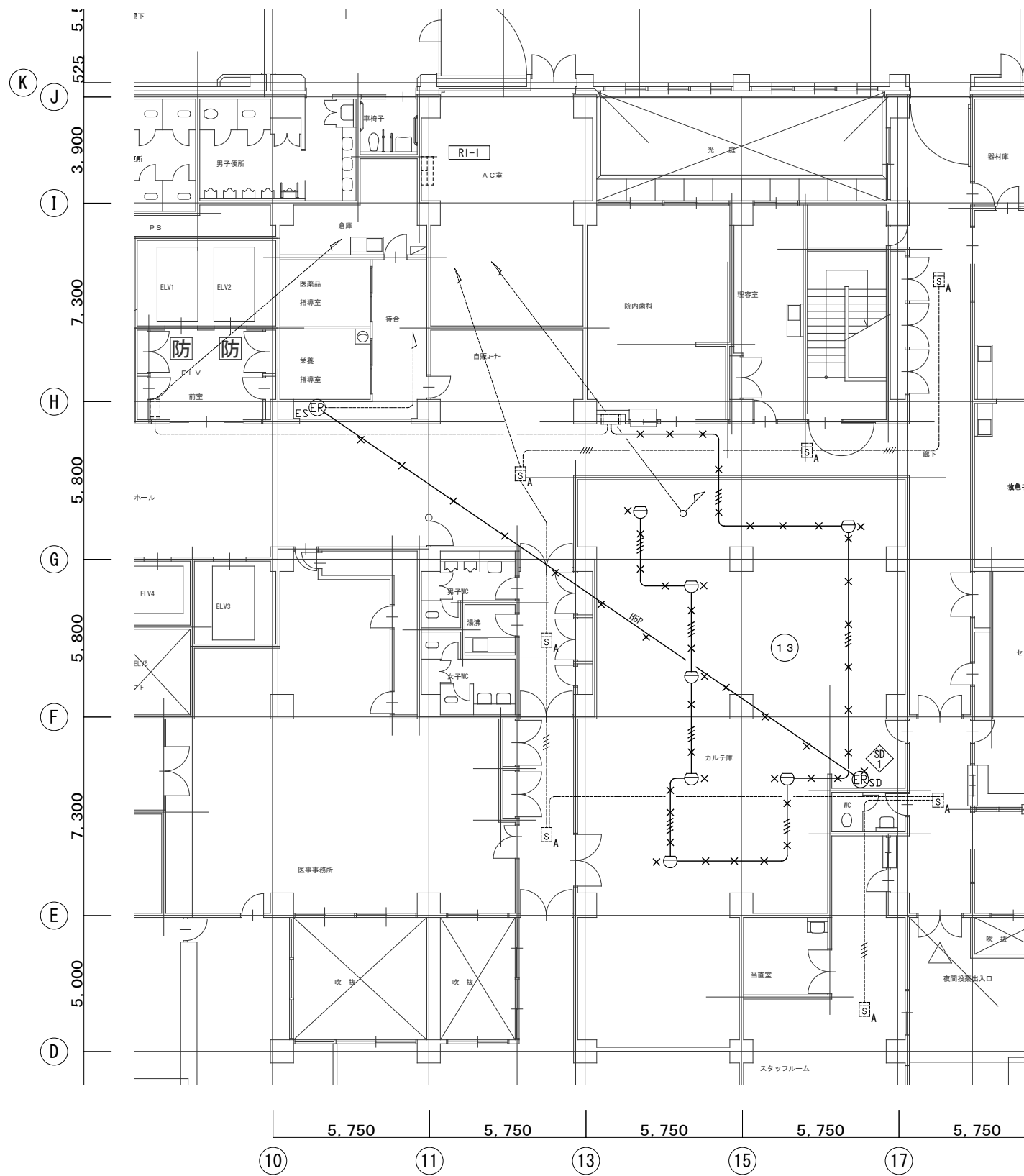


注 記	
・今回工事にて下記項目を行うこと。	
・既設感知器の撤去を行う。	
・感知器の新設を行う。	
・ハロン消火設備の撤去に伴う既設GR型受合受信機、既設副受信機のソフト変更及び結合調整を行う。	
・今回工事に伴い既設設備機器の結線替え及び調整を行う。	
・図中破線で示す機器及び配管配線は既設(工事範囲外)とする。	
・機器の傍記×は、既設撤去を示す。	
・二重天井内はケーブルこころがしとする。	
・防火区画、令114条区画を貫通する配線は防火区画貫通処理(国土交通省認定工法)を施すこと。	
▨▨▨▨ : 防火区画貫通処理部分を示す。	
・事前調査の上、施工すること。	
・埋込配管は既存のままとする。	
・特記なき配管配線は下記とする。	
<配管配線>	
——— : HP1.2-4C (19)	
——— : HP1.2-5P (25)	
<ケーブル配線>	
——— : EM-HP1.2-4C 保護管(PF16)	

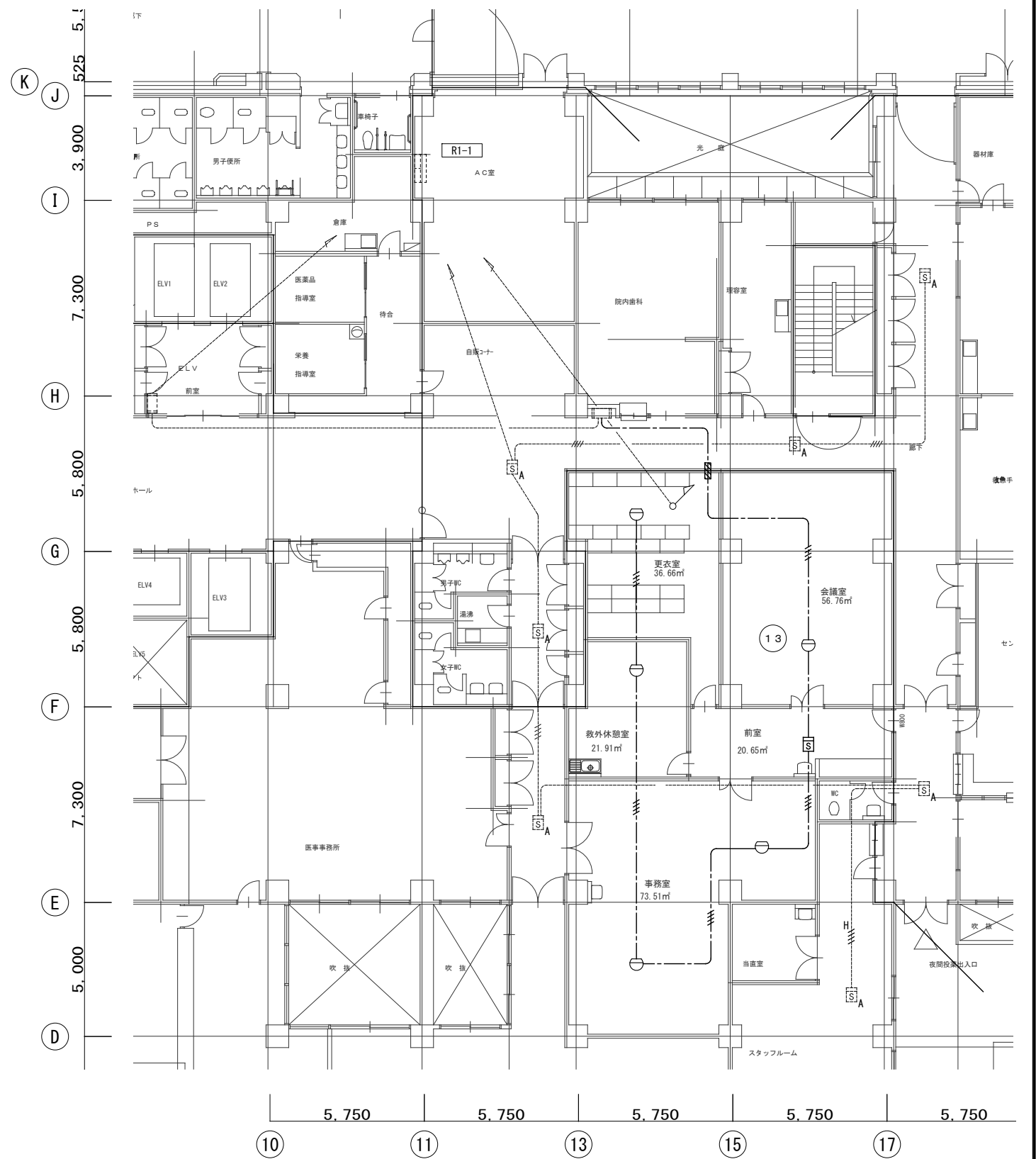
■ 既設 中継器接続点数リスト

種	中継器盤	階	火報・ガス				防排煙・制御												その他	消防火報ポンプ	スプリンクラーアラーム井	ハロンポンプ	ハロン放出口	フイド消火放出口	情報伝送式感知器	系統	ANN型中継器2回路	一般R型中継器2回路	ガス警報中継器2回路	一般R型中継器8回路	地区音響中継器2回路	地区音響中継器8回路	防排煙中継器2回路	防排煙中継器4回路	防排煙中継器8回路	警報中継器8回路	警報中継器2回路	非常放送用4x4回路	ユニット中継器
			情報伝送式感知器	情報伝送式感知器	情報伝送式感知器	情報伝送式感知器	防火戸	防火シャッター	防火ダンパー	排煙口	防火金網	排煙機	排煙機	排煙機	ガス遮断弁	ベル	その他	消防火報ポンプ																					
本館	RB1-1	B1	5	14	6	25	2	1	↑	6	1	1	1	1	3	2	3	4	1	1	27	1	1	2	3	1	2	1	2	1	13								
	R1-1	1	25	23	3	51	7	2	2	6	3	2	2	1	1	1	4			30	122	1	1	3	2	1	2	1	1	2	13								
	R2-1	2	46	16	5	67	5		4	1	1	1	1	2	1	3			18	128	1	1	2	3	1	2	1	1	1	12									
	R3-1	3	46	6		52	2		1					1	1	2				7		1	1	1	1	1	1	1	1	7									
	R4-1	4	56	7		63	2		1					1	1	2				7	124	2	1	1	1	1	1	1	1	1	7								
	R5-1	5	56	8		64	2		1					1	1	2				7	128	2	1	2	1	1	1	1	1	1	8								
	R6-1	6	4	10		14	11		1					2	1	2				18		2	1	2	1	1	1	1	1	1	9								
	R7-1	7	8	6	1	15	11	1		1	1	1	1	1	3	3	2			1	18		2	1	2	1	1	1	1	1	9								
	GR型受合受信機		3		3			↑	1					22				3		22		1	2			5		1		9									
計			246	93	15	354	22	4	2	21	4	5	5	2	12	34	3	19	3	4	1	2	143	8	2	14	9	4	4	5	6	9	9	1	85				
MAX			256	128	64															384														832					
予備			10	35	49															241														335					

※ □ は今回工事による変更箇所を示す。



1階平面図 (改修前)



1階平面図 (改修後)

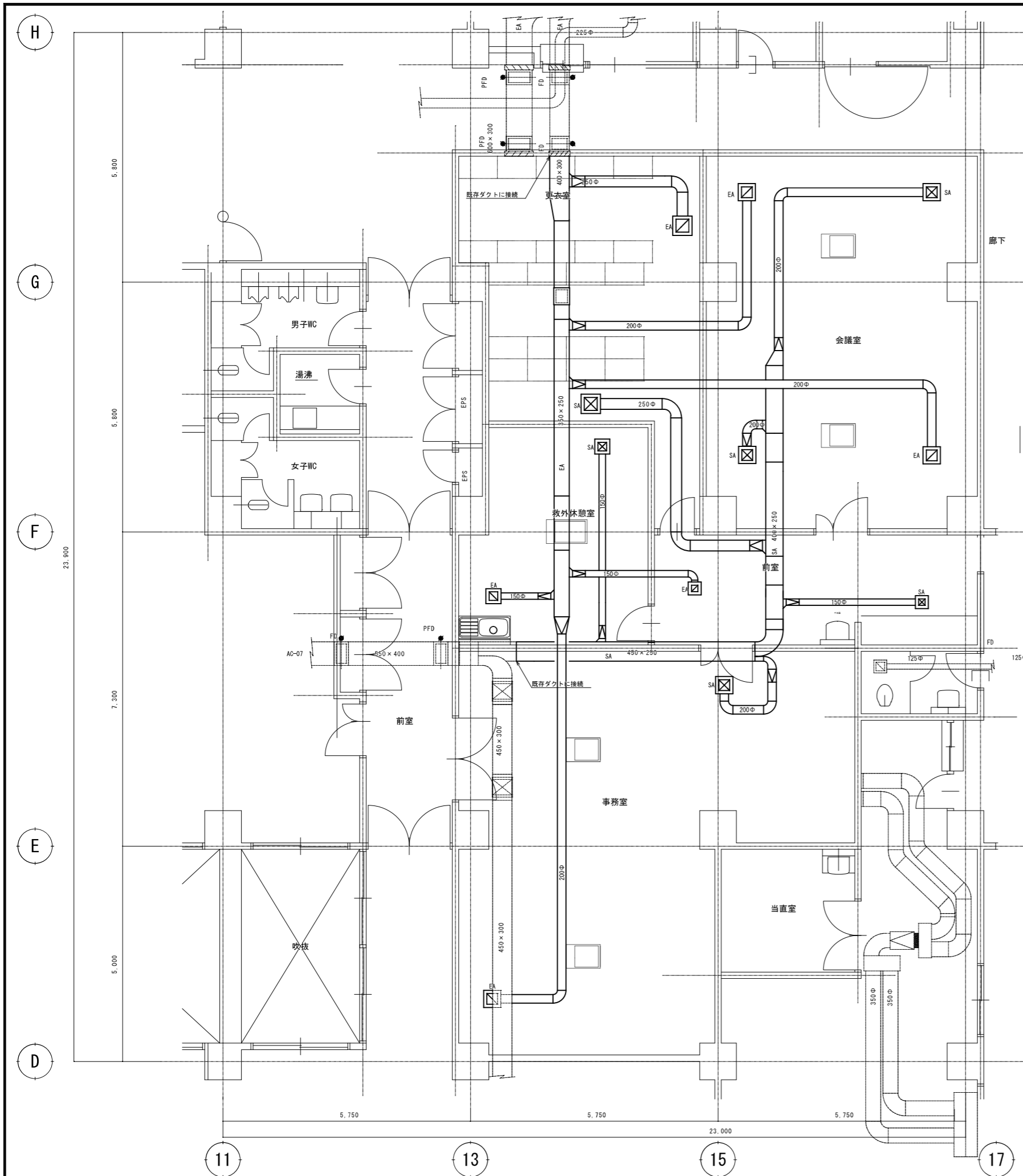
機械設備工事特記仕様書	
1 工事名称	三重県立総合医療センター カルテ庫改修工事
2 工事場所	四日市市大字日永5450番の132
3 建築概要	SRC、RC、S造 延べ面積 32,628.56㎡ 消法令の適用 6項イ
4 適用基準	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 三重県公共工事共通仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）最新版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）最新版」 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）最新版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針最新版」 国土交通省国土技術政策総合研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針最新版」 なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。
5 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書と併りに施行することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と併りの施行であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 1) 工事書類： ・施工計画書 ・打合記録 ・材料搬入報告書 各1部ずつ ・施工要領書 ・工程表 ・安全・訓練実施記録 ・機器明細図 ・工事日報 ・品質確認書類 ・工事写真（データ）等 2) 工事完成図書： ・完成図（竣工図）[製本3（原寸1部、A3（見開き）2部）・施工図（製本1部） ・機器完成図（ファイル等2部） ・保守に関する説明書（取扱説明書・保証書）2部 ・機器性能試験成績書2部 ・総合調整測定表（試験結果・測定結果等）2部 ・官公署届出書類、検査済証2部 ・出来形確認書類2部等 ※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。 ※ 工事書類は営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編、工事完成図書編）に基づき電子納品すること。 ※ 工事写真は営繕工事写真撮影要領（平成24年版）に従い撮影すること。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。 (2) 機器及び材料等 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。 (3) 官公署等への届出手続 工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、請負者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器の設置届については、機械設備にて設置届を提出する必要がある場合、届出を行うこと。 2) 防火対象物使用開始届については、書類の作成（機械設備図面の用意及び機械設備に関する部分の記述）を行うこと。 (4) 品質管理 工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。 (5) 出来形管理 以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ） ・ 基礎寸法 ・ 水平、垂直等 2) 配管・ダクト工事 ・ 支持間隔 ・ 振れ止め支持間隔 3) 屋外排水工事 ・ 排水勾配 ・ 樹の深さ 4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ (6) 製品確認 発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない (7) 耐震安全性の分類 構造体（I）類 建築非構造部材（A）類 建築設備（甲）類 (8) 機器の地震力（主要機器） 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ 地域係数（1.0） 水槽類 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ 地域係数（1.0） その他監督員が指示するもの (9) 冷媒（フロン類）の回収 □適用する ■適用しない 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.1.20により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・フロン回収行程管理表 ・特定家庭用機器廃棄物管理表（家電リサイクル券） 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。 パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

6 工事種目	給排水衛生設備工事 (1) 屋内給水設備工事 (2) 屋内排水設備工事 (3) 衛生器具設備工事 (4) スプリンクラー消火設備工事 (5) 給湯設備工事 (6) ハロン消火設備工事 (7) 撤去工事  空調設備工事 (1) 空調設備工事 (2) 換気設備工事 (3) 計装工事 (4) 撤去工事 (5) (6)																							
7 工事概要	給排水衛生設備工事 (1) 屋内給水設備工事 本工事は既存給水管より取り出し衛生器具等の必要箇所へ給水する。 (2) 屋内排水設備工事 本工事は衛生器具等の排水を既存排水管へ接続する。 (3) 衛生器具設備工事 前室に手洗器の新設（自動単水栓（発電）） 救外休憩室に流しの新設（シングルレバー混合栓＋電気温水器） 事務室の手洗器は撤去新設（TOTO：LS850APA） (4) スプリンクラー消火設備工事 既存スプリンクラー配管より分岐 各室にスプリンクラーヘッドの設置 (5) 給湯設備工事 流し下に貯湯式電気温水器（12L）設置（飲用不可） (6) ハロン消火設備工事 既存ハロン消火配管の撤去 (7) 撤去工事 本工事は既存配管及び器具の撤去を行う。 撤去範囲は図示の通りとする。																							
空調設備工事	(1) 空調設備工事 既存ファンコイルの撤去 会議室、救外休憩室、事務室にファンコイルの新設																							
空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>乾球温度℃</th> <th>湿球温度℃</th> <th>相対湿度%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外気条件</td> <td>夏期</td> <td>34.5</td> <td>27.3</td> <td>57.6</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>1.7</td> <td>-1.3</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">室内条件</td> <td>夏期</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>22</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6	冬期	1.7	-1.3	49.6	室内条件	夏期	26	-	-	冬期	22	-	-
		乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%																				
外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6																				
	冬期	1.7	-1.3	49.6																				
室内条件	夏期	26	-	-																				
	冬期	22	-	-																				
(2) 換気設備工事	既存ハロン排気ファン（EF-147）及びダクトの撤去 既存外調機（AC-07）排気ファン（EF-147）は再利用 更衣室、会議室、救外休憩室、前室、事務室に第1種換気（0A、EA） (3) 計装工事 会議室、救外休憩室、事務室に空調用リモコンを設置 配線はモールにて露出配管 (4) 撤去工事 本工事は既存配管及び機器の撤去を行う。 撤去範囲は図示の通りとする。																							
※はつり穴空け、穴埋め補修（外壁はシールする）は機械設備工事とする。																								

8 総合調整	(1) 風量調整 ■ 適用する □ 適用しない (2) 水量調整 ■ 適用する □ 適用しない (3) 室内外空気の温度測定 ■ 適用する □ 適用しない (4) 室内外空気の湿度測定 □ 適用する ■ 適用しない (5) 室内気流及びじんあいの測定 □ 適用する ■ 適用しない (6) 騒音の測定 □ 適用する ■ 適用しない (7) 飲料水の品質の測定（水道法施行規則第10条による水質検査） □ 適用する ■ 適用しない のうち 一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度（について測定を行なうこと。 ※遊離残留塩素については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行なうこと。 (8) その他（クリーンルームの清浄度の測定、クラス10000） □ 適用する ■ 適用しない
9 工事細目	(1) 配管材料 部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。
■ 給水管	■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 （一般：SGP-VA、VB 地中：SGP-VD） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 （一般：SGP-FVA、FVB 地中：SGP-FVD） □ 水道用硬質塩化ビニル管 JIS K 6742 （一般・地中：H1VP） □ 水道用ポリエチレン管 JWNA K 144（地中：PE） ※ 地中埋設管VDは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。 ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。
■ 雑排水管	■ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 （地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） □ 土間：硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 土間：下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） □ 土間：建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 AS-59（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
□ 通気管	□ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 （地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） □ 土間：硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 土間：下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） □ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
□ 汚水管	□ メカニカル型排水用鋳鉄管 JIS G 5525（1種） □ 排水用塩ビライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 MDJ 002 □ 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 土間：下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） □ 土間：建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 AS-59（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
□ 鉛管	□ 排水用鉛管 SHASE-S203
□ 給湯管	□ 耐熱塩ビライニング鋼管 JWNA K 140 （一般：SGP-HVA 地中：内外面耐熱塩ビライニング鋼管） □ 一般配管用ステンレス鋼管、配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448、JIS G 3459）
□ ガス管	□ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 土間：塩化ビニル被覆鋼管（黒） □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774（地中：PE） ※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。 （注）都市ガスの場合、ガス管機を供給業者の仕様と適応修正のこと。
■ 消火管	■ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白） WSP041（SGP-VS） ※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
□ 屋外埋設排水	□ 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741（VP） □ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62（RS-VU） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管（プレキャスト鉄筋コンクリート製品）（I類水路用遠心力鉄筋コンクリート）
■ 冷温水配管	■ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 耐熱塩ビライニング鋼管 JWNA K 140 （一般：SGP-HVA）
□ 冷水管	□ 配管用炭素鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 （一般：SGP-VA、VB） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 （一般：SGP-FVA、FVB）





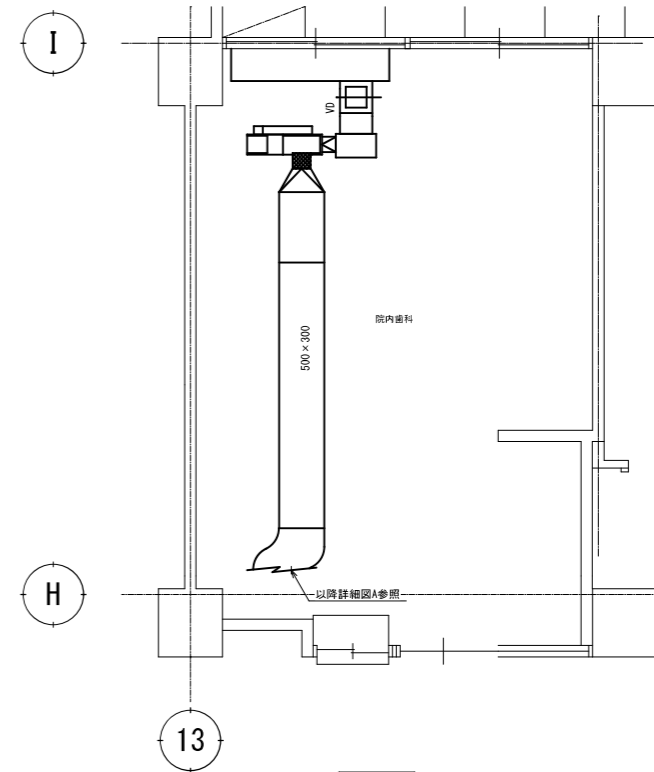
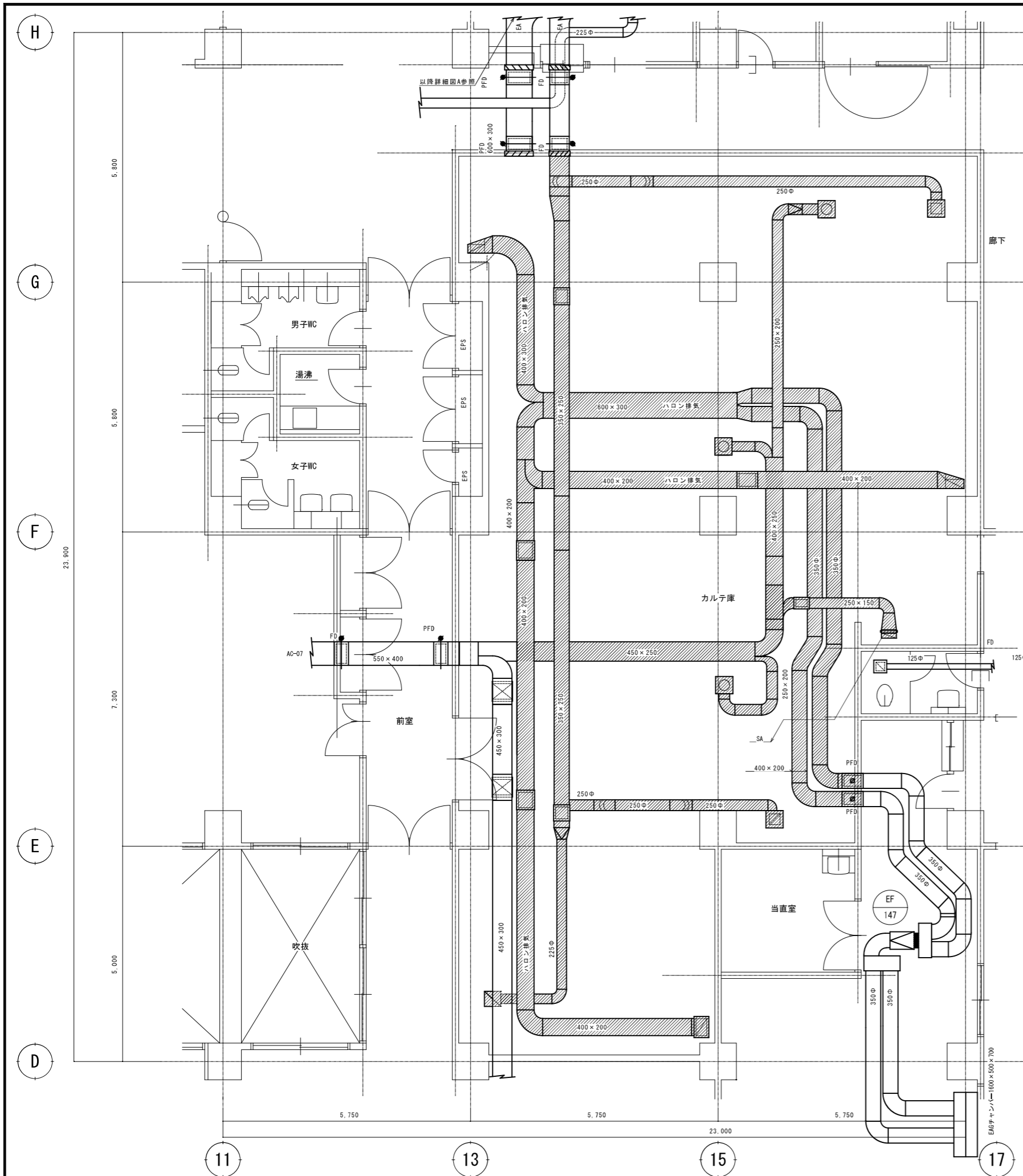


制気口リスト

室名	系統	吹出口				総風量 (CMH)	ボックス			吹込口				ボックス			備考	
		形式	寸法	風量 (CMH)	個数		寸法	内貼 (GW)	系統	形式	寸法	風量 (CMH)	個数	総風量 (CMH)	寸法	内貼 (GW)		
更衣室	A C-07	VHS	300×300	500	1	500	450×450×400H	○	E F-145	HS	300×300	500	1	500	450×450×400H	○		
会議室	A C-07	VHS	250×250	435	2	870	400×400×350H	○	E F-145	HS	250×250	435	2	870	400×400×350H	○		
受付休憩室	A C-07	VHS	200×200	210	1	210	350×350×300H	○	E F-145	HS	200×200	210	1	210	350×350×300H	○		
前室	A C-07	VHS	150×150	150	1	150	300×300×200H	○	E F-145	HS	150×150	150	1	150	300×300×200H	○		
事務室	A C-07	VHS	250×250	400	1	400	400×400×350H	○	E F-145	HS	250×250	400	1	400	400×400×350H	○		

凡例

	吹出口
	制気口吹込口
	給気ダクト
	排気ダクト
	防火ダンパー
	ガス圧式防火ダンパー



制気口リスト

室名	系統	吹出口				総風量 (CMH)	ボックス		系統	吹込口				総風量 (CMH)	ボックス		備考
		形式	寸法	風量 (CMH)	個数		寸法	内貼 (GW)		形式	寸法	風量 (CMH)	個数		寸法	内貼 (GW)	
カルテ庫	AC-07	アネモ	C-2	250φ	717	3	2150	400×400	○	EF-145	HS	300 x 300	538	4	2150	450 x 450	○

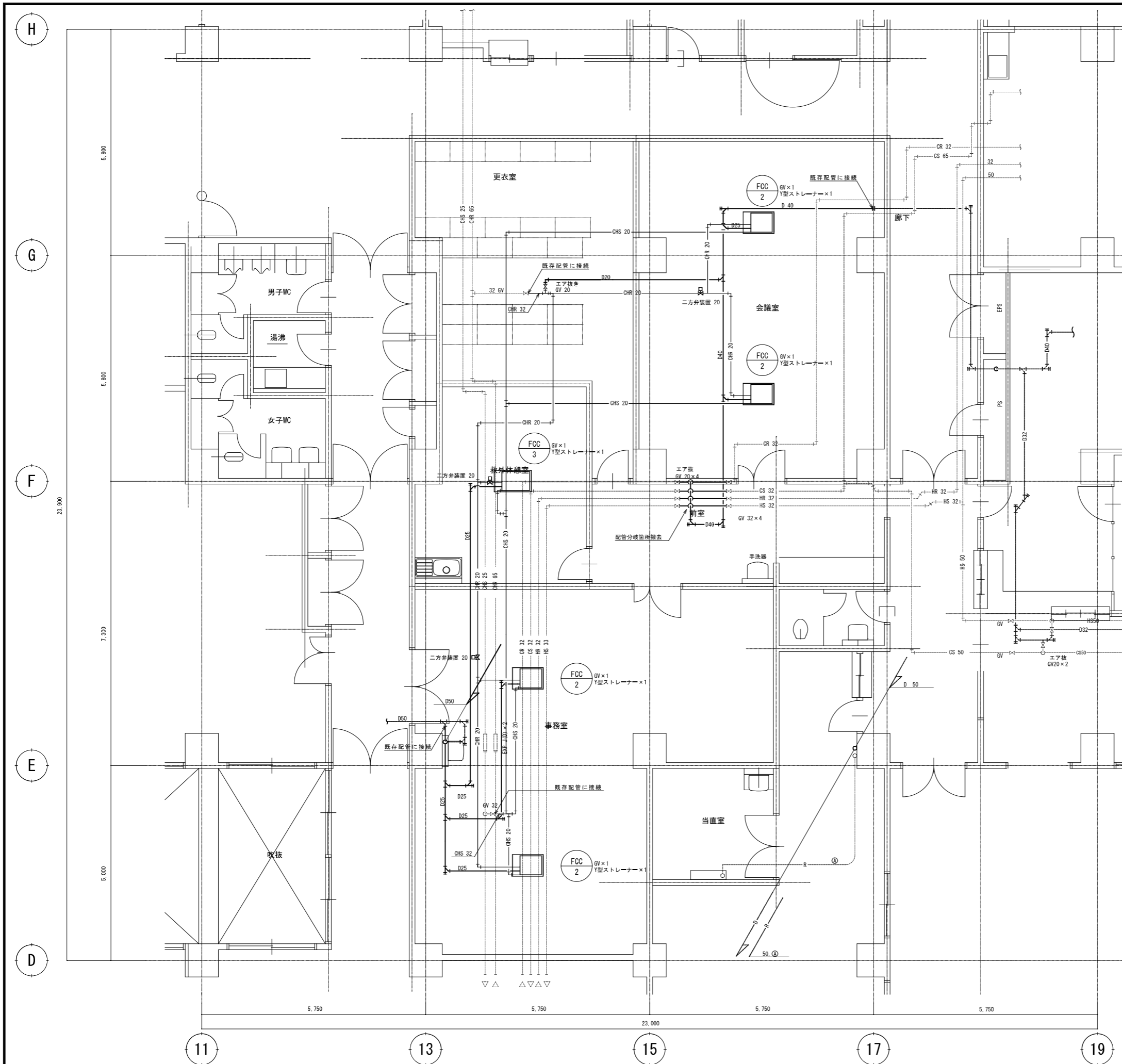
機器表

記号	名称	仕様	電源			数量	設置場所	備考
			相	電圧 (V)	kW (W)			
EF-147	排気ファン	形式: ライン 風量: 3600m <sup>3</sup> /s 付属品: 天吊金物	3	200	1.5	2	医療事務室 院内歯科	

凡例

	吹出口
	制気口吹込口
	給気ダクト
	排気ダクト
	防火ダンパー
	ガス圧式防火ダンパー
	風速調節ダンパー

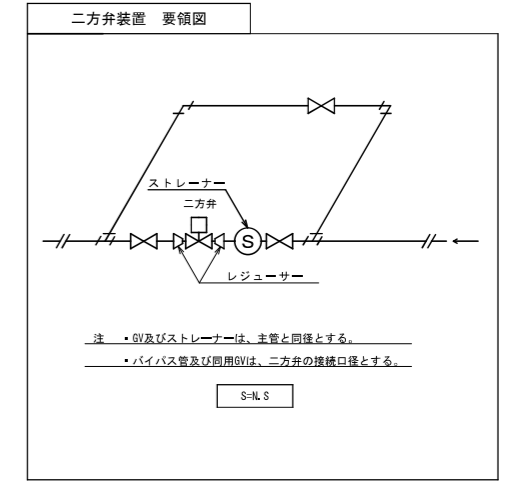
凡例  
 は撤去とする。



機器表

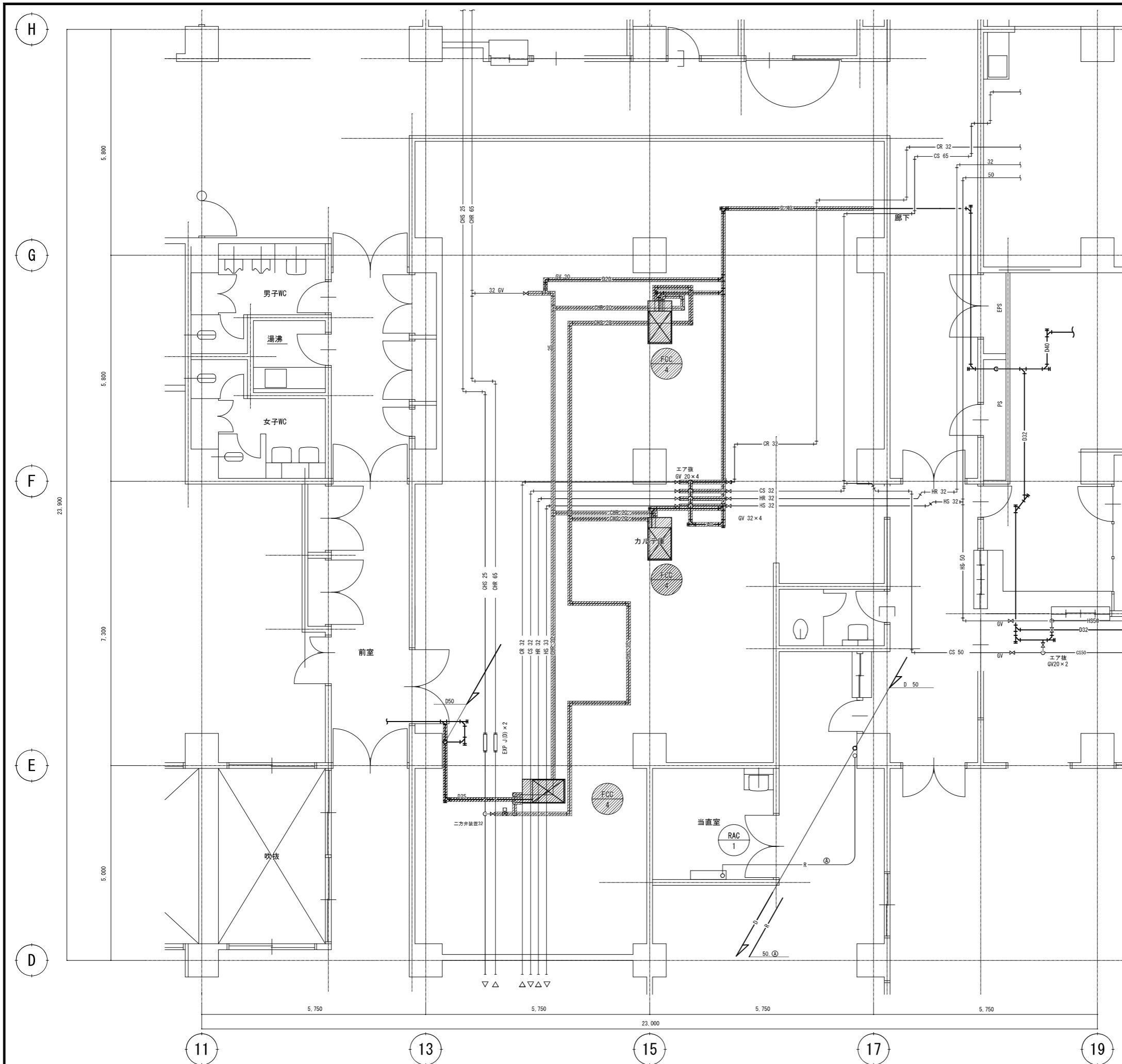
記号	名称	仕様	電源		数量	設置場所	備考	
			相電圧	v (W)				
FCC-2	ファンコイルユニット	型式：天井カセット形	1	100	42	4	1F 会議室	既設工事
		番手：#200					1F 事務室	
		冷房能力：SH 2.06kW						
		冷房能力：TH 2.54kW						
		暖房能力：4.73kW						
		水量：5.2 L/min						
		水圧損失：9.2 kPa						
付属品：リモコンスイッチ(制御用)								
		接点付、防振吊金物						
FCC-3	ファンコイルユニット	型式：天井カセット型	1	100	40	1	1F 教外体験室	既設工事
		番手：#300						
		冷房能力：SH 2.66kW						
		冷房能力：TH 3.46kW						
		暖房能力：6.13kW						
		水量：7.1 L/min						
		水圧損失：21.0 kPa						
付属品：リモコンスイッチ(制御用)								
		接点付、防振吊金物						

冷水入口温度 7℃ 出口温度 14℃  
 温水入口温度 43℃ 出口温度 36℃



注・GV及びストレーナーは、主管と同径とする。  
 ・バイパス管及び両用GVは、二方弁の接続口径とする。

S-N S



機器表

記号	名称	仕様	電源		数量	設置場所	備考
			相	電圧 V			
FCC-4	ファンコイルユニット	型式: 天井カセット形	1	100	3	カルテ庫	
		冷房能力: SH 2.68kW					
		冷房能力: TH 3.49kW			2.84		
		暖房能力: SH 3.46kW			2.45		
		暖房能力: TH 3.13kW					
RAC-1	逆熱ヒートポンプエアコン	型式: 壁掛型	1	100	1	当直室	
		冷房能力: 2.2kW			0.008		
		暖房能力: 2.8kW			0.026		
		室内機 ファン					
		室外機 ファン、圧縮機					

凡例

— R —	冷媒管
— D —	ドレン管
— CHS —	冷温水管(往)
— CHR —	冷温水管(還)
— CS —	冷水管(往)
— CR —	冷水管(還)
— HS —	温水管(往)
— HR —	温水管(還)

凡例

は撤去とする。